EPSON
EXCEED YOUR VISION

LP-M6000 シリーズ

取扱説明書５
ネットワーク編

本製品をネットワークプリンタとして使うために必要な情報を詳しく説明しています。

また、各種トラブルの解決方法やお客様からのお問い合わせの多い項目の対処方法を説明しています。

目的に応じて必要な章を参照してください。

オプションのネットワークインターフェイスカードを使うときは、オプションのネットワークインターフェイスカードに同梱の取扱説明書を参照してください。

NPD3206-00

マークの意味

!重要　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、本製品が損傷したり、本製品、プリンタドライバやユーティリティが正常に動作しなくなる場合があります。この表示は、本製品をお使いいただく上で必ずお守りいただきたい内容を示しています。

参考　補足説明や参考情報を記載しています。

☞　関連した内容の参照ページを示しています。

掲載画面

- 本書の画面は実際の画面と多少異なる場合があります。また、OS の違いや使用環境によっても異なる画面となる場合がありますので、ご注意ください。
- 本書に掲載する Windows の画面は、特に指定がない限り Windows XP の画面を使用しています。
- 本書に掲載する Mac OS X の画面は、特に指定がない限り Mac OS X v10.4 の画面を使用しています。

Windows の表記

Microsoft® Windows® 2000 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows Server® 2003 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® XP Operating System 日本語版
Microsoft® Windows Vista® Operating System 日本語版
本書では、上記の OS（オペレーティングシステム）をそれぞれ「Windows 2000」「Windows Server 2003」「Windows XP」「Windows Vista」と表記しています。また、これらの総称として「Windows」を使用しています。

Mac OS の表記

Mac OS X v10.3 ～ v10.4
本書では、上記各オペレーティングシステムを「Mac OS X」と表記しています。

モデル名の表記とイラスト

- 本書では、本製品の製品名を下記のように表記しています。
  LP-M6000　：標準モデル
  LP-M6000A：ADF モデル
  LP-M6000F：ファクスモデル
- 本書では、LP-M6000A のイラストを使用して各種手順を説明しています。

商標

Apple の名称、AppleTalk、Mac、Macintosh、Mac OS、Bonjour、QuickDraw、Safari は Apple Inc. の商標または登録商標です。
Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista は米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における登録商標です。
Adobe、Adobe Reader は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
Java およびすべての Java 関連の名称は、米国 Sun Microsystems,Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
RSAはRSA Security Inc.の登録商標です。
BSAFEはRSA Security Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。



This product includes software developed by the University of California, Berkeley, and its contributors.
その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。

もくじ

設定の前に 5

動作環境と各部の説明 6

動作環境 ... 6
各部の名称と働き ... 6

印刷環境の確認 7

接続方法の確認と導入手順 ... 7
印刷方法の確認 ... 8

コンピュータのネットワーク設定....10

Windows 11

コンポーネント（プロトコル）の確認 ... 11
アドレスの確認 ... 13

Mac OS X 14

AppleTalk を設定する ... 14
TCP/IP を設定する ... 15

ネットワークインターフェイスの設定 16

設定方法の紹介 17

本製品の操作パネルで設定 ... 17
設定ソフトウェアで設定 ... 17

EpsonNet Config で設定する 18

EpsonNet Config をインストールする ... 18
EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS）の起動 ... 19
設定方法 ... 20
プロパティ画面の説明 ... 23
工場出荷時への戻し方 ... 25

印刷をするコンピュータの設定........26

Windows 27

EpsonNet Print（LPR）で印刷する ... 27
標準 TCP/IP（LPR）で印刷する ... 27
インターネット（IPP）で印刷する ... 30

Mac OS X 32

困ったときは 34

設定や印刷に関するトラブル 35

ネットワーク設定ができない / ネットワーク印刷ができない ... 35
設定する IP アドレスがわからない ... 35
設定した IP アドレスが変わってしまう ... 36
印刷に時間がかかる / データの末尾が欠ける ... 36

同梱のソフトウェア使用時のトラブル 37

EpsonNet Config（Windows/Web）が起動または設定できない ... 37
設定ソフトウェア起動時に製品名 / IP アドレスが表示されない ... 38
EpsonNet Print を使って印刷すると、ダイヤルアップ接続画面が表示される ... 40

Mac OS に関するトラブル 41

プリンタの追加で本製品が表示されない ... 41
Rendezvous/Bonjour で印刷できない ... 41

その他の便利な機能の紹介 42

EpsonNet ソフトウェアのご案内......................43

印刷用ソフトウェア ... 43
設定ソフトウェア ... 43
管理ソフトウェア ... 44
EpsonNet ソフトウェアを入手するには ... 44

EpsonNet Print の使い方 45

セットアップの流れ ... 45
EpsonNet Print のインストール ... 46
コンピュータの設定 ... 47
その他の機能 ... 51

EpsonNet Config（Web）の使い方 55

動作環境 ... 55
起動 ... 57
各項目の説明 ... 58

プリンタ情報の確認機能（Windows）................62

ユニバーサルプラグアンドプレイ機能 ... 62

SSL 通信..66

必要な設定 67

ブラウザによる本製品の設定や管理 ... 67
インターネット印刷プロトコル（IPP）... 67

電子証明書の概要.. 68

サーバ証明書 ... 68

設定方法 69

サーバ証明書のインポート ... 69
利用するサーバ証明書の選択 ... 71
暗号強度を設定 ... 71
SSL リダイレクト機能の設定 ... 72
ポートコントロールの設定 ... 72
秘密鍵付き証明書（PKCS#12）の保存と復元 ... 73

印刷データの暗号化（セキュア IPP 印刷）......... 74

SSL 機能の設定や使用時のトラブル 75

証明書がインストール / インポートできない ... 75
EpsonNet Config（Web）
にアクセスできない ... 75
EpsonNet Config（Web）
にアクセスすると警告が表示される ... 75
証明書を操作すると警告が表示される ... 76
証明書を削除してしまった ... 77

付録..78

EpsonNet ソフトウェアの削除方法 79

Windows 用ソフトウェアを削除する ... 79
Mac OS X 用ソフトウェアを削除する ... 80

ネットワーク共有に必要な環境と基礎知識 81

IP アドレスは何番に設定する？ ... 82

プリンタを共有するには 84

プリントサーバの設定（Windows）... 85
追加ドライバを削除するには ... 88
クライアントの設定（Windows）... 90
プリントサーバの設定（Mac OS X）... 94
クライアントの設定（Mac OS X）... 95

PING コマンドによる通信確認方法 96

Windows 2000/Windows XP/
Windows Vista で確認する ... 96
Mac OS X で確認する ... 97

用語集 99

索引.. 104

1 設定の前に

ネットワークインターフェイスの機能や動作環境と、導入作業の概要などを説明します。

動作環境と各部の説明 6
印刷環境の確認 7

動作環境と各部の説明

動作環境

本製品のネットワークインターフェイスの動作環境を説明します。本製品の対応 OS は、『取扱説明書 2 使い方編』（冊子）を参照してください。

以下を参照して、お使いの環境に対応しているか確認してください。

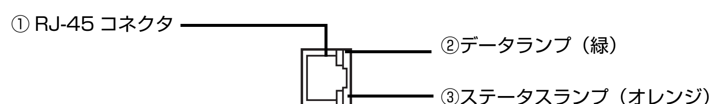
OS とバージョン	対応プロトコルおよび印刷サービス
Windows 2000 Windows XP* WindowsServer 2003* Windows Vista*	• TCP/IP（LPR、Standard TCP/IP または EpsonNet Print） • IPP
Mac OS X v10.3 以降	• AppleTalk（EPSON AppleTalk） • TCP/IP（EPSON TCP/IP、Rendezvous、Bonjour）

* 32bit/64bit に対応

！重要 本製品をダイヤルアップルータ使用中の環境に設置するときは、必ずその環境のセグメントに合った IP アドレスを設定してください。正しいアドレスを設定しないと、不必要なダイヤルアップが行われる可能性があります。

各部の名称と働き

本製品のネットワークインターフェイス各部の名称と機能を説明します。



① RJ-45 コネクタ

LAN ケーブルを接続します。LAN ケーブルは、シールドツイストペアケーブル（カテゴリ 5 以上）を使用してください。10Base-T、100Base-TX のどちらでも使えます。

②データランプ（緑）

接続状態またはデータの受信状態を示します。

③ステータスランプ（オレンジ）

ネットワークの通信速度を示します。

②データランプ（緑）	③ステータスランプ（オレンジ）	状態
点灯	点灯	100Base-TX で接続されている状態
点滅	点灯	100Base-TX でデータ受信中
点灯	消灯	10Base-T で接続されている状態
点滅	消灯	10Base-T でデータ受信中

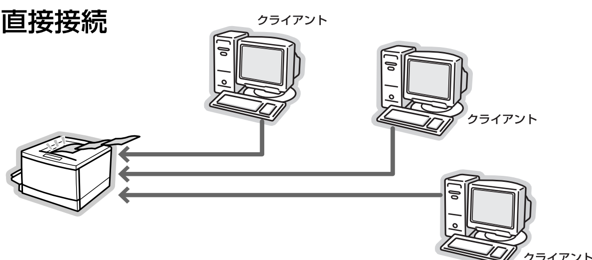
印刷環境の確認

本製品の設定を始める前に、以下を参照してお使いのネットワーク環境と手順を確認します。
わからない用語は用語集を参照してください。
☞ 本書 99 ページ「用語集」

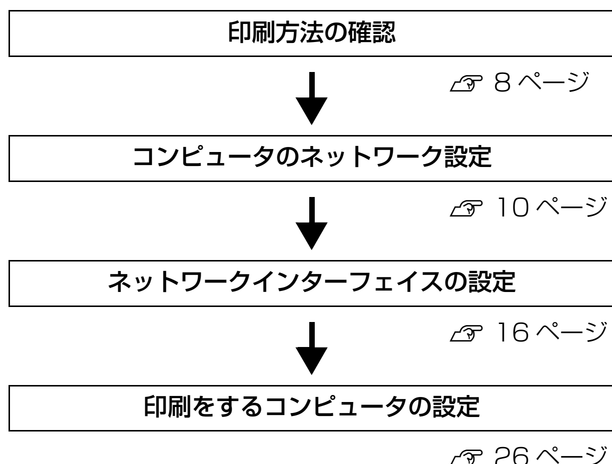
接続方法の確認と導入手順

ネットワーク環境で本製品を使うには 2 つの接続方法があります。以下の説明を参考に、どの接続方法を使用するか決定してから導入手順を確認してください。

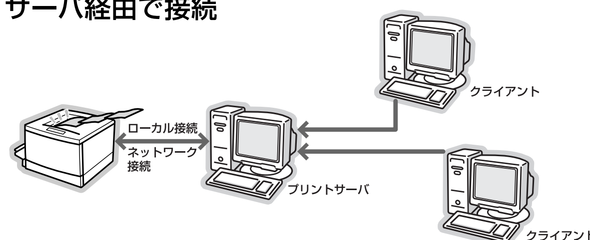
直接接続



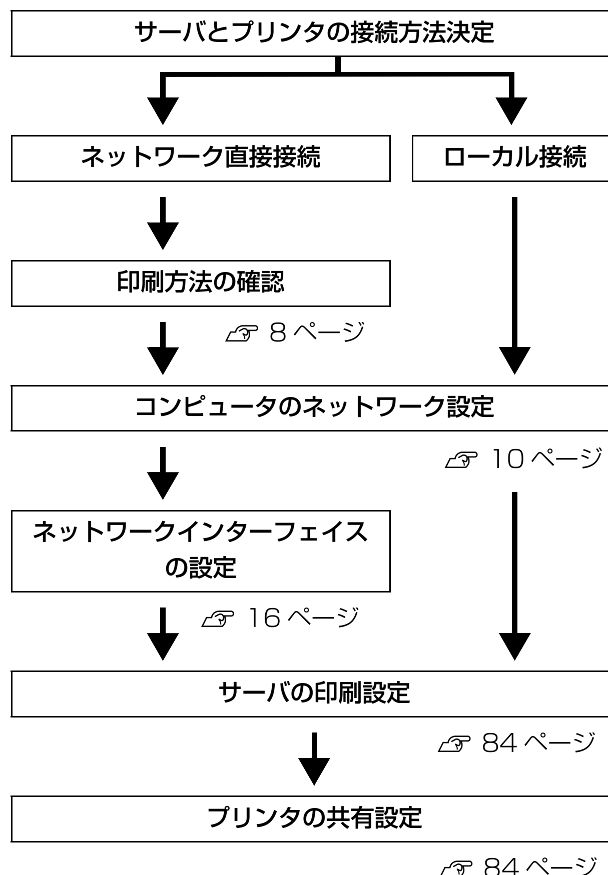
長所： サーバ用コンピュータを用意する必要がない
短所： 各コンピュータにネットワーク印刷をするための設定が必要
利用に適した環境：SOHO などの小規模ネットワーク



サーバ経由で接続



長所： 印刷をする各コンピュータ（クライアント）でネットワーク印刷をするための設定が容易
短所： 別途サーバ用コンピュータが必要
利用に適した環境：オフィスや学校などの大規模ネットワーク



直接接続や、サーバ経由接続でサーバと本製品を直接接続する場合は、次に印刷方法を確認します。サーバ経由接続でサーバと本製品をローカル（USB ケーブル）接続する場合は、『取扱説明書 1 セットアップ編』（冊子）を参照してサーバと本製品を接続してください。

印刷方法の確認

直接接続の印刷方法は OS によって異なります。

OS	印刷方法
Windows 2000 Windows XP* Windows Server 2003* Windows Vista*	• EpsonNet Print（LPR）印刷 • 標準 TCP/IP（LPR）印刷 • インターネット（IPP）印刷
Mac OS X v10.3 ～ v10.4	• EPSON AppleTalk • EPSON TCP/IP • Rendezvous（Mac OS X v10.3 ～ 10.3.9） • Bonjour（Mac OS X v10.4）

* 32bit/64bit に対応

次に印刷方法の概要と特徴を参考に印刷方法を決定してください。

印刷方法の概要と特徴

EpsonNet Print 印刷(TCP/IP プロトコルを使用)

- ネットワークインターフェイスの IP アドレスが、サーバやルータの DHCP 機能によって変更になっても、IP アドレスを自動追従します。
- ルータを越えた場所にあるプリンタ（別セグメントのプリンタ）を使用できます。
- 印刷データの送信プロトコル（LPD/EPSON 拡張 LPD/RAW）を使い分けることで、印刷の速さを 3 段階から選択できます。
- Windows のスプーラ画面の上部に、本製品のステータスを表示します。

標準 TCP/IP 印刷(TCP/IP プロトコルを使用)

- Windows に標準搭載されている印刷方法です。
- ルータを越えた場所にあるプリンタ（別セグメントのプリンタ）を使用できます。
- イベントビューアを使用して印刷ログ（記録）が取れます。
- IP アドレスの設定が必要です。

インターネット印刷(TCP/IP プロトコルを使用)

- Windows に標準搭載されている印刷方法です。
- SSL 通信による印刷データの暗号化ができます。
- プロキシサーバ（外部インターネットに代理接続するサーバ）を越えた場所にあるプリンタを使用できます。
- EPSON ステータスモニタやプリンタウィンドウ !3 は使用できません。
- IP アドレスや DNS などの設定が必要です。
- ルータやプロキシサーバに対して、Port631 を利用する設定が必要です。
- サーバ経由接続の環境では使用できません。

EPSON AppleTalk 印刷

- IP アドレスの設定が不要なため、設定が簡単です。

EPSON TCP/IP 印刷

- サーバやルータの DHCP 機能によって変更になっても、本製品の IP アドレスを設定し直す必要がありません。
- 本製品の Bonjour/Rendezvous 機能をオンにすることを推奨します。
  この場合は、ネットワークインターフェイスの IP アドレスが、サーバやルータの DHCP 機能によって変更になっても、IP アドレスを自動追従します。
- 本製品を固定 IP アドレスで使用するときは、IP アドレスを手動設定することもできます。

Bonjour 印刷 /Rendezvous 印刷

- Mac OS X に標準搭載されている印刷方法です。
- 本製品の Bonjour/Rendezvous 機能をオンにする必要があります。
- 本製品の IP アドレスが、サーバやルータの DHCP 機能によって変更になっても、設定し直す必要がありません。

接続方法と印刷方法が決定したら、コンピュータのネットワーク設定に進みます。
☞ 本書 10 ページ「コンピュータのネットワーク設定」

2 コンピュータのネットワーク設定

コンピュータからネットワークインターフェイスの設定や印刷をするには、あらかじめコンピュータにネットワークに関する設定をしておきます。ここでは、その手順を説明します。

お使いの製品がどの OS に対応しているかは、『取扱説明書 2 使い方編』（冊子）で確認してください。

Windows.. 11
Mac OS X.. 14

Windows

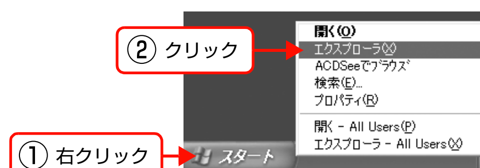
ネットワークインターフェイスの設定やネットワーク印刷をするには、コンピュータにネットワーク設定が必要です。

各プロトコル（TCP/IP、Microsoft ネットワーク）が組み込まれていることを確認します。確認後、各種アドレスの設定がされていることを確認します。
すでに各プロトコルが利用可能な状態になっている場合は、以下のページに進んでください。
本書 16 ページ「ネットワークインターフェイスの設定」

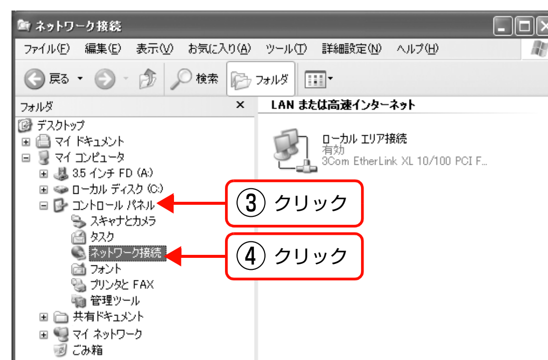
コンポーネント（プロトコル）の確認

必要なコンポーネント（プロトコル）がコンピュータに組み込まれていることを確認します。

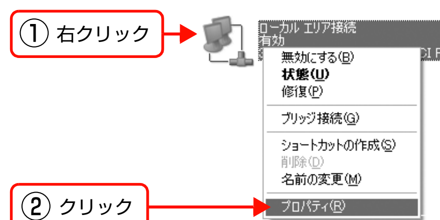
1 **［スタート］を右クリックし、［エクスプローラ］をクリックして、表示された画面で［コントロールパネル］-［ネットワーク接続］の順にクリックします。**
Windows Server 2003：
［スタート］－［コントロールパネル］－［ネットワーク接続］の順にクリック
Windows 2000：
［マイネットワーク］を右クリックして、［プロパティ］をクリック
Windows Vista：
［ ］－［ネットワーク］－［ネットワークと共有センター］－［ネットワーク接続の管理］をクリック







2 **［ローカルエリア接続］を右クリックして、［プロパティ］をクリックします。**
Windows Vista：
［ユーザーアカウント制御］画面が表示されるので、［続行］をクリック



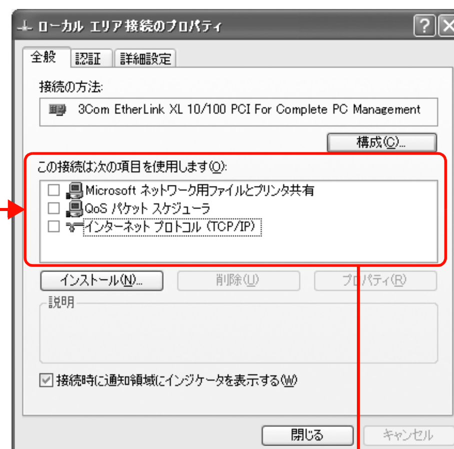
3 下表を参照して、必要なコンポーネントが組み込まれているか確認します。

本製品のネットワークインターフェイスの設定のみするときは、インターネットプロトコルが組み込まれていれば設定できます。

選択した印刷方法によって必要なコンポーネントが異なります。

印刷方法	必要なコンポーネント
EpsonNet Print(LPR)印刷 標準 TCP/IP（LPR）印刷 インターネット（IPP）印刷	インターネットプロトコル（TCP/IP）

- 必要なコンポーネントがすでに組み込まれている場合は、コンポーネントにチェックを付けて以下のページに進みます。
  本書 13 ページ「アドレスの確認」
- 必要なコンポーネントが組み込まれていなかった場合は、［インストール］をクリックして、コンポーネントをインストールしてください。インストールのときに、各 OS の CD-ROM を要求されることがあります。



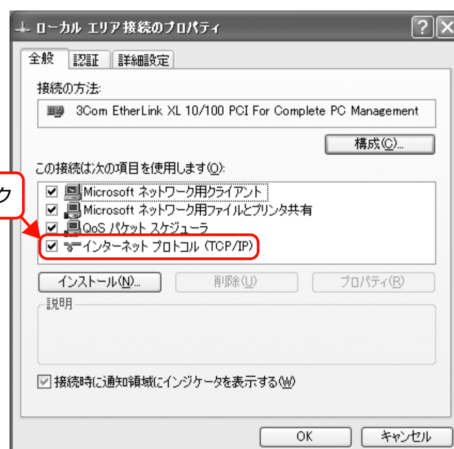
以上で終了です。

アドレスの確認

LPR または IPP 印刷をする場合は、コンピュータに IP アドレスなどの各種アドレスの設定が必要です。各種アドレスは、ネットワーク管理者に確認してください。
各種アドレスがわからないときは、以下を参照してください。
☞ 本書 81 ページ「ネットワーク共有に必要な環境と基礎知識」

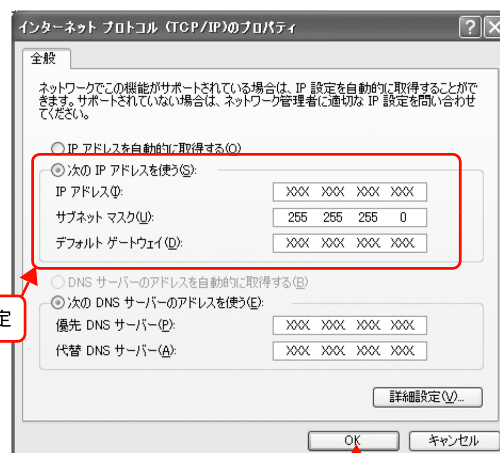
1 **コンポーネントの確認の手順 1、2 を参考にして、「ローカルエリア接続のプロパティ」画面を表示します。**
☞ 本書 11 ページ「コンポーネント（プロトコル）の確認」

2 **［インターネットプロトコル（TCP/IP）］をダブルクリックします。**
Windows Vista：
［インターネットプロトコル バージョン 4］をダブルクリック



3 **各種アドレスを設定して、[OK]をクリックします。**

> **参考**
> DHCP サーバや DHCP 機能付きのルータをお使いの環境で、コンピュータに自動で IP アドレスを割り当てるときは［IP アドレスを自動的に取得する］を選択します。



4 **コンピュータを再起動します。**

以上で終了です。

次にネットワークインターフェイスを設定します。
☞ 本書 16 ページ「ネットワークインターフェイスの設定」

Mac OS X

ネットワークインターフェイスの設定やネットワーク印刷をするには、コンピュータにネットワーク設定が必要です。

各プロトコル（AppleTalk、TCP/IP）を設定します。プロトコルを設定するには管理者の権限を持つユーザーでログオンしてください。

本書 14 ページ「AppleTalk を設定する」
本書 15 ページ「TCP/IP を設定する」

Bonjour/Rendezvous を使用して印刷するときは、IP アドレスを DHCP または Zeroconf（APIPA）などで取得してください。設定方法は以下を参照してください。

本書 15 ページ「TCP/IP を設定する」

すでに各プロトコルが利用可能な場合は、以下のページに進みます。

本書 16 ページ「ネットワークインターフェイスの設定」

参考
- EpsonNet Config（Web）を使うには、コンピュータとネットワークインターフェイスに、それぞれ IP アドレスなどの設定が必要です。
  本書 15 ページ「TCP/IP を設定する」
  ソフトウェアの詳細は、以下を参照してください。
  本書 43 ページ「EpsonNet ソフトウェアのご案内」
- Bonjour/Rendezvous で印刷するには、本製品の操作パネルまたは同梱のソフトウェアを使用して、ネットワークインターフェイスの「Bonjour 機能」を有効にしてください。詳細は以下を参照してください。
  本書 16 ページ「ネットワークインターフェイスの設定」

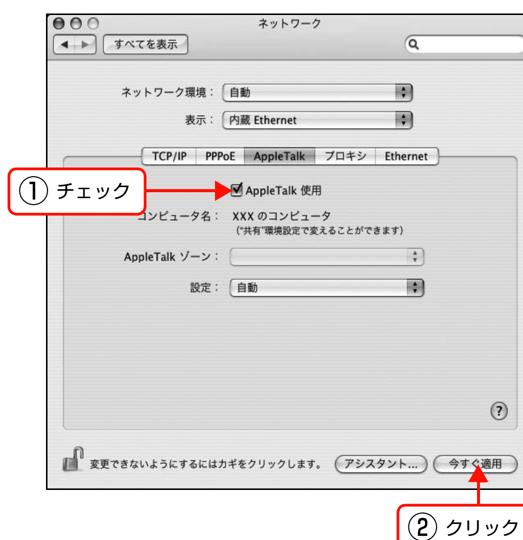
AppleTalk を設定する

EPSON AppleTalk で印刷するときに設定してください。

1 ［システム環境設定］－［ネットワーク］－［AppleTalk］タブをクリックします。

参考
［AppleTalk］タブが見当たらないときは、［場所：］が［自動］になっていることを確認し、［ネットワーク］画面の［表示：］で［内蔵 Ethernet］が選択されているかを確認してください。
なお、［表示：］の項目は、OS のバージョンによって異なります。

2 ［AppleTalk］タブで［AppleTalk 使用］にチェックを付け、［今すぐ適用］をクリックします。



以上で終了です。

次にネットワークインターフェイスを設定します。

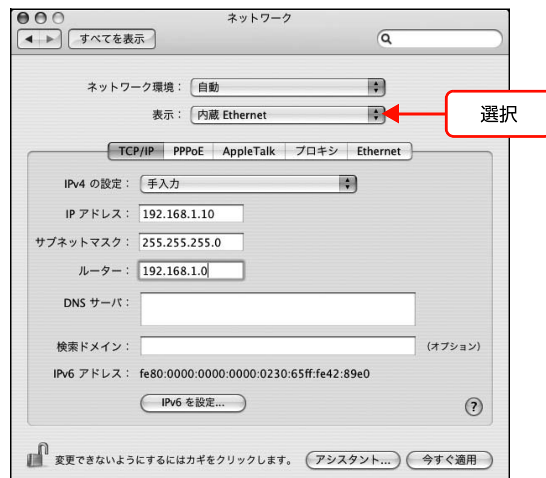
本書 16 ページ「ネットワークインターフェイスの設定」

TCP/IP を設定する

各種アドレスは、ネットワーク管理者に確認してください。
各種アドレスがわからないときは、以下を参照してください。
☞ 本書 81 ページ「ネットワーク共有に必要な環境と基礎知識」

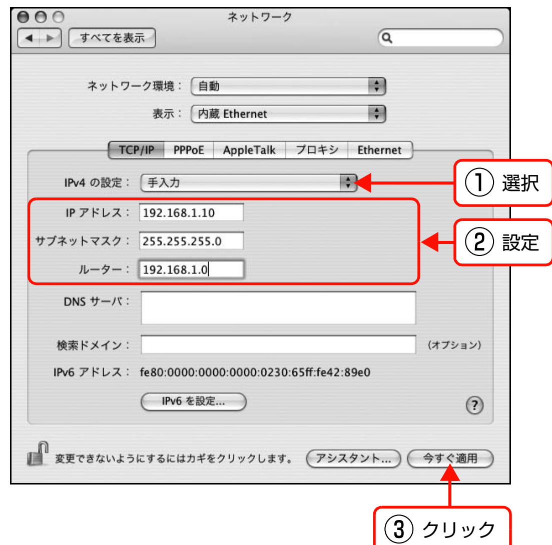
1 **[システム環境設定] － [ネットワーク] － [TCP/IP] タブをクリックします。**

2 **[ネットワーク] 画面の [表示 :] で [内蔵 Ethernet] を選択します。**



3 **[TCP/IP] タブで必要事項を設定します。設定終了後、[今すぐ適用] をクリックします。**

各種アドレスなどがわからないときは、以下を参照してください。
☞ 本書 81 ページ「ネットワーク共有に必要な環境と基礎知識」



参考

- DHCP サーバや DHCP 機能付きのルータをお使いの環境で、コンピュータに自動で IP アドレスを割り当てるときは [IPv4 を設定 :] または [IPv4 の設定 :] で [DHCP サーバを参照] を選択します。
- 必要に応じてDNSサーバも設定してください(詳細はサービスプロバイダおよびネットワーク管理者に確認してください)。

以上で終了です。

次にネットワークインターフェイスを設定します。
☞ 本書 16 ページ「ネットワークインターフェイスの設定」

3 ネットワークインターフェイスの設定

コンピュータのプロトコルを設定したら、ネットワークインターフェイスを設定します。ネットワークインターフェイスの設定を始める前に、本製品が印刷可能な状態か確認してください。本製品がセットアップされていないときは、『取扱説明書 1 セットアップ編』（冊子）を参照してください。

設定方法の紹介 17
EpsonNet Config で設定する 18

設定方法の紹介

本製品のネットワークインターフェイスを設定するには、2 つの方法があります。

- 本製品の操作パネルで設定する
- 同梱のソフトウェアを使って設定する



SSL 通信による暗号化印刷の設定は、EpsonNet Config の Web 版でのみ設定できます。

本製品の操作パネルで設定

本製品のディスプレイの表示を見ながらボタンを操作して、ネットワーク項目を設定します。
設定できる項目は、各プロトコルの使用有無とアドレスの設定のみです。それ以外の項目（DNS サーバの登録や SNMP など）を設定するときは、同梱のソフトウェアで設定してください。

操作パネルでの設定方法の詳細は、『取扱説明書 2 使い方編』を参照してください。
その後、印刷するコンピュータを設定してください。
本書 26 ページ「印刷をするコンピュータの設定」

設定ソフトウェアで設定

『ソフトウェア CD-ROM』に収録の設定ソフトウェアは以下の２つです。

- EpsonNet EasyInstall
- EpsonNet Config

各ソフトウェアの詳細を以下に説明します。

EpsonNet EasyInstall

ウィザード形式で、簡単にアドレスの設定ができるソフトウェアです。本ソフトウェアは『ソフトウェア CD-ROM』から起動します。起動した画面の指示に従って設定を進めます。
Windows では、アドレス設定後にプリンタドライバと EpsonNet Print をインストールして、直接印刷用のプリンタポートを自動作成します。
Mac OS では、アドレスの設定のみします。
それ以外の項目（DNS サーバの登録や SNMP、Bonjour 名など）の設定は、EpsonNet Config で設定してください。

EpsonNet Config

ネットワークインターフェイスの各種アドレスや名称などを設定するソフトウェアです。Windows 版、Mac OS 版、Web 版があります。
Windows 版、Mac OS 版はコンピュータにインストールしてから使用します。
インストール手順など詳細は、以下のページに進みます。
本書 18 ページ「EpsonNet Config で設定する」

Web 版はネットワークインターフェイスに内蔵されており、コンピュータの Web ブラウザから起動します。ネットワークインターフェイスの設定のほかに、本製品の消耗品の確認や給紙装置などの設定ができます。ただし Web 版は、ネットワークインターフェイスおよびコンピュータに IP アドレスが設定されていないと使えません。
使い方の詳細は、以下のページに進みます。
本書 55 ページ「EpsonNet Config（Web）の使い方」

EpsonNet Config で設定する

本製品のネットワークインターフェイスの設定には、必ず本製品に同梱の EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS）をお使いください。

EpsonNet Config をインストールする

EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS）のインストール手順を説明します。
インストールするには、管理者の権限を持つユーザーでログオンしてください。

参考
- 本文中の『ソフトウェア CD-ROM』の画面は、実際の表示と異なることがあります。
- Mac OS X 独自のファイルフォーマット「UNIX ファイルシステム」には対応していません。
- インストールしたソフトウェアの削除方法は、EpsonNet ソフトウェアの削除方法を参照してください。
☞ 本書 79 ページ「EpsonNet ソフトウェアの削除方法」

1 **コンピュータに本製品の『ソフトウェア CD-ROM』をセットします。**
Windows Vista：［自動再生］画面の［プログラムのインストール / 実行］で発行元が SEIKO EPSON であることを確認してからクリック
Mac OS X：表示されたアイコンをダブルクリックしてから、フォルダ内の［Mac OS X］をダブルクリック

2 **モデル選択画面が表示されたときは、お使いの機種を選択します。**

3 **［ネットワークソフトウェアのインストール］をクリックします。**
Windows Vista：［ユーザーアカウント制御］画面で［続行］をクリックしてから、［ネットワークソフトウェアのインストール］をクリック

4 **［EpsonNet Config（設定ツール）］の ▶ をクリックします。**

5 **この後は、画面の指示に従ってインストールしてください。**
Mac OS X では、インストール終了後に［再起動］をクリックします。

以上で終了です。

次に EpsonNet Config を起動します。
☞ 本書 19 ページ「EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS）の起動」

EpsonNet Config(Windows)/(Mac OS)の起動

ソフトウェアを起動する前に、本製品に用紙や同梱物（トナーなど）を取り付け、印刷可能な状態か確認してください。

正常に動作することを確認したら、本製品と EpsonNet Config をインストールしたコンピュータとハブを LAN ケーブルで接続して、本製品の電源を入れます。
印刷可能な状態であることを確認してから、以下の手順でソフトウェアを起動してください。

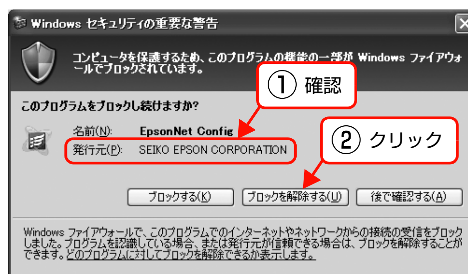
Windows の場合

1 **[スタート]（または ）－ [すべてのプログラム]（または [プログラム]）－ [EpsonNet] － [EpsonNet Config V3] － [EpsonNet Config] の順にクリックして起動します。**

Windows Vista：[ユーザーアカウント制御] 画面が表示されるので、[続行] をクリック



参考
以下の画面が表示されたら、発行元が「SEIKO EPSON CORPORATION」であることを確認して、[ブロックを解除する] をクリックしてください。[ブロックする] をクリックしたときは、EpsonNet Config（Windows）を Windows ファイアウォールに登録してください。
また市販のファイアウォールソフトウェアをインストールしていると、ファイアウォールソフトウェア関連の画面が表示されることがあります。ソフトウェアの取扱説明書を参照して、一時的に通信を許可してください。
本書 34 ページ「困ったときは」



Mac OS X の場合

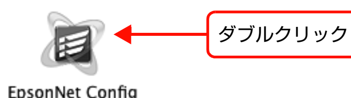
1 **[Macintosh HD] をダブルクリックした後、[アプリケーション] フォルダをダブルクリックします。**

参考
[Macintosh HD] の名前を変更しているときは、Mac OS を起動中のハードディスクアイコンをダブルクリックしてください。

2 **[EpsonNet] フォルダをダブルクリックします。**

3 **[EpsonNet Config V3] フォルダをダブルクリックします。**

4 **[EpsonNet Config] をダブルクリックして、ソフトウェアを起動します。**



以上で終了です。

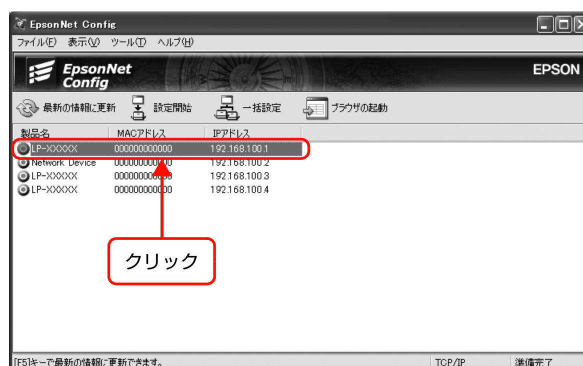
次に設定手順を説明します。
本書 20 ページ「設定方法」

設定方法

EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS）を使って、ネットワークインターフェイスを設定します。EpsonNet Config（Windows）の画面を例に説明します。EpsonNet Config（Mac OS）での手順も同様です。

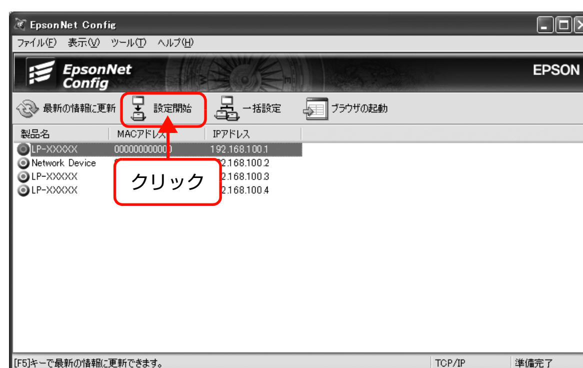
参考
- EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS）で表示される画面や設定できる項目は、お使いの製品によって異なることがあります。
- 各設定画面とメニューバーの詳細説明は、各 EpsonNet Config のヘルプを参照してください。
- ネットワークインターフェイスを工場出荷時の状態に戻すときは、以下を参照してください。
☞ 本書 25 ページ「工場出荷時への戻し方」

1 画面のリストで、本製品を選択します。



参考
- ネットワークインターフェイスの IP アドレスが工場出荷時（192.168.192.168）のままになっていると、製品名が表示されないことがあります。このようなときは、MAC アドレスで判別してください。また、本製品が複数台あるときも MAC アドレスで判断します。MAC アドレスはネットワークステータスシートで確認できます。
ネットワークステータスシートの出力方法は、『取扱説明書 2 使い方編』（冊子）を参照してください。
- お使いのコンピュータのローカルネットワーク外に本製品がある場合は、［ツール］－［オプション］－［探索アドレス］でアドレスを指定すると表示されます。
- IP アドレスが工場出荷時以外に設定されている場合、［ブラウザの起動］をクリックすると、EpsonNet Config（Web）が起動します。
☞ 本書 55 ページ「EpsonNet Config（Web）の使い方」
- 複数台をまとめて設定できます。詳細はヘルプを参照してください。

2 ［設定開始］をクリックします。

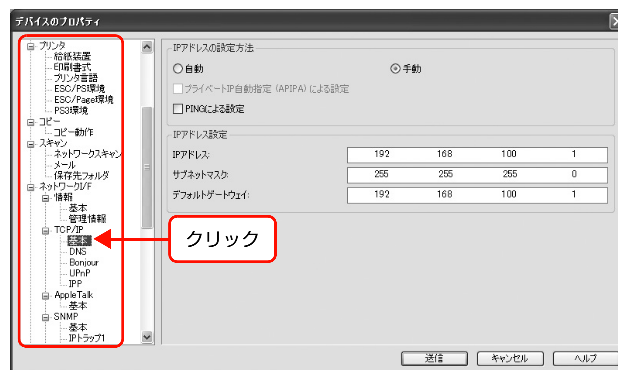


3 **［デバイスのプロパティ］画面が開いたら、画面左側の項目の中から、設定するプロトコルの項目をクリックします。**

［TCP/IP］－［基本］と［Bonjour］の詳細は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 23 ページ「［TCP/IP］－［基本］画面」
☞ 本書 24 ページ「［TCP/IP］－［Bonjour］画面」

それ以外の項目の詳細は、ヘルプで確認してください。



※接続した機種によっては表示が異なることがあります。

4 **各項目の設定が終了したら、［送信］をクリックします。**



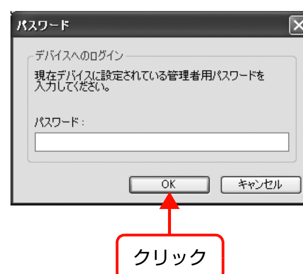
※接続した機種によっては表示が異なることがあります。

クリック

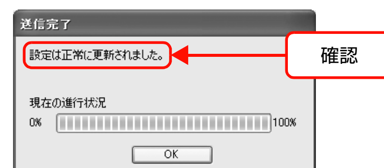
5 **表示された画面で［OK］をクリックします。**

6 **［パスワード］画面が表示されたときは、パスワードを入力して、［OK］をクリックします。**

パスワードは、画面左側の項目［管理者設定］で設定変更できます。設定方法は、EpsonNet Config のヘルプを参照してください。



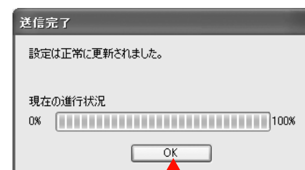
!重要 「設定は正常に更新されました。」と表示されるまではネットワークインターフェイスに情報を送っていますので、本製品の電源を切ったり、印刷データを送信したりしないでください。



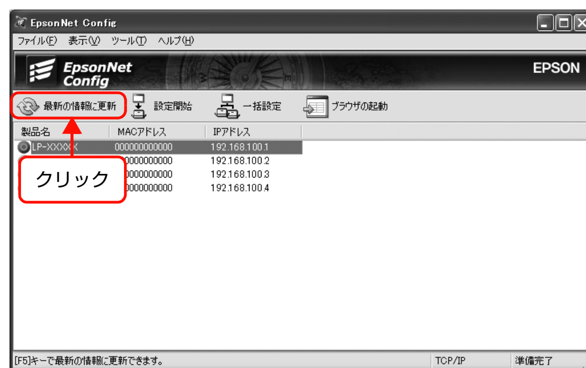
参考

- パスワードは、EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS）と EpsonNet Config（Web）共通で使用します。パスワードの管理は十分注意してください。
- パスワードを忘れてしまったときは、インフォメーションセンターにお問い合わせください。

7 ［OK］をクリックします。



8 設定が有効になるまで最大３分かかりますので、その間は本製品の電源を切らないでください。３分ほどしたら、［最新の情報に更新］をクリックして、設定値を確認してください。



以上で終了です。

次に印刷をするコンピュータを設定します。

☞ 本書 26 ページ「印刷をするコンピュータの設定」

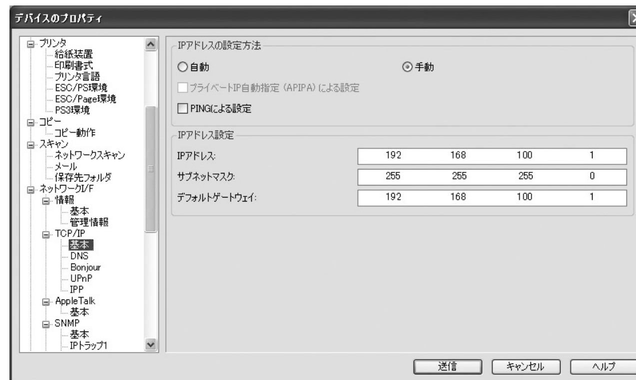
プロパティ画面の説明

ここでは［デバイスのプロパティ］画面の［TCP/IP］－［基本］画面と［Bonjour］画面を説明します。それ以外の項目の詳細は、EpsonNet Config のヘルプを参照してください。

☞ 本書 23 ページ「[TCP/IP] －［基本］画面」
☞ 本書 24 ページ「[TCP/IP] －［Bonjour］画面」

[TCP/IP] – [基本] 画面

IP アドレスに関する項目を設定します。



※接続した機種によっては表示が異なることがあります。

IP アドレスの設定方法

設定項目	設定内容
自動	DHCP または BOOTP サーバから IP アドレスを自動取得するときに選択します。 本製品の電源を入れるたびにネットワークインターフェイスに割り振られる IP アドレスが変更されます。 DHCP または BOOTP サーバのない環境では使用できません。設定の詳細は各サーバの取扱説明書を参照してください。
手動	［IP アドレス設定］項目で IP アドレスを設定するときに選択します。
プライベート IP 自動指定（APIPA）による設定	チェックを付けると、DHCP サーバが存在しないときや応答がないときに、IP アドレスが APIPA（Automatic Private IP Addressing）によって自動設定されます。 IP アドレスの設定方法が手動の場合、この項目は設定できません。
PING による設定	IP アドレスを ARP/PING コマンドから設定するときにチェックを付けてください。

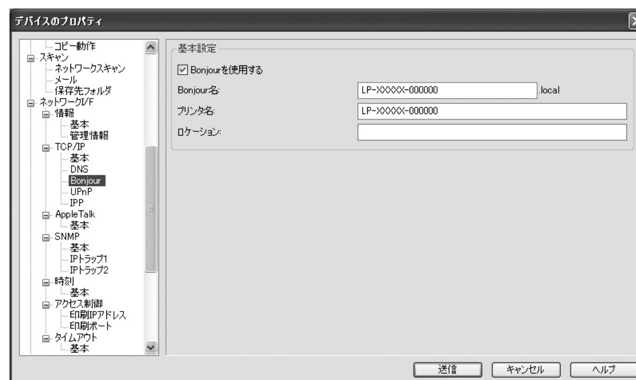
IP アドレス設定

設定項目	設定内容
IP アドレス	ネットワークインターフェイスの IP アドレスを入力します。IP アドレスがわからないときは以下のページを参照してください。 ☞ 本書 34 ページ「困ったときは」 ほかのネットワーク機器や、コンピュータですでに使用している IP アドレスと重複しないようにしてください。 工場出荷時は［192.168.192.168］ですが、このままでは使用できません。この IP アドレスを使用するときは、一旦消してから同じ IP アドレスを再入力すると使用可能となります。ネットワークインターフェイスの IP アドレスは、ご利用の環境に合わせて必ず変更してください。
サブネットマスク	サブネットマスクを入力します。 工場出荷時は［255.255.255.0］です。
デフォルトゲートウェイ	ゲートウェイアドレスを入力します。ゲートウェイになるサーバやルータがある場合は、サーバやルータの IP アドレスを入力します。

設定項目を変更したときは、設定方法の手順 4 に戻り、変更内容をネットワークインターフェイスに送信してください。

[TCP/IP] − [Bonjour] 画面

Mac OS X で Rendezvous または Bonjour で印刷するときに設定します。



※接続した機種によっては表示が異なることがあります。

基本設定

設定項目	設定内容
Bonjour を使用する	Rendezvous または Bonjour を使用するときにチェックを付けます。
Bonjour 名	［Bonjour を使用する］にチェックを付けたときに有効になります。 Rendezvous または Bonjour 上で使用する名前を入力します。半角英数の 2 文字以上 53 文字以下で入力してください。
プリンタ名	本製品の名前を入力します。半角英数の 1 文字以上 41 文字以下で入力してください。

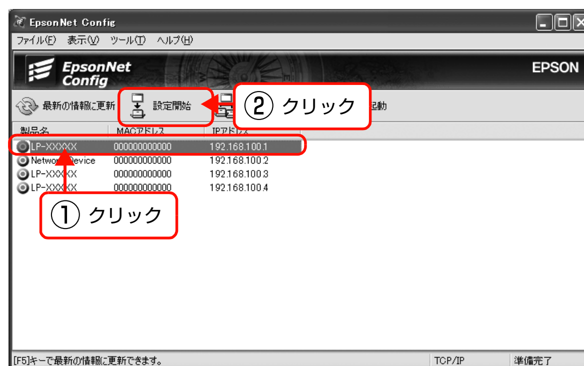
設定項目を変更したときは、設定方法の手順 4 に戻り、変更内容をネットワークインターフェイスに送信してください。

工場出荷時への戻し方

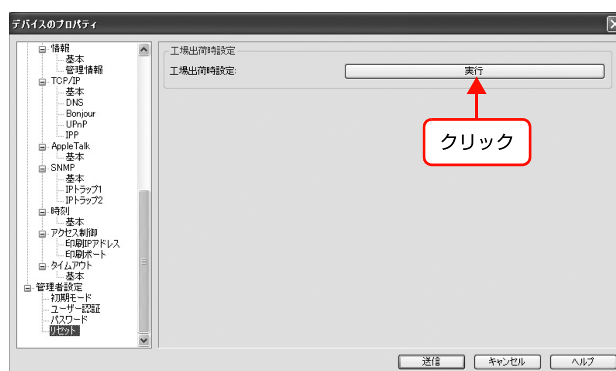
ネットワークインターフェイスに誤った設定をしたときなどで、工場出荷時の状態に戻す必要があるときは、以下の手順で戻してください。

1 **EpsonNet Config を起動します。**
☞ 本書 19 ページ「EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS）の起動」

2 **画面のリストで、本製品を選択して、［設定開始］をクリックします。**



3 **［管理者設定］－［工場出荷時設定］で「ネットワーク I/F」の［実行］をクリックします。**



※ 接続した機種によっては表示が異なることがあります。

その後は「設定方法」の手順 5 以降を参照してください。
☞ 本書 20 ページ「設定方法」

以上で終了です。

4 印刷をするコンピュータの設定

ネットワークに接続した本製品で印刷するには、プリンタドライバのインストールとプリンタポートの設定が必要です。
ここではインストールと設定の手順を OS 別に説明します。

Windows..27
Mac OS X..32

Windows

「印刷環境の確認」で選択した印刷方法に応じて、セットアップをします。

各印刷方法の詳細は、以下のページに進みます。

☞ 本書 27 ページ「EpsonNet Print（LPR）で印刷する」
☞ 本書 27 ページ「標準 TCP/IP（LPR）で印刷する」
☞ 本書 30 ページ「インターネット（IPP）で印刷する」

EpsonNet Print(LPR)で印刷する

EpsonNet Print ソフトウェアを使用して、本製品に印刷データを直接送る設定をします。

EpsonNet Print をインストールしてから、プリンタポートの設定やプリンタドライバのインストールをします。詳細は、以下のページを参照してください。

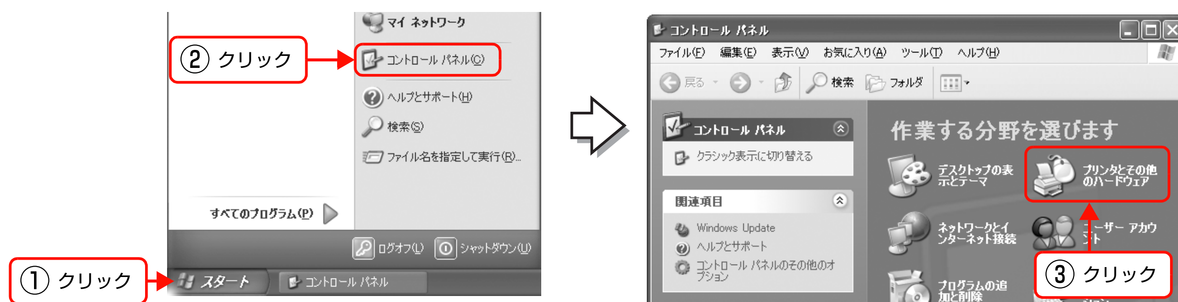
☞ 本書 45 ページ「EpsonNet Print の使い方」

標準 TCP/IP(LPR)で印刷する

ここでは、標準 TCP/IP 印刷（Standard TCP/IP）の設定手順を説明します。

1 **［スタート］ － ［コントロールパネル］ － ［プリンタとその他のハードウェア］ をクリックします。**

Windows Server 2003：［スタート］ － ［プリンタと FAX］ の順にクリック
Windows 2000：［スタート］ － ［設定］ － ［プリンタ］ の順にクリック
Windows Vista：［ ］ － ［コントロールパネル］ － ［プリンタ］ の順にクリック



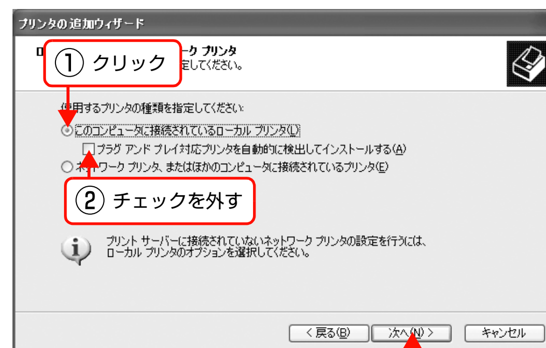
2 **［プリンタを追加する］ をクリックして、表示される画面で ［次へ］ をクリックします。**

Windows 2000/Windows Server 2003：［プリンタの追加］ をダブルクリックして、［次へ］ をクリック
Windows Vista：［プリンタのインストール］ をクリック

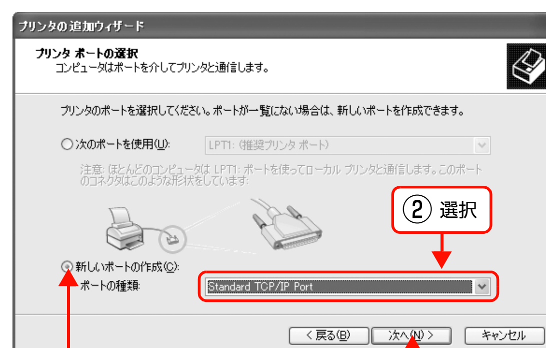


3 **［このコンピュータに接続されているローカルプリンタ］を選択します。［プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする］のチェックを外して、［次へ］をクリックします。**

Windows 2000：
［ローカルプリンタ］を選択
［プラグアンドプレイプリンタを自動的に検出してインストールする］のチェックを外して、［次へ］をクリック
Windows Vista：
［ローカルプリンタを追加します］をクリック



4 **［新しいポートの作成］を選択します。［Standard TCP/IP Port］を選択して、［次へ］をクリックします。**



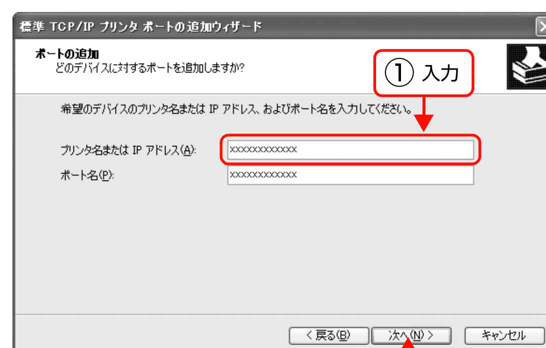
5 **［標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード］が表示されたら、［次へ］をクリックします。**

Windows Vista：手順 6 に進む

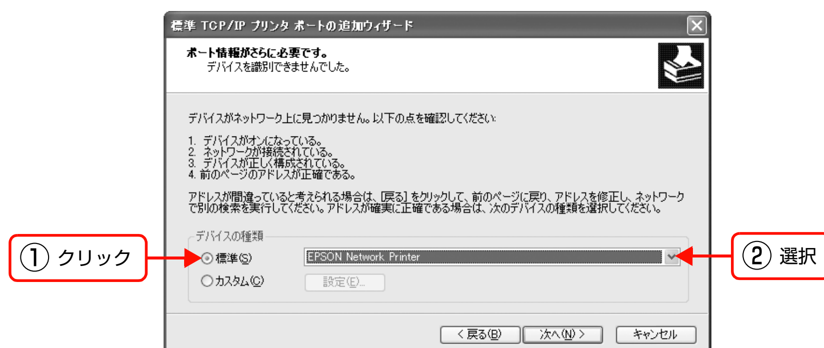


6 **［プリンタ名または IP アドレス］項目にネットワークインターフェイスの IP アドレスを入力して、［次へ］をクリックします。**

［ポート名］は自動的に入力される文字列のままで、変更する必要はありません。
Windows Vista：
［ホスト名または IP アドレス］項目にネットワークインターフェイスの IP アドレスを入力して、［次へ］をクリックしたら手順 8 に進む



参考 何らかの理由で本製品が正しく検出できなかったときに以下の画面が表示されます。このようなときは、[標準] を選択し、[EPSON Network Printer] を選択します。



7 [標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザードの完了] 画面が表示されたら、[完了] をクリックします。



8 [ディスク使用] をクリックして、本製品の『ソフトウェア CD-ROM』をコンピュータにセットします。

9 CD-ROM ドライブ名とフォルダ名を選択または半角文字で入力後、画面の指示に従って設定を終了します。

CD-ROM ドライブまたは以下のフォルダを選択してください。

OS 環境	選択するフォルダ
Windows 2000/Windows XP/Windows Server 2003/Windows Vista	WINVISTA_XP_2K
Windows XP Professional x64/ Windows Server 2003 x64/Vista x64	WINVISTA_XP64

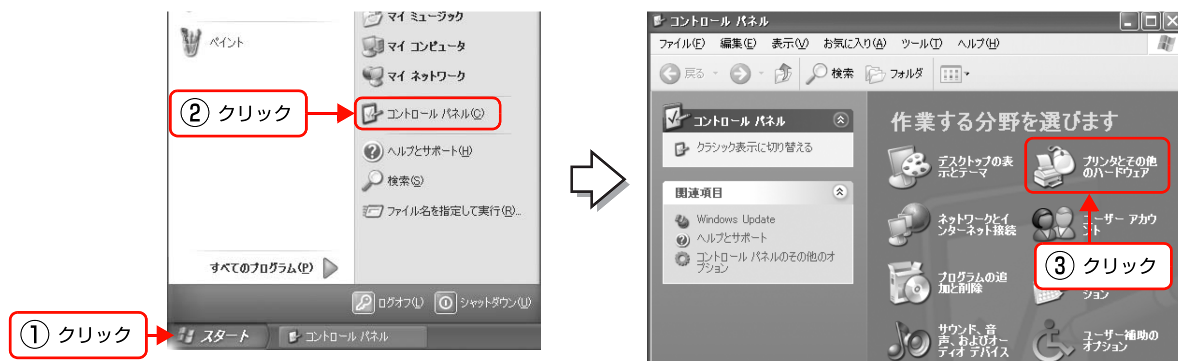
参考 ソフトウェア CD-ROM によっては、各製品のフォルダ名を入力しなければならないことがあります。ソフトウェア CD-ROM のフォルダを確認して入力してください。

以上で終了です。

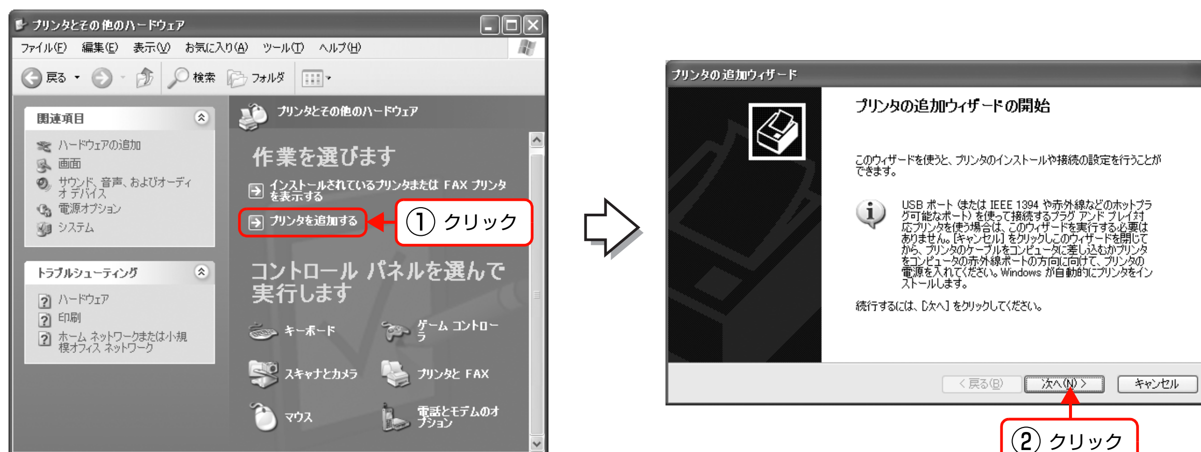
インターネット(IPP)で印刷する

ここでは、インターネット印刷（IPP）の設定手順を説明します。

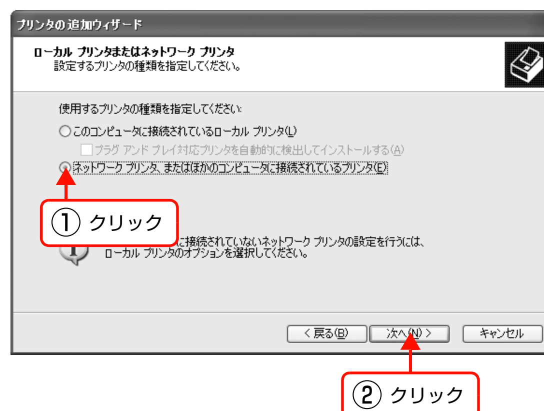
1 **［スタート］ー［コントロールパネル］ー［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。**
Windows Server 2003：［スタート］ ー ［プリンタと FAX］ の順にクリック
Windows 2000：［スタート］ ー ［設定］ ー ［プリンタ］ の順にクリック
Windows Vista：［ ］ ー ［コントロールパネル］ ー ［プリンタ］ の順にクリック



2 **［プリンタを追加する］をクリックして、表示される画面で［次へ］をクリックします。**
Windows 2000/Windows Server 2003：［プリンタの追加］をダブルクリックして、［次へ］をクリック
Windows Vista：［プリンタのインストール］をクリック



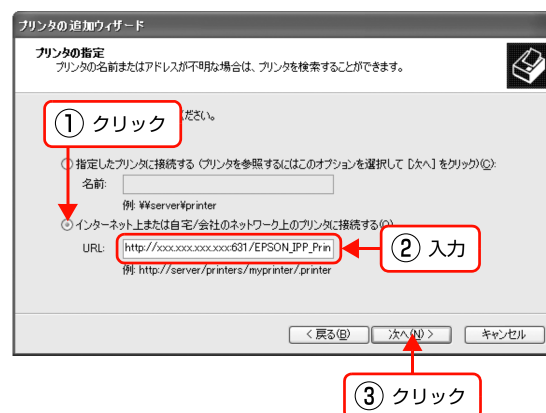
3 **［ネットワーク プリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ］を選択して、［次へ］をクリックします。**
Windows 2000：
［ネットワークプリンタ］を選択して、［次へ］をクリック
Windows Vista：
［ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンタを追加します］をクリック



4 **［インターネット上または自宅 / 会社のネットワーク上のプリンタに接続する］を選択します。ネットワークインターフェイスの URL を以下の書式で入力して、［次へ］をクリックします。**

Windows 2000：
［インターネットまたはイントラネット上のプリンタに接続します］を選択
ネットワークインターフェイスのURLを以下の書式で入力して、［次へ］をクリック
Windows Vista：
［停止］－［探しているプリンタはこの一覧にはありません］をクリック
［共有プリンタを名前で選択する］を選択
本製品のURLを以下の書式で入力して、［次へ］をクリック

書式） http:// ネットワークインターフェイスの IP アドレス：631/EPSON_IPP_Printer



> **参考**
> - 上記のEPSON_IPP_Printerは工場出荷時の値です。ネットワークインターフェイスの設定値は、ネットワークステータスシートで確認できます。
>   ☞『取扱説明書 2 使い方編』（冊子）
> - 書式を https:// ネットワークインターフェイスの IP アドレス：443/EPSON_IPP_Printer とすることで SSL 通信による暗号化印刷ができます。
>   ☞ 本書 74 ページ「印刷データの暗号化（セキュア IPP 印刷）」

5 **［ディスク使用］をクリックして、本製品の『ソフトウェア CD-ROM』をコンピュータにセットします。**

6 **CD-ROM ドライブ名とフォルダ名を選択または半角文字で入力後、画面の指示に従って設定を終了します。**

CD-ROM ドライブまたは以下のフォルダを選択してください。

OS 環境	選択するフォルダ
Windows 2000/Windows XP/Windows Server 2003/Windows Vista	WINVISTA_XP_2K
Windows XP Professional x64/Windows Server 2003 x64/Windows Vista x64	WINVISTA_XP64

> **参考**
> ソフトウェア CD-ROM によっては、各製品のフォルダ名を入力しなければならないことがあります。ソフトウェア CD-ROM のフォルダを確認して入力してください。

以上で終了です。

Mac OS X

プリンタドライバをインストールした後に、プリンタをセットアップします。印刷プロトコルは、EPSON AppleTalk、EPSON TCP/IP、Rendezvous（Mac OS X v10.3）、Bonjour（Mac OS X v10.4 以降）の中から選択できます。

1 **コンピュータに本製品の『ソフトウェア CD-ROM』をセットして、表示されたアイコンをダブルクリックします。**

2 **フォルダ内の［Mac OS X］をダブルクリックします。**

3 **モデル選択画面が表示されたときは、お使いの機種を選択します。**

4 **［カスタムインストール］をクリックします。**

5 **［プリンタドライバ］の ▶ をクリックします。**

6 **画面の指示に従ってインストールを進めます。**
最後に［終了］をクリックしてインストールを終了します。

次にプリンタを追加します。

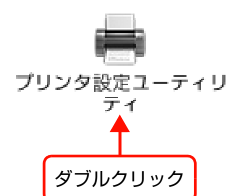
7 **本製品の電源が入っていること、LAN ケーブルで接続されていることを確認してください。**

8 **［Macintosh HD］をダブルクリックします。**

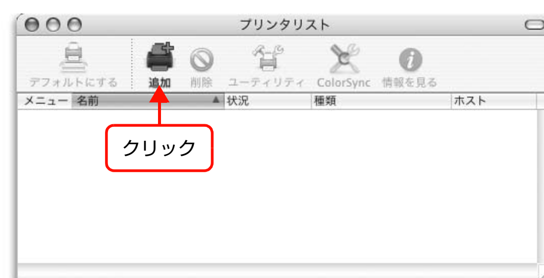
> 参考　［Macintosh HD］の名前を変更しているときは、Mac OS X を起動中のハードディスクアイコンをダブルクリックしてください。

9 **［アプリケーション］フォルダをクリックして、［ユーティリティ］フォルダをダブルクリックします。**

10 **［プリンタ設定ユーティリティ］をダブルクリックします。**



11 **［プリンタリスト］またはメッセージ画面で［追加］をクリックします。**



12 **［プリンタブラウザ］画面または［プリンタリスト］で本製品をクリックします。**
Mac OS X v10.3：［プリンタリスト］画面の一覧から、目的の印刷プロトコルを選択

Mac OS X v10.4



Mac OS X v10.3



使用プロトコル	選択する接続または項目
TCP/IP	EPSON TCP/IP
AppleTalk	EPSON AppleTalk
Rendezvous	Rendezvous
Bonjour	Bonjour

参考

- Mac OS X v10.4 で本製品が目的の接続方法で表示されていないときは、以下の操作をします。
  ①［ほかのプリンタ…］をクリックします。
  ②表示された画面で目的の接続を選択します。
  ③本製品を選択して、［追加］をクリックします。
- ［EPSON AppleTalk］での印刷は、コンピュータの［AppleTalk］を有効にしてください。
  ☞ 本書 14 ページ「AppleTalk を設定する」
- ［EPSON TCP/IP］での印刷は、コンピュータとネットワークインターフェイスに IP アドレスなどの情報を設定してください。ネットワークインターフェイスの Rendezvous/Bonjour 機能を有効にすることを推奨します。
  ☞ 本書 15 ページ「TCP/IP を設定する」
- ［Rendezvous］（Mac OS X v10.3）/［Bonjour］（Mac OS X v10.4 以降）での印刷は、ネットワークインターフェイスの Rendezvous/Bonjour 機能が有効になっている必要があります。
  ☞ 本書 20 ページ「設定方法」

13 **［追加］をクリックします。**

Mac OS X v10.4



Mac OS X v10.3



以上で終了です。

5 困ったときは

ここでは、困ったときの対処方法を説明します。

設定や印刷に関するトラブル 35
同梱のソフトウェア使用時のトラブル 37
Mac OS に関するトラブル 41

設定や印刷に関するトラブル

ネットワーク設定ができない / ネットワーク印刷ができない

操作パネルで［共通設定］－［ネットワーク設定］－［ネットワーク I/F］が［使う］になっていますか？
［使わない］が選択されているとネットワーク通信はできません。［使う］に設定してください。
『取扱説明書 2 使い方編』（冊子）

ネットワークステータスシートが印刷できますか？
本製品の操作パネルで［共通設定］－［ネットワーク設定］－［ネットワーク I/F］を［使う］にしていないとネットワークステータスシートが印刷できません。設定を確認してください。
『取扱説明書 2 使い方編』（冊子）

TCP/IP で使用するときは、コンピュータと本製品が通信できていますか？
本書の「PING コマンドによる通信確認方法」を参照して、通信できているか確認してください。
本書 96 ページ「PING コマンドによる通信確認方法」

通信できていないときは、以下の「ハブ、LAN ケーブルなどは正常に機能していますか？」や「TCP/IP で使用するときは、IP アドレスがお使いの環境で有効な値に設定されていますか？」を参照してください。

ハブ、LAN ケーブルなどは正常に機能していますか？
本製品の電源が入っていて、本製品を接続しているハブの、ポートのリンクランプが点灯または点滅しているか確認してください。リンクランプが消灯しているときは、以下のことを確認してください。

- ほかのポートに接続してみる
- ほかのハブに接続してみる
- LAN ケーブルを交換してみる

以上を確認しても通信ができないときは、本製品が故障している可能性があります。『取扱説明書 2 使い方編』（冊子）を参照してください。

TCP/IP で使用するときは、IP アドレスがお使いの環境で有効な値に設定されていますか？
工場出荷時［192.168.192.168］のままでは使用できません。この IP アドレスを使用するには、工場出荷時の値を一旦消してから同じ IP アドレスを再入力してください。ネットワークインターフェイスの IP アドレスは、ご利用の環境に合わせて必ず変更してください。

設定する IP アドレスがわからない

本書の「ネットワーク共有に必要な環境と基礎知識」を参照してください。
ネットワーク管理者がいるときは、管理者に確認してください。
本書 81 ページ「ネットワーク共有に必要な環境と基礎知識」

設定した IP アドレスが変わってしまう



操作パネルで［共通設定］－［ネットワーク設定］－［IP アドレス設定］が［自動］になっていませんか？

［自動］にすると、本製品の電源を入れるたびに IP アドレスが変わってしまいます。［自動］で利用するときは、本製品の電源を入れる順番を決めるか、電源を常時入れておく必要があります。

☞『取扱説明書 2 使い方編』（冊子）



ルータなどで DHCP 機能を使用していませんか？

DHCP 機能で本製品に IP アドレスを設定すると、本製品の電源を入れるたびにコンピュータに設定したプリンタポートを変更しなければなりません。

以下のいずれかの方法で本製品に固定の IP アドレスを設定することをお勧めします。

- DHCP機能を持つ機器のスコープ（クライアントに割り当てるIPアドレスの範囲）の範囲外のIPアドレスを設定する。
- DHCP 機能を持つ機器のバインドを使用して、本製品を特定する。
- DHCP 機能を持つ機器で除外アドレスに設定する。

参考
- スコープ範囲、バインド、除外アドレスなどの設定方法は、ルータなど DHCP 機能を持つ機器の取扱説明書を参照してください。
- 本製品をダイヤルアップルータ使用中の環境に設置するときは、必ずその環境のセグメントに合った IP アドレスを設定してください。正しいアドレスを設定しないと、不必要なダイヤルアップが行われる可能性があります。

ただし、EpsonNet Print によるプリンタポートの設定や EPSON TCP/IP、Bonjour/Rendezvous 印刷（Mac OS X で Bonjour/Rendezvous を使用のとき）では DHCP 機能が使用できます。

印刷に時間がかかる / データの末尾が欠ける



本製品と接続しているハブの通信モード（全二重 / 半二重）が合っていますか？

本製品の通信モード［Link Speed］は工場出荷時［自動］になっています。ハブの通信モードが固定されていると本製品との通信モードに不整合が発生するため、印刷速度が異常に遅くなったり、タイムアウトによって末尾のデータが欠けたりします。ハブの通信モードを確認して、本製品の操作パネルで［共通設定］－［ネットワーク設定］－［Link Speed］を変更してください。

☞『取扱説明書 2 使い方編』（冊子）

同梱のソフトウェア使用時のトラブル

EpsonNet Config(Windows/Web)が起動または設定できない



ソフトウェアインストール後に、プロトコルやサービスを変更しましたか？

EpsonNet Config（Windows）のインストール後に、コンピュータでプロトコルやサービスの追加または削除をすると、EpsonNet Config（Windows）が起動しなくなります。コンピュータのプロトコルやサービスを追加または削除したときは、EpsonNet Config（Windows）を削除後、再インストールしてください。

☞ 本書 79 ページ「EpsonNet ソフトウェアの削除方法」
☞ 本書 18 ページ「EpsonNet Config をインストールする」



コンピュータにネットワーク設定をしていますか？

コンピュータにネットワーク設定をしていないと、「ネットワークがインストールされていないため、EpsonNet Config（Windows）を使用することはできません」というメッセージが表示されます。

このメッセージは、以下のようなときに表示されます。

- コンピュータに TCP/IP プロトコルが組み込まれていない
- コンピュータに TCP/IP プロトコルが組み込まれているが、IP アドレスが正しく設定されていない
- コンピュータに TCP/IP プロトコルが組み込まれており、各種アドレスを自動取得する設定になっているが、DHCP サーバが応答していない

表示されたメッセージで［OK］をクリックすると EpsonNet Config（Windows）を起動できますが、TCP/IP の設定はできません。お使いのコンピュータのネットワーク設定をしてください。

☞ 本書 10 ページ「コンピュータのネットワーク設定」



本製品に IP アドレスを設定していますか？

EpsonNet Config（Web）を起動するには、先に EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS）、または本製品の操作パネルで IP アドレスを設定してください。現在の設定は、ネットワークステータスシートの［IP Address］欄で確認できます。

☞『取扱説明書 2 使い方編』（冊子）



SSL/TLS 通信設定の暗号強度を［High］に設定していませんか？

暗号強度を［High］に設定すると、256 ビットをサポートしているブラウザでないと EpsonNet Config（Web）を起動できません。ブラウザの暗号強度の対応ビットをご確認ください。Internet Explorer6 では、［ヘルプ］－［バージョン情報］で確認できます。



EpsonNet Config（Web）に SSL 通信（https）で接続した際「有効期限が切れている」と表示されませんか？

証明書の有効期限が切れている際は、証明書を取得し直してください。証明書の有効期限内に表示されるときは、本製品の時計機能の時刻が正しく設定されているか確認してください。



EpsonNet Config（Web）に SSL 通信（https）で接続した際「セキュリティ証明書の名前が一致しません ....」と表示されませんか？

自己署名証明書または CSR を作成した際の［コモンネーム］で記述したアドレスとブラウザに入力したアドレスが一致していません。

設定ソフトウェア起動時に製品名 /IP アドレスが表示されない



[Windows セキュリティの重要な警告] 画面やファイアウォールソフトが表示した画面で、[ブロックする] や［遮断する］を選択しましたか？

［ブロックする］や［遮断する］を選択すると通信ができなくなるため、EpsonNet EasyInstall（Windows）または EpsonNet Config（Windows）で製品名が表示されません。
通信を可能にするには、Windows ファイアウォールや市販のセキュリティソフトで例外アプリケーションとして登録してください。

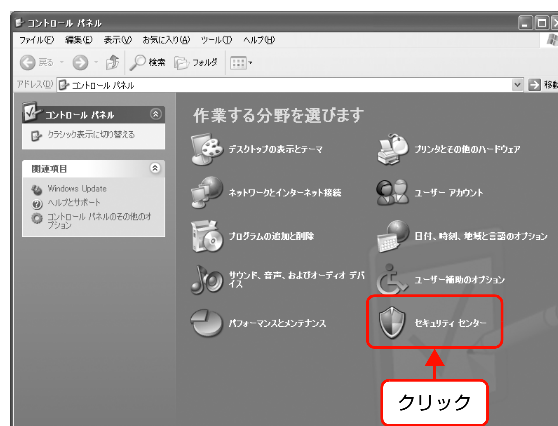
市販のセキュリティソフトの中には、以下の作業をしても表示できないことがあります。そのときは、市販のセキュリティソフトを一旦終了してから、本ソフトウェアを使用してみてください。

> **！重要**
> Windows ファイアウォールに例外登録すると、登録されたプログラムが使用するポートが外部からの通信を受け付けられるようになります。これは、ネットワーク経由の攻撃などセキュリティ上の危険性を高めたポートとなることを意味します。具体的なリスクとしては、コンピュータウィルスの侵入などが考えられます。Windows ファイアウォールの設定変更につきましては、このようなリスクなどもご確認の上、お客様の責任において実施していただきますようお願いいたします。
> 弊社は、この設定変更によって生じた損害および障害につきましては一切責任を負いません。

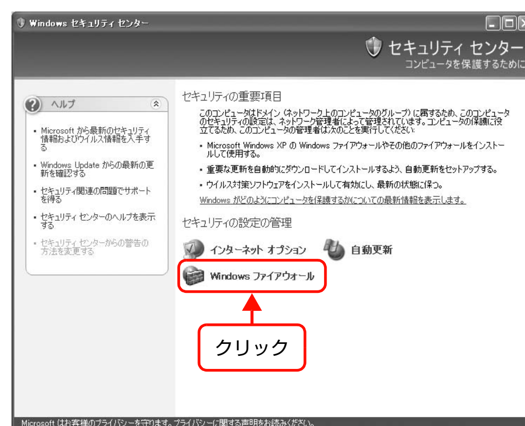
1 ［スタート］（または ）－［コントロールパネル］の順にクリックします。

2 ［セキュリティセンター］をクリックします。

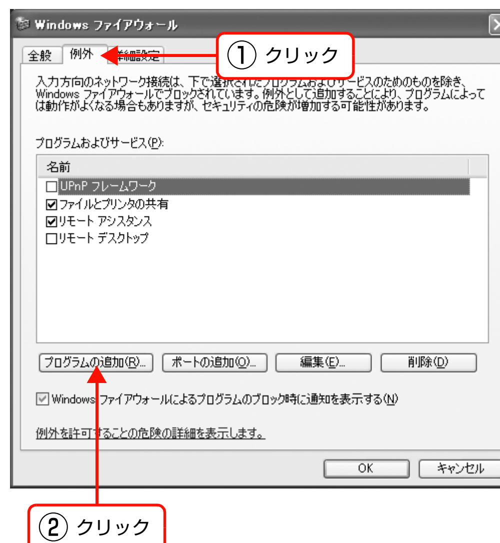
Windows Vista：
①［Windows ファイアウォールによるプログラムの許可］をクリック
②［ユーザーアカウント制御］画面が表示されるので［続行］をクリック
③手順 4 に進む



3 ［Windows ファイアウォール］をクリックします。

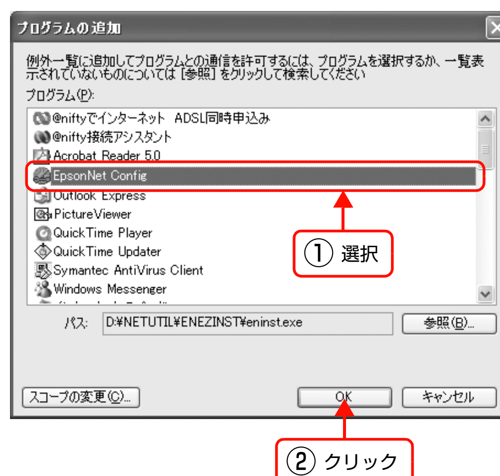


4 **［例外］タブをクリックして、［プログラムの追加］をクリックします。**



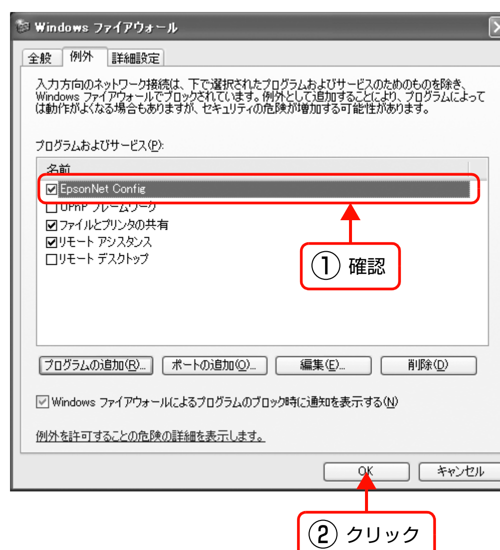
5 **［EpsonNet Config］を選択して［OK］をクリックします。**

EpsonNet EasyInstall（Windows）のときは、本製品の『ソフトウェアCD-ROM』内の［EpsonNetEasyInstall.exe］を選択してください。『ソフトウェア CD-ROM』を参照するには、CD-ROM をコンピュータにセットして［参照］をクリックしてください。



6 **［EpsonNet Config］が［プログラムおよびサービス］に登録され、チェックが付いていることを確認したら、［OK］をクリックします。**

EpsonNet EasyInstall（Windows）のときは、［EpsonNetEasyInstall.exe］が［プログラムおよびサービス］に登録され、チェックが付いていることを確認してから［OK］をクリックしてください。



以上で終了です。



IP アドレスを工場出荷時から変更していますか？

ネットワークインターフェイスの IP アドレスが工場出荷時のままだと、［モデル名］と［IP アドレス］が表示されないことがあります。［モデル名］と［IP アドレス］が表示されなくてもネットワークインターフェイスの設定はできますが、この場合は MAC アドレスで判別します。MAC アドレスは、ネットワークステータスシートの［MAC Address］欄で確認できます。ネットワークインターフェイスを設定すると、正しく表示されるようになります。

『取扱説明書 2 使い方編』（冊子）



［通信エラーとする時間］を変更してみてください。

EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS）の［ツール］－［オプション］－［タイムアウト］で、［通信エラーとする時間］を大きい値に変更してみてください。ただし、EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS）の動作が遅くなる（検索に時間がかかります）ため注意してください。

本書 20 ページ「設定方法」

EpsonNet Print を使って印刷すると、ダイヤルアップ接続画面が表示される



インターネットへの接続設定がダイヤルアップ接続になっていませんか？

メッセージ画面でキャンセルを選択するとその後は正常に印刷されますが、Windows 起動後の最初の印刷時に、毎回メッセージが表示されます。

このメッセージが表示されないようにするには、LAN 接続でインターネットに接続するよう設定するか、手動でダイヤルアップネットワークを起動してください。

Mac OS に関するトラブル

プリンタの追加で本製品が表示されない



プリンタドライバをインストールしていますか？

『取扱説明書 1 セットアップ編』(冊子)または以下のページを参照して、プリンタドライバをインストールしてください。

本書 32 ページ「Mac OS X」



コンピュータにネットワーク設定をしていますか？

各プロトコルによって設定が異なります。以下の設定になっているか確認してください。

- EPSON AppleTalk の場合
  ［システム環境設定］の［ネットワーク］画面で［表示：］の中から［内蔵 Ethernet］を選択して、［AppleTalk］タブで、［AppleTalk 使用］にチェックが付いているか。
  本書 14 ページ「AppleTalk を設定する」
- EPSON TCP/IP の場合
  ［システム環境設定］の［ネットワーク］－［TCP/IP］タブで、各種アドレスが設定されているかネットワークインターフェイスに工場出荷時以外の正しい IP アドレスが設定されているか。
  本書 15 ページ「TCP/IP を設定する」
- Rendezvous（Mac OS X v10.3）および Bonjour（Mac OS X v10.4 以降）の場合
  EpsonNet Config（Mac OS）［ネットワーク I/F プロパティ］画面の［TCP/IP］－［Bonjour］で［Bonjour を使用する］にチェックが付いているか。
  本書 20 ページ「設定方法」

Rendezvous/Bonjour で印刷できない



大きなデータの印刷や大きな用紙に印刷していませんか？

Rendezvous/Bonjour では、大きなデータや用紙を印刷するときに、多くの HDD の空き容量を必要とすることがあります。

EPSON TCP/IP 印刷は、Rendezvous/Bonjour に比べて同等かあるいはより少ない HDD の空き容量で印刷が可能です（必要とする HDD の空き容量は、用紙サイズ、印刷データ、印刷設定などにより変動します）。

本書 32 ページ「Mac OS X」

6 その他の便利な機能の紹介

ここでは、本製品の『ソフトウェア CD-ROM』に収録の各ソフトウェアの詳細や、エプソンのネットワークソフトウェアを説明します。

EpsonNet ソフトウェアのご案内 43
EpsonNet Print の使い方 45
EpsonNet Config（Web）の使い方 55
プリンタ情報の確認機能（Windows）.................... 62

EpsonNet ソフトウェアのご案内

ここでは、本製品で使用できる各種ネットワーク関連のソフトウェアを紹介します。
EpsonNet ソフトウェアのインストールやダウンロードの方法は、以下のページを参照してください。
☞ 本書 44 ページ「EpsonNet ソフトウェアを入手するには」

印刷用ソフトウェア

Windows でネットワーク印刷をするときに使用するソフトウェアです。OS 標準搭載の印刷方法以外で印刷するときに使用します。

●直接印刷ソフトウェア（EpsonNet Print）CD-ROM 収録

- スプーラ画面にプリンタのステータスを表示できます。
- IP アドレスを自動追従するため、ネットワークインターフェイスのアドレスが DHCP 機能によって自動的に割り当てられても、プリンタポートの設定変更が不要です。
- ルータを越えた場所にあるプリンタ（別セグメントのプリンタ）を LPR プリンタとして使用できます。
- 印刷データの送信プロトコル（LPD/EPSON 拡張 /RAW）を使い分けることで、印刷の速さを 3 段階から選べます。
  ☞ 本書 45 ページ「EpsonNet Print の使い方」



IP アドレスを自動追従させるには、ネットワークインターフェイスの IP アドレス設定を［自動］または［Auto］に設定してください。

設定ソフトウェア

本製品のネットワークインターフェイスの設定を、コンピュータから設定するときに使用するソフトウェアです。

●簡易ネットワーク設定ソフトウェア（EpsonNet EasyInstall）CD-ROM 収録

ウィザード形式で、簡単にアドレスの設定ができるソフトウェアです。Windows 版と Mac OS 版があり、本製品の『ソフトウェア CD-ROM』から起動します。起動した画面の指示に従って設定を進めます。
Windows ではアドレス設定後にプリンタドライバと EpsonNet Print をインストールして、直接印刷用のプリンタポートを自動作成します。
Mac OS ではアドレスの設定のみします。
それ以外の項目（DNS サーバの登録や SNMP、Bonjour 名など）を設定するときは、EpsonNet Config で設定してください。

●ネットワーク設定ソフトウェア（EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS）版）CD-ROM 収録

ネットワークインターフェイスの各種アドレスやプロトコル（TCP/IP、AppleTalk、SNMP）などが設定できるソフトウェアです。
☞ 本書 18 ページ「EpsonNet Config で設定する」

●ネットワーク設定ソフトウェア（EpsonNet Config（Web）版）

ネットワークインターフェイスに内蔵されているソフトウェアです。
ネットワーク上のコンピュータで、Web ブラウザから起動します。ネットワークインターフェイス設定（TCP/IP、AppleTalk など）とプリンタ設定（消耗品の確認や給紙装置の設定など、各種の確認・設定）ができます。
EpsonNet Config（Web）は、ネットワークインターフェイスおよびコンピュータに IP アドレスが設定されていないと使えません。初めて設定するときは EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS）をお使いください。
☞ 本書 55 ページ「EpsonNet Config（Web）の使い方」

管理ソフトウェア

弊社では、オフィスの中で効率的または効果的にエプソン製プリンタを使用いただくための、ネットワーク管理ソフトウェアを提供しています。印刷だけでなく、トータルなプリンタ管理を含めて提案していますので、ぜひ活用ください。
各ソフトウェアの入手方法は、以下のページを参照してください。
☞ 本書 44 ページ「EpsonNet ソフトウェアを入手するには」

●プリンタドライバ導入支援ソフトウェア（EpsonNet InstallManager）

ネットワークプリンタのドライバインストールからプリンタポートの設定までを、自動的に実行するインストールパッケージを作成できるソフトウェアです。

管理者はグループごと、部署ごとに使用するプリンタドライバのパッケージを一括して作成でき、作成したインストールパッケージをクライアント側のコンピュータで実行するだけでクライアントの印刷環境が作成されます。そのため、管理者がしているプリンタドライバ配布やインストール作業を大幅に軽減します。またプリンタドライバだけでなく、EPSON ステータスモニタまたは EPSON プリンタウィンドウ !3 なども同時にパッケージ化できます。

●ネットワークデバイスの監視と管理用ソフトウェア（Offirio SynergyWare PrintDirector）

社内 / 学校内ネットワーク（イントラネット）上のデバイス（プリンタやコピーシステム）の監視や管理（消耗品残量など）と、各クライアントからの印刷実行状況などを記録して集計 / 出力することができるソフトウェアです。集計したログを活用することで、社内 / 学校内の無駄な印刷コストを削減し、効果的な印刷環境の構築に役立てることができます。
Offir io SynergyWare PrintDirector の評価版をエプソンのホームページからダウンロードできます（http://www.epson.jp/）。

EpsonNet ソフトウェアを入手するには

入手するには、本製品に同梱の『ソフトウェア CD-ROM』から［ネットワークソフトウェアのインストール］を選択して、入手したいソフトウェアを選択します。表示された URL からソフトウェアをダウンロードします。

ソフトウェアと一緒に各ダウンロードサイトに掲載の取扱説明書も入手してください。入手した取扱説明書の内容を確認してから、各ソフトウェアを設定してください。



EpsonNet Printの使い方

EpsonNet Print は、ネットワークに接続したエプソン製プリンタに Windows から TCP/IP 直接印刷をするためのソフトウェアです。



本ソフトウェアをインストールしなくても Windows 標準 LPR を使用して TCP/IP 直接印刷ができます。ただし、IP アドレスの自動追従やステータスの表示など、本ソフトウェア固有の機能は使用できません。

セットアップの流れ

本ソフトウェアを使用するための手順を説明します。

1	**EpsonNet Print のインストール**	本書 46 ページ「EpsonNet Print のインストール」
	本ソフトウェアを使用するコンピュータにインストールします。	



2	**コンピュータの設定**	本書 47 ページ「コンピュータの設定」
	本ソフトウェアのプリンタポート「EpsonNet Print Port」を作成してから、プリンタドライバをインストールします。 ①プリンタポートの作成 ②プリンタドライバのインストール	

セットアップ中の製品探索方法の変更や、印刷データの送信方法を変更するときは、以下を参照してください。
本書 51 ページ「その他の機能」

EpsonNet Print のインストール

EpsonNet Print をインストールすると新しいプリンタポート（EpsonNet Print Port）が作成され、ネットワーク直接印刷ができるようになります。
インストールするには、管理者の権限を持つユーザーでログオンしてください。



インストールしたソフトウェアの削除は、EpsonNet ソフトウェアの削除方法を参照してください。
本書 79 ページ「EpsonNet ソフトウェアの削除方法」



本ソフトウェアは、旧印刷用ソフトウェアの EpsonNet Direct Print Version1.0 または Version2.X と同じコンピュータにインストールできません。
EpsonNet Direct Print Version1.0 をお使いの場合は、EpsonNet Direct Print を削除してから本ソフトウェアをインストールしてください。EpsonNet Direct Print Version2.X をお使いの場合は、本ソフトウェアのインストール中に警告メッセージを表示しますので、画面の指示に従って EpsonNet Direct Print Version2.X を削除してください。

1. **コンピュータに本製品の『ソフトウェア CD-ROM』をセットします。**
   Windows Vista：［自動再生］画面の［プログラムのインストール / 実行］で発行元が SEIKO EPSON であることを確認してからクリック

2. **［ネットワークソフトウェアのインストール］をクリックします。**
   Windows Vista：［ユーザーアカウント制御］画面で［続行］をクリックしてから、［ネットワークソフトウェアのインストール］をクリック

3. **［EpsonNet Print（直接印刷ツール）］の ▶ をクリックします。**

4. **この後は、画面の指示に従ってインストールしてください。**

以上で終了です。

次にコンピュータを設定します。

コンピュータの設定

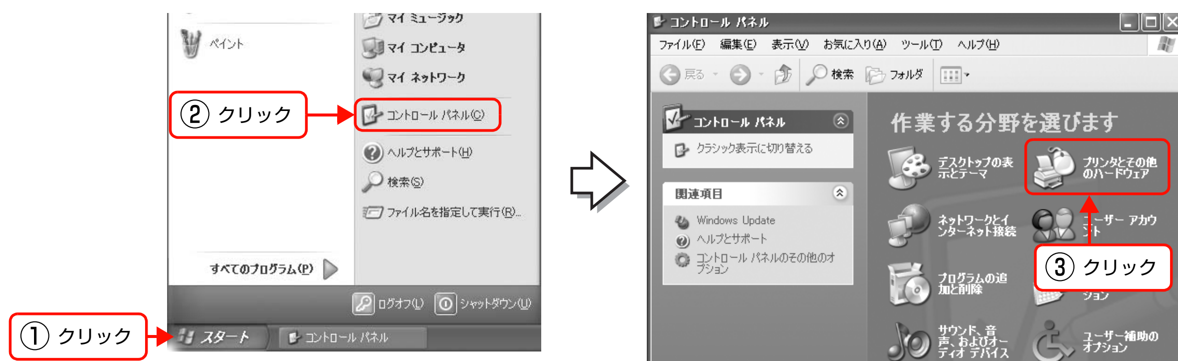
セットアップを始める前に、コンピュータに IP アドレスが設定されていることを確認してください。
本書 10 ページ「コンピュータのネットワーク設定」

また、本製品に工場出荷時（192.168.192.168）以外の IP アドレスが設定されていることも確認してください。本製品の IP アドレスはネットワークステータスシートを印刷すると確認できます。ネットワークステータスシートの出力方法は、『取扱説明書 2 使い方編』（冊子）を参照してください。

プリンタポートの作成

プリンタポート（EpsonNet Print Port）を作成した後、プリンタドライバをインストールします。Windows XP の画面で説明します。

1 **［スタート］ ─ ［コントロールパネル］ ─ ［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。**
Windows Server 2003：［スタート］ ─ ［プリンタと FAX］の順にクリック
Windows 2000：［スタート］ ─ ［設定］ ─ ［プリンタ］の順にクリック
Windows Vista：［ ］ ─ ［コントロールパネル］ ─ ［プリンタ］の順にクリック

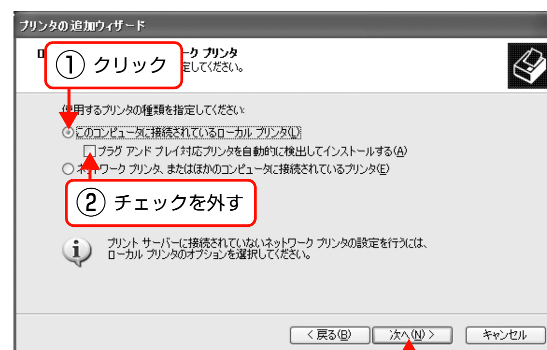


2 **［プリンタを追加する］をクリックして、表示される画面で［次へ］をクリックします。**
Windows 2000/Windows Server 2003：［プリンタの追加］をダブルクリックして、［次へ］をクリック
Windows Vista：［プリンタのインストール］をクリック



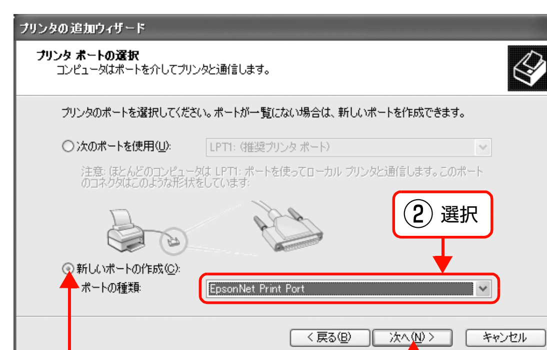
3 **［このコンピュータに接続されているローカルプリンタ］を選択し、［プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする］のチェックを外して、［次へ］をクリックします。**

Windows 2000：
［ローカルプリンタ］を選択し、「プラグアンドプレイプリンタを自動的に検出してインストールする」のチェックを外して、［次へ］をクリック
Windows Vista：
［ローカルプリンタを追加します］をクリック



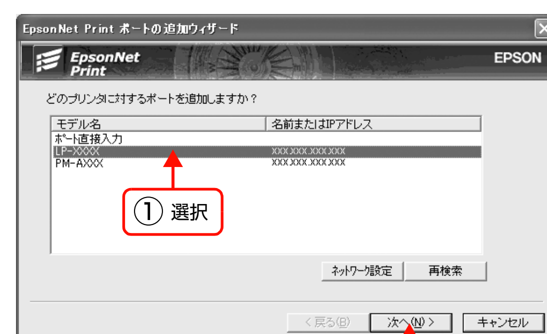
4 **［新しいポートの作成］を選択します。［EpsonNet Print Port］を選択して、［次へ］をクリックします。**

お使いの Windows によっては［Windows セキュリティの重要な警告］画面が表示されます。［ブロックを解除する］をクリックしてください。



5 **本製品を選択して、［次へ］をクリックします。**

本製品が表示されないときは、本製品の電源が入っているか確認して［再検索］をクリックするか、［ポート直接入力］をクリックしてアドレスを指定してください。

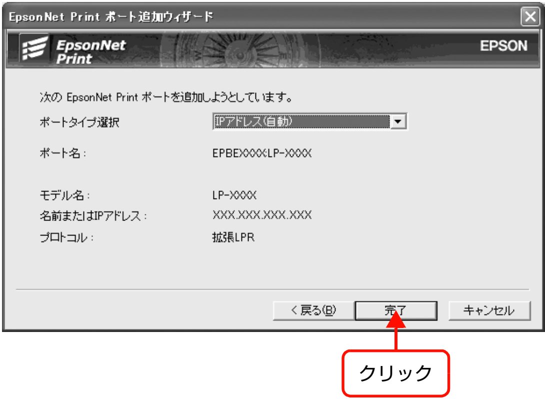


参考

- ［ポート直接入力］の詳細は、以下を参照してください。
  ☞ 本書 52 ページ「アドレスを直接指定する」
- 別セグメントのネットワークプリンタを指定するときは、［ネットワーク設定］をクリックして設定します。
  ☞ 本書 51 ページ「探索方法を変更する」
- ［ネットワーク設定］をクリックして設定を変更したときやポートの追加中に本製品の電源を入れたときは、［再検索］をクリックしてください。
- 手順 4 で表示された［Windows セキュリティの重要な警告］画面で［ブロックする］を選択したときは、コンピュータと同じセグメントにあるネットワークアドレスのプリンタのみを表示します。異なるネットワークアドレスのプリンタを表示するときは、［コントロールパネル］の［Windows ファイアウォール］で設定を変更してください。

6 **画面の内容を確認して、[完了] をクリックします。**

[ポートタイプ選択] でポートタイプを選択できます。通常は変更する必要はありません。
各項目の説明は、下表を参照してください。



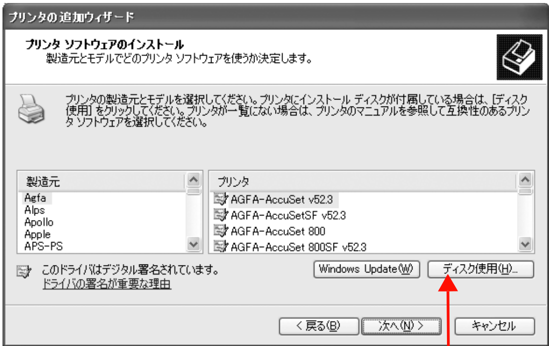
項目名		内容
[ポートタイプ選択]		作成するポートのタイプを選択できます。ネットワークインターフェイスの設定に応じて、以下の項目が選択できます。
	IP アドレス（自動）	使用するコンピュータと本製品が同一セグメント内にあり、ネットワークインターフェイスの［IP アドレスの設定方法］が［自動］のときに選択することをお勧めします。 ネットワークインターフェイスの IP アドレスが変更されても、ポートと IP アドレスが自動的に関連付けられるため、IP アドレスが変わるたびに使用するコンピュータのポート名を変更する必要がありません。
	IP アドレス（固定）	ネットワークインターフェイスが固定アドレスのときに選択することをお勧めします。
	DNS 登録名	DNS サーバにネットワークインターフェイスのホスト名を登録しているときに選択できます。
ポート名		[ポートタイプ選択] リストで選択した項目によって以下のように表示します。 [IP アドレス（自動）]　：ホスト名（ネットワークインターフェイス名 EPXXXXXX）：プリンタ名 [IP アドレス（固定）]　：IP アドレス：プリンタ名 [DNS 登録名]　：ホスト名（DNS 登録済み）：プリンタ名
モデル名		プリンタ名を表示します。
名前または IP アドレス		[ポートタイプ選択] リストで選択した項目によって以下のように表示します。 [IP アドレス（自動）]　：EP+MAC アドレス [IP アドレス（固定）]　：IP アドレス [DNS 登録名]　：ホスト名（DNS 登録済み）
プロトコル		使用プロトコル（拡張 LPR）を表示します。

プリンタドライバのインストール

1 **本製品の『ソフトウェア CD-ROM』をコンピュータにセットします。**

2 **画面が表示されたら、画面を閉じてください。**

3 **[プリンタの追加ウィザード] または [プリンタウィザード] 画面で [ディスク使用] をクリックします。**



4 **CD-ROM ドライブ名とフォルダ名を選択または半角文字で入力後、画面の指示に従って設定を終了します。**

CD-ROM ドライブまたは以下のフォルダを選択してください。

OS 環境	選択するフォルダ
Windows 2000 Windows XP Windows Server 2003 Windows Vista	WINVISTA_XP_2K
Windows XP Professional x64 Windows Server 2003 x64 Windows Vista x64	WINVISTA_XP64

参考
- ソフトウェア CD-ROM によっては、各製品のフォルダ名を入力しなければならないことがあります。ソフトウェア CD-ROM のフォルダを確認して入力してください。
- このセットアップ方法では、EPSON ステータスモニタがインストールされません。インストールするときは、『取扱説明書 3 ソフトウェア編』（電子マニュアル）を参照してください。

以上で終了です。

EpsonNet Print のその他の詳しい設定をするときは、以下のページに進んでください。

☞ 本書 53 ページ「印刷方式を変更する」

その他の機能

探索方法の詳細設定や印刷データの送信方法などを設定できます。

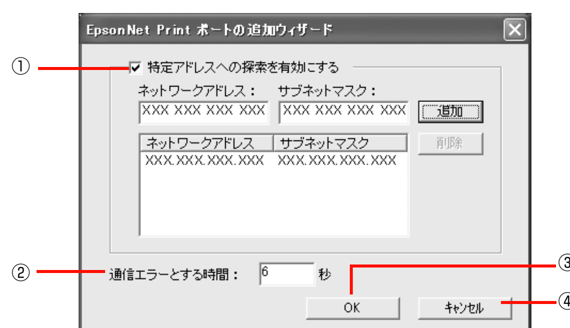
探索方法を変更する

画面の表示方法

［EpsonNet Print ポートの追加ウィザード］の［ネットワーク設定］をクリックすると表示されます。



項目の説明



項目名			内容
①	特定のアドレスへの探索を有効にする		チェックを付けると指定したセグメント内のエプソン製プリンタを探索できます。［ネットワークアドレス］と［サブネットマスク］を入力して、［追加］をクリックします。
		ネットワークアドレス	探索するセグメントの IP アドレスを入力します。 例）192.168.2.0
		サブネットマスク	探索するセグメントのネットワークアドレスのクラスに応じたサブネットマスクを入力します。 例）255.255.255.0
		［追加］	入力されたネットワークセグメント（ネットワークアドレスとサブネットマスク）を一覧に追加します。
		［削除］	一覧で選択された項目を削除します。
②	通信エラーとする時間		エプソン製プリンタに対してパケットを発信してから、返信が届くまでの待機時間を 2 ～ 120（初期値は 6）までの間で設定します。ここで設定した時間を超えて返信がないときはエラーになります。
③	［OK］		設定を有効にして、画面を閉じます。
④	［キャンセル］		設定を取り消して、画面を閉じます。

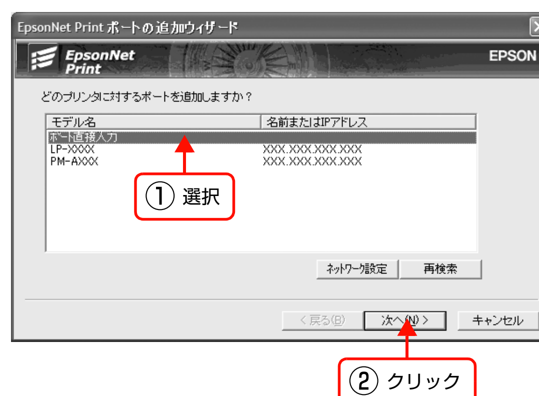
参考　EpsonNet Print をインストールしたコンピュータがクラス B ネットワークアドレス（128.0.0.0 ～ 191.255.255.255）で設定されていると、クラス C ネットワークアドレス（192.0.0.0 ～ 223.255.255.255）で設定したネットワークプリンタが検索されないことがあります。このようなときはプリンタの IP アドレスを直接入力してポートを作成してください。
☞ 本書 52 ページ「アドレスを直接指定する」

アドレスを直接指定する

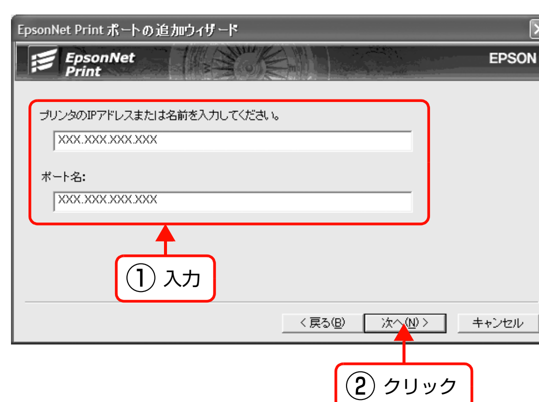
本製品に固定アドレスを設定している場合や、ローカルエリアネットワークの事情でネットワークプリンタの検索でも本製品が表示されない場合は、[ポート直接入力] を使用してポートを作成します。ここでは、Windows XP の画面で説明します。

！重 要 アドレスを自動取得しているときは、この機能を使用しないでください。

1 **[ポート直接入力] を選択して、[次へ] をクリックします。**

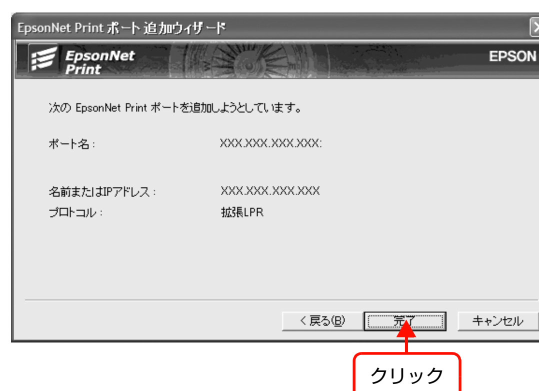


2 **下表を参照し、各項目を入力して [次へ] をクリックします。**



項目名	内容
プリンタのIPアドレスまたは名前を入力してください。	本製品を指定するための IP アドレス / ホスト名 /FQDN のいずれかを、半角英数 127 文字以内で入力します。
ポート名：	[プリンタの IP アドレスまたは名前を入力してください。] に入力した文字列に「：」を付加し、自動的に表示します。

3 **画面の内容を確認して、[完了] をクリックします。**



以上で終了です。

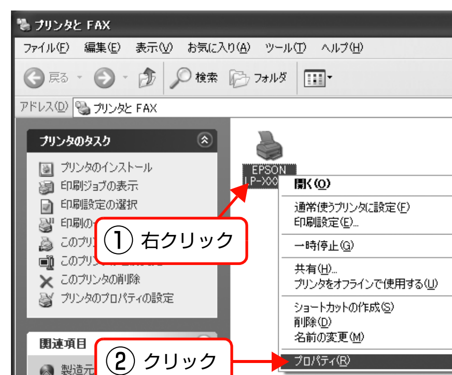
印刷方式を変更する

印刷データの送信方法などが設定できます。

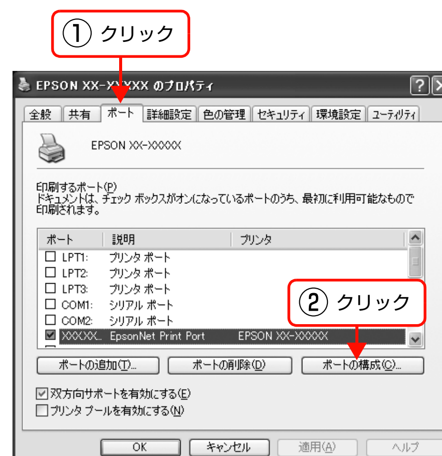
1 **［スタート］－［コントロールパネル］－［プリンタとその他のハードウェア］－［プリンタと FAX］の順にクリックします。**

Windows 2000：［スタート］－［設定］－［プリンタ］の順にクリック
Windows Server 2003：［スタート］－［プリンタと FAX］の順にクリック
Windows Vista：［ ］－［コントロールパネル］－［プリンタ］の順にクリック

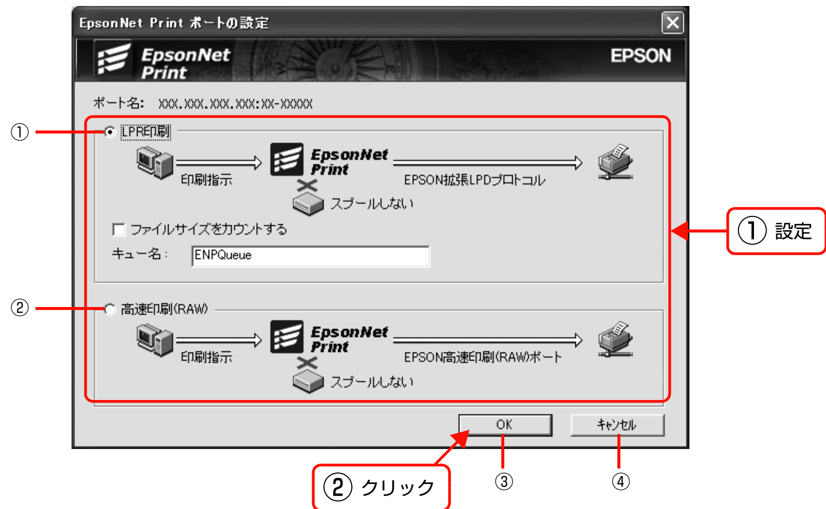
2 **プリンタアイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。**



3 **プロパティの画面で、［ポート］タブの［ポートの構成］をクリックします。**



4 印刷方式を選択して、[OK] をクリックします。



項目名			内容
①	LPR 印刷		EPSON 拡張 LPD プロトコル（拡張印刷）を使用して、印刷データを直接プリンタに送信します。「ファイルサイズをカウントする」にチェックを付けるとより高速に印刷できます。
		ファイルサイズをカウントする	チェックを付けると、LPD プロトコルを使用して、印刷データをコンピュータに一旦スプールしてからプリンタに送信します。
		キュー名	印刷キューに名前を付けられます。 通常は変更する必要はありません。
②	高速印刷（RAW）		最も高速に印刷するときに選択します。 LPR 印刷で使用する LPD プロトコルを使わずに印刷します。
③	[OK]		設定を有効にして、画面を閉じます。
④	[キャンセル]		設定を取り消して、画面を閉じます。

以上で終了です。

EpsonNet Config(Web)の使い方

EpsonNet Config（Web）は、Web ブラウザからネットワークインターフェイスおよび本製品を設定するソフトウェアです。また本製品の操作パネルで行う各種項目も、本ソフトウェア経由で設定できます。

動作環境

EpsonNet Config（Web）は、下表の Web ブラウザが動作するコンピュータで使用できます。

対応 Web ブラウザ	• InterNet Explorer Ver.5.5 以降 • Apple Safari Ver.1.2 以降

Web ブラウザの設定に関する注意

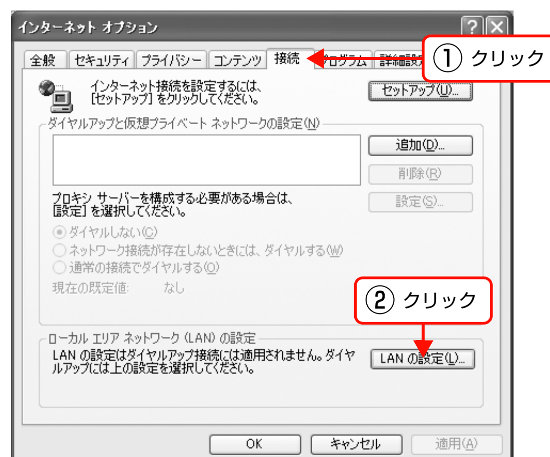
プロキシサーバを使用する場合と使用しない場合で、Web ブラウザの設定が異なります。
ここでは Windows XP 版の Internet Explorer 6.0 を例に、プロキシサーバを使用する場合と使用しない場合の設定を合わせて説明します。

> 参考
> Web ブラウザに Safari を使用して、プロキシサーバを利用するときは、以下を参照して［システム環境設定］－［ネットワーク］－［プロキシ］で設定をしてください。
> プロキシサーバを使用しないときは、設定不要です。
> 例： ローカルアドレス 192.168.1.XXX、サブネットマスク 255.255.255.0 の場合：192.168.1.*
> ローカルアドレス 192.168.XXX.XXX、サブネットマスク 255.255.0.0 の場合：192.168.*.*

1 Internet Explorer を起動します。

2 ［ツール］－［インターネットオプション］をクリックします。

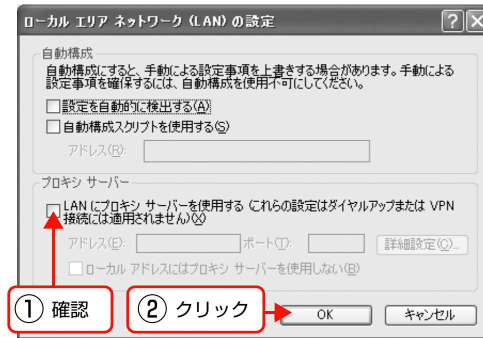
3 ［接続］タブをクリックして、［LAN の設定］をクリックします。



4　プロキシサーバを使う場合、使わない場合ごとに設定を確認します。

プロキシサーバを使用する：
［LAN にプロキシサーバーを使用する］にチェックを付ける
プロキシサーバを使用しない：
［LAN にプロキシサーバーを使用する］のチェックを外す

- Internet Explorer 5.5：
［プロキシサーバーを使用する］を確認



以上で終了です。

起動

EpsonNet Config（Web）のインストールは不要です。ただし、以下の設定をしておいてください。

①設定に使うコンピュータへの IP アドレス設定

☞ 本書 10 ページ「コンピュータのネットワーク設定」

②設定に使うコンピュータへの Web ブラウザのインストール

☞ 本書 55 ページ「動作環境」

③ネットワークインターフェイスへの IP アドレス設定

☞ 本書 16 ページ「ネットワークインターフェイスの設定」

！重 要	EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS）と EpsonNet Config（Web）から、同じネットワークインターフェイスに対して同時に設定しないでください。

参考	お使いの Web ブラウザによっては、入力できる文字種の制限があります。詳細は、お使いの Web ブラウザおよび OS の取扱説明書を参照してください。

Web ブラウザから起動

Windows の場合は Web ブラウザを起動しネットワークインターフェイスの IP アドレスをアドレスバーに入力して、［Enter］または［return］キーを押します。
このとき、EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS）を起動させないでください。

書式）https:// ネットワークインターフェイスの IP アドレス /
例）https://192.168.100.201/

参考	IP アドレスを自動取得にしているときは、IP アドレスが変わることがあります。以前に入力した IP アドレスやブックマークなどを利用して指定しても EpsonNet Config（Web）が起動できないときは、操作パネルまたはネットワークステータスシートで本製品の IP アドレスを確認してください。

Mac OS X で Safari から起動する場合は、以下の手順で起動してください。

1 **メニューから［Safari］-［環境設定］を選択します。**

2 **［ブックマーク］ウィンドウで、以下の項目にチェックを付けます。**
ブックマークバー：Bonjour を表示（または Rendezvous を含める）
ブックマークメニュー：Bonjour を表示（または Rendezvous を含める）

3 **アドレスバー下のメニューに追加された［Bonjour］（または［Rendezvous］）をクリックし、リストから本製品（Bonjour/Rendezvous プリンタ名）を選択します。**
EpsonNet Config（Web）が Safari 上で表示されます。
このとき、EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS）は起動しないでください。

EpsonNet Config(Windows)/(Mac OS)から起動

EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS）のリスト画面から、本製品を選択して［ブラウザの起動］をクリックします。

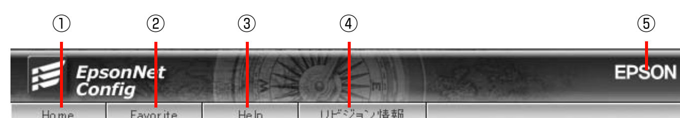
各項目の説明

インデックスとメニューの詳細を説明します。お使いの製品によっては、メニューや各項目内の詳細などが表示されないことがあります。各メニューの詳細は、EpsonNet Config（Web）のヘルプを参照してください。

［プリンタ］項目の詳細を表示させるには、Java Plug-in をインストールしておいてください。表示されないときは、以下の URL から Plug-in をダウンロードしてください。

http://www.epson.jp/epsonnet/java/

インデックスメニュー



① Home

オープニング画面の［基本情報］が表示されます。

② Favorite

［管理者情報］で設定されたリンク先が表示されます。この項目名［Favorite］は［オプション］－［管理者情報］の［お気に入り名］で変更できます。

③ Help

ヘルプが表示されます。

④リビジョン情報

リビジョン情報が表示されます。

⑤ EPSON

エプソンのホームページが別ウィンドウで表示されます。

[情報] メニュー

プリンタ、スキャナ、ファクス、ネットワークインターフェイスの各種設定状況が確認できます。
お使いの製品によっては、表示される項目が異なります。以下は例になります。

情報
プリンタ
- デバイス情報
- 消耗品情報
- 確認
- 給紙情報
- 印刷動作
- プリンタモード環境
- インターフェイス情報

スキャナ
- スキャナ情報

ファクス
- ファクス情報
- ファクス番号

ネットワーク
- 基本情報
- TCP/IP
- AppleTalk
- IPP
- SNMP
- アクセス制限
- タイムアウト
- 時刻

共通設定
- メールサーバ情報

プリンタ

項目	内容
デバイス情報	ネットワークインターフェイスと本製品の情報が表示されます。
消耗品情報	消耗品の使用状況を表示します。
確認	各種ステータスシートを選択して印刷できます。プリンタ、ネットワークインターフェイスなどの設定状況が紙で確認できます。
給紙情報	給紙装置の設定情報を表示します。
印刷動作	本製品の情報を表示します。
プリンタモード環境	各プリンタモードの情報を表示します。
インターフェイス情報	各種インターフェイスの設定情報を表示します。

スキャナ

項目	内容
スキャナ情報	ネットワーク上でスキャナ機能を使用するための設定情報（メールアドレスや保存先情報など）が表示されます。

ファクス

項目	内容
ファクス情報	ファクス機能を使用するための情報が表示されます。
ファクス番号	短縮ダイヤル、グループダイヤル、クイックダイヤルの情報を表示します。

ネットワーク

項目	内容
基本情報	ネットワークインターフェイスの情報を表示します。またオープニング画面でもあります。
TCP/IP	TCP/IP の設定情報を表示します。
AppleTalk	AppleTalk の設定情報を表示します。
IPP	IPP の設定情報を表示します。
SNMP	SNMP の設定情報を表示します。
アクセス制御	アクセス制御の設定情報を表示します。
タイムアウト	タイムアウトの設定情報を表示します。
時刻	時刻の設定情報を表示します。

共通設定

項目	内容
メールサーバ情報	スキャン機能で使用するメールサーバの情報を表示します。

[設定] メニュー

プリンタ、スキャナ、ファクス、ネットワークインターフェイスなどの各種情報が設定できます。
お使いの製品によっては、表示される項目が異なります。以下は例になります。

> **! 重要**
> 各ページで設定を変更し送信しても、その時点では新しい設定は有効になりません。
> 設定を有効にするには、設定送信後の［今すぐリセット］または［オプション］－［リセット］、または本製品の電源を入れ直すのいずれかを実行してください。
> リセット後の再起動時間は本製品の設定および状態によって異なるため、場合によっては正常にブラウザが再描画できないことがあります。そのときはブラウザの更新ボタンを押して再描画してください。

設定
プリンタ
給紙情報
印刷動作
プリンタモード環境
インターフェイス情報
スキャナ
スキャナ設定
ファクス
ファクス設定
ファクス番号
ネットワーク
TCP/IP
AppleTalk
IPP
SNMP
アクセス制限
タイムアウト
時刻
共通設定
メールサーバ設定
セキュリティ
ポートコントロール
SSL/TLS通信設定
CA証明書
サーバ証明書
オプション
管理者情報
初期モード
ユーザー認証
リセット
パスワード

プリンタ

項目	内容
給紙情報	給紙装置を設定します。
印刷動作	印刷動作を設定します。
プリンタモード環境	各プリンタモードの情報を設定します。
インターフェイス情報	各種インターフェイスを設定します。

スキャナ

項目	内容
スキャナ設定	ネットワーク上でスキャナ機能を使用するための情報（メールアドレスや保存先情報など）を設定します。

ファクス

項目	内容
ファクス設定	ファクス機能を使用するための情報を設定します。
ファクス番号	短縮ダイヤル、グループダイヤル、クイックダイヤルを設定します。

ネットワーク

項目	内容
TCP/IP	TCP/IP を設定します。
AppleTalk	AppleTalk を設定します。
IPP	IPP を設定します。
SNMP	SNMP を設定します。
アクセス制御	アクセス制御するための項目を設定します。
タイムアウト	タイムアウトの値を設定します。
時刻	時刻に関する設定をします。

共通設定

項目	内容
メールサーバ設定	スキャン機能で使用するメールサーバの情報を設定します。

設定
プリンタ
給紙情報
印刷動作
プリンタモード環境
インターフェイス情報
スキャナ
スキャナ設定
ファクス
ファクス設定
ファクス番号
ネットワーク
TCP/IP
AppleTalk
IPP
SNMP
アクセス制限
タイムアウト
時刻
共通設定
メールサーバ設定
セキュリティ
ポートコントロール
SSL/TLS通信設定
CA証明書
サーバ証明書
オプション
管理者情報
初期モード
ユーザー認証
リセット
パスワード

セキュリティ

項目	内容
ポートコントロール	LPR/RAW/FTP/IPP の各ポートの有効 / 無効を選択します。
SSL/TLS 通信設定	SSL/TLS 通信する際の情報を設定します。
CA 証明書	CA 証明書のインポート、削除を実行します。
サーバ証明書	サーバ証明書を取得するための CSR の作成や、サーバ証明書のインポート、エクスポートを実行します。

オプション

項目	内容
管理者情報	管理者名と、インデックスの［Favorite］からリンクする任意の URL などを設定します。
初期モード	本製品を起動した際にどのモードを表示させるか選択します。コピー/ スキャン / プリントから選択します。
ユーザー認証	ユーザー認証のモードの設定とユーザー認証するための認証プロキシ for MFP がインストールされているサーバのアドレスを設定します。 ユーザー認証機能の詳細は『取扱説明書 4 ユーザー認証編』（電子マニュアル）を参照してください。
リセット	本製品を工場出荷時に戻します。
パスワード	ネットワークインターフェイスの設定を保護するために、パスワードを設定します。

プリンタ情報の確認機能（Windows）

Windows では、プリンタをネットワークに接続しただけで、各 OS からプリンタの情報が確認できる機能があります。これをユニバーサルプラグアンドプレイ機能といいます。ユニバーサルプラグアンドプレイを使用するには、コンポーネントのインストールとネットワークインターフェイスの設定が必要です。

☞ 本書 64 ページ「ユニバーサルプラグアンドプレイのインストール」

ユニバーサルプラグアンドプレイ機能

デバイスアイコンの自動表示

プリンタ（ネットワークインターフェイス）をネットワークに接続するだけで、［マイネットワーク］または［ネットワーク］画面にデバイスアイコンが表示されます。

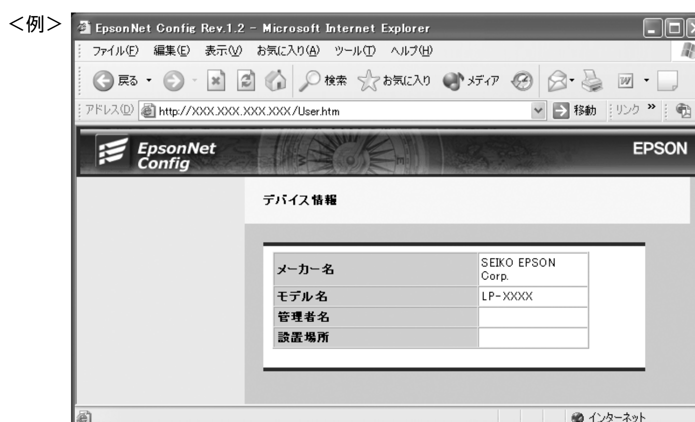


プリンタ情報の表示

自動表示されたデバイスアイコンをダブルクリックすると、プリンタの簡易情報が表示されます。
プリンタの簡易情報表示には、Web ブラウザを使用します。Web ブラウザは、Windows に標準で組み込まれているものが使用できます。

☞ 本書 55 ページ「EpsonNet Config（Web）の使い方」

＜例＞



ネットワークインターフェイス情報の表示

自動表示されたデバイスアイコンを右クリックして［プロパティ］を選択すると、ネットワークインターフェイスの簡易情報（IP アドレスなど）が確認できます。



IP アドレスの自動設定

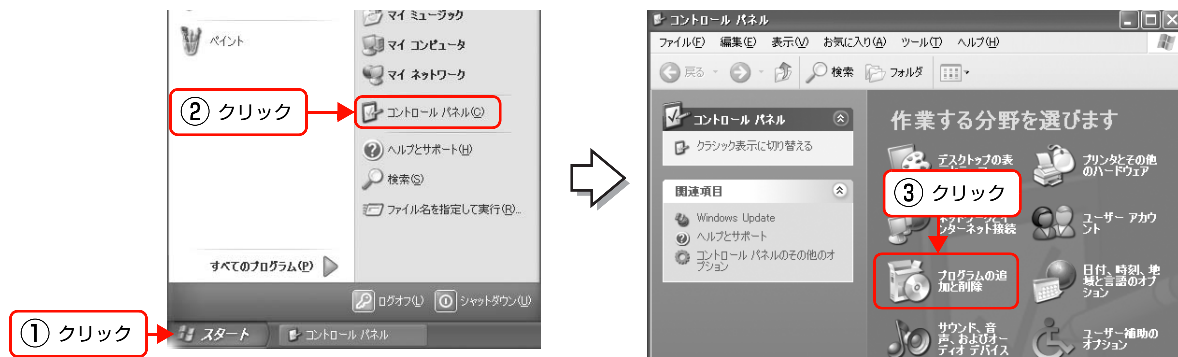
セグメント内で適切な IP アドレスが自動的に割り当てられる（DHCP サーバまたは UPnP の機能によって、ネットワークインターフェイスの IP アドレスが自動的に設定される）ため、ネットワークインターフェイスの IP アドレス設定が不要です。

ただし、TCP/IP 印刷をするときは、手動で IP アドレスを設定することをお勧めします。

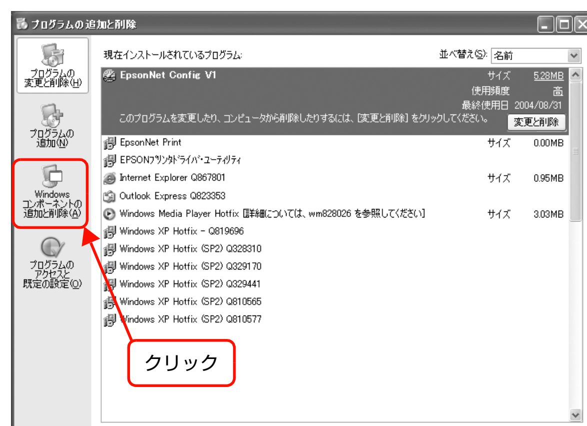
ユニバーサルプラグアンドプレイのインストール

Windows XP を例にして説明します。Windows Vista ではインストールする必要がありません。

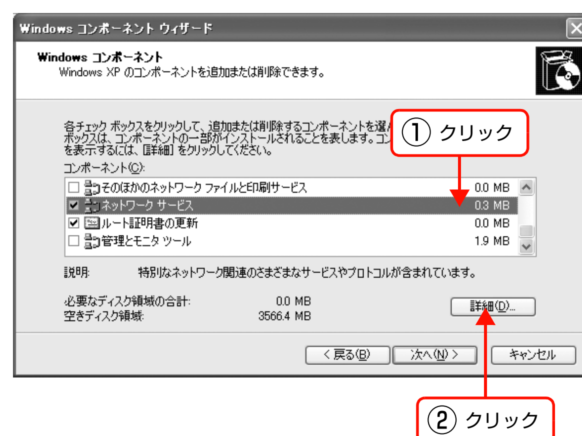
1 ［スタート］－［コントロールパネル］－［プログラムの追加と削除］をクリックします。



2 ［Windows コンポーネントの追加と削除］をクリックします。

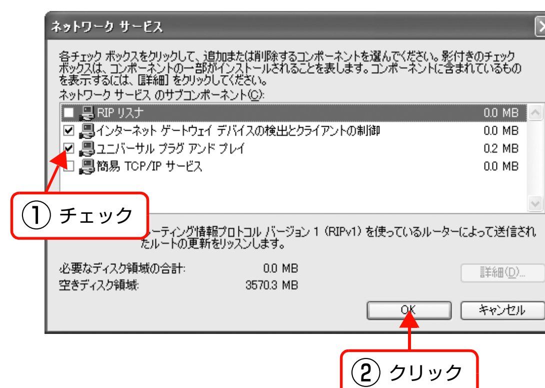


3 コンポーネントから［ネットワークサービス］を選択して、［詳細］をクリックします。



4 **［ユニバーサルプラグアンドプレイ］または［UPnP ユーザーインターフェイス］にチェックを付けて、［OK］をクリックします。**

チェックが付いているときはインストール済みですので、［キャンセル］をクリックしてください。



5 **［次へ］をクリックします。**

インストールが始まります。

> **参考** Windows を CD-ROM からセットアップした場合は、その CD-ROM をコンピュータにセットすることを要求するメッセージが表示されます。

6 **インストールが終了したら、コンピュータを再起動します。**

7 **プリンタのネットワークインターフェイスの設定でユニバーサルプラグアンドプレイ機能を有効にします。**

ネットワークインターフェイスのユニバーサルプラグアンドプレイ機能は、工場出荷時は無効になっています。使用するには、EpsonNet Config（Windows）または EpsonNet Config（Web）から設定してください。

☞ 本書 16 ページ「ネットワークインターフェイスの設定」

以上で終了です。

7 SSL通信

本製品をネットワークに接続して使用すると、外部から不正にアクセスされたり、データが読み取られたりするなどの危険性があります。本製品にはそれらの行為を防止する SSL（暗号化）通信機能が搭載されています。

本製品では、以下の機能を SSL 通信によって安全に使用できます。

- ブラウザによる本製品の設定や管理
- インターネット印刷プロトコル（IPP）

ここでは本製品が搭載している SSL 通信の設定方法や、利用方法、トラブルシューティングなどを説明します。

必要な設定 67
電子証明書の概要 68
設定方法 69
印刷データの暗号化（セキュア IPP 印刷） 74
SSL 機能の設定や使用時のトラブル 75

必要な設定

SSL 通信を利用するには、本製品に電子証明書と秘密鍵のインポートが必要です。電子証明書のインポートは本製品に搭載の EpsonNet Config（Web）で設定します。本製品には工場出荷時から電子証明書（自己署名証明書）をインポートしているため、設定のために接続するときも SSL 通信（https でのアクセス）が可能です。

ブラウザによる本製品の設定や管理

本製品の設定や管理を安全に利用するには、EpsonNet Config（Web）で以下の設定が必要です。

- サーバ証明書のインポート
- 利用するサーバ証明書の選択（自己署名証明書または CA 署名証明書）
- 暗号強度の設定（High/Medium/Low の選択）
- SSL リダイレクト機能の設定

！重要 SSL 通信に関する設定を保護するために、ネットワークインターフェイスにパスワードを設定してください。ネットワークインターフェイスにパスワードを設定しないと、外部から不正にアクセスされたり、SSL 通信に関する設定を改ざんされたりするなどの危険性があります。
設定方法は、以下を参照してください。
本書 55 ページ「EpsonNet Config（Web）の使い方」

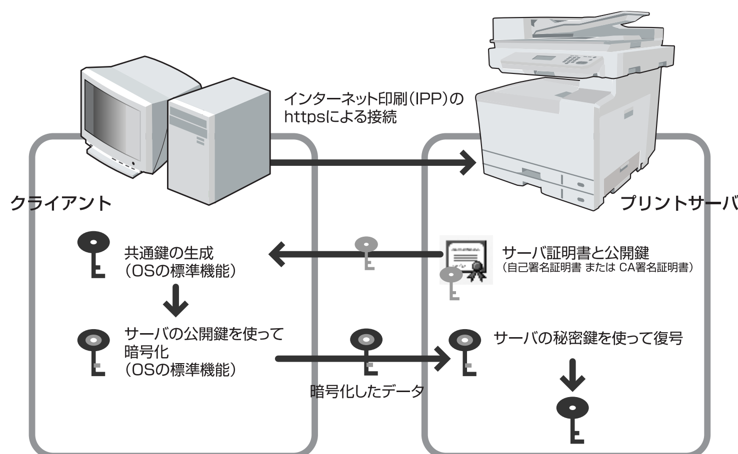
インターネット印刷プロトコル(IPP)

インターネット印刷プロトコル（IPP）を SSL 通信でセキュアにした IPPS プロトコルにすることで、印刷データを暗号化して読み取られることを防止します。インターネット印刷プロトコル(IPP)を SSL 通信で利用するには、EpsonNet Config（Web）で以下の設定が必要です。

- サーバ証明書のインポート
- 利用するサーバ証明書の選択（自己署名証明書または CA 署名証明書）
- 暗号強度の設定（High/Medium/Low の選択）
- ポートコントロール機能の設定

電子証明書の概要

SSL 通信をするためには、電子証明書が必要です。



サーバ証明書

SSL 通信をするために、以下のいずれかのサーバ証明書が必要です。

自己署名証明書

本製品が自ら発行した証明書です。認証機関（CA 局）が発行していないため信頼性はありません。

本製品は、工場出荷時から自己署名証明書を本体に内蔵しています。

- 新規に電子証明書を取得することなく、SSL 通信によるデータの暗号化ができます。
- EpsonNet Config（Web）を使用して、証明書の作成 / 更新ができます。
- CA 局が発行した信頼された証明書ではないため、次の問題があります。
  - ＊「なりすまし」は防げません。
  - ＊ セキュリティの警告画面が表示されることがあります。
  - ＊ インターネット上では使用しないでください。

CA 署名証明書

認証機関（CA 局）が発行した証明書です。CA 局で審査を受け有料で発行してもらうことができます。

本製品で CSR（証明書発行要求）を作成して、その CSR を CA 局に送付して CA 署名証明書を入手します。

- 取得した証明書を本製品にインストールして使用できます。
- セキュリティの警告画面が表示されません。
- インターネット上で使用しても安全が確保されます。
- 以下の CA 局の証明書が使用できます。
  - ＊ Verisign
  - ＊ 日本ジオトラスト
  - ＊ セコムトラストシステムズ
  - ＊ Microsoft 証明書サービス（Windows 2000 Server/Windows Server 2003 に付属のツール）

！重 要	CA 署名証明書の再発行をしない CA 局があります。CA 署名証明書をインストールした後は、証明書と秘密鍵をペアで必ずバックアップしておいてください。

設定方法

各使用方法に必要な設定をします。

設定に必要な EpsonNet Config（Web）へのアクセス方法は以下の通りです。

書式）　https:// 本製品の IP アドレス /
例）　https://192.168.100.201/

サーバ証明書のインポート

サーバ証明書には、自己署名証明書と CA 署名証明書があります。「必要な設定」と「電子証明書の概要」を確認して、使用する方法に必要な証明書をインポートします。

☞ 本書 67 ページ「必要な設定」
☞ 本書 68 ページ「電子証明書の概要」



サーバ証明書のインポートには本製品の時計機能を利用するため、サーバ証明書のインポート操作前に本製品の日時を正しく設定してください。

自己署名証明書を使用

1 **EpsonNet Config（Web）で［設定］メニューの［セキュリティ］－［サーバ証明書］から［自己署名証明書の更新 / 作成］画面を開きます。**

2 **［コモンネーム］を入力します（必須）。**
本製品にアクセスする際に用いる IP アドレス、FQDN 名などの識別子を入力します。



［コモンネーム］の入力は、カンマ文字で、以下のようにディスティングイッシュネーム（CN）を複数に分割できます。
例）　コモンネームの入力：192.168.192.1,SBC01.epson.net
　　　作成されるコモンネーム情報：CN=192.168.192.1, CN=SBC01.epson.net

3 **証明書の有効期間を選択します。**

4 **［作成］をクリックして、［今すぐリセット］をクリックします。**

以上で終了です。

CA 署名証明書を使用

CA 署名証明書の入手方法とインポート方法を併せて説明します。

本製品に CA 署名証明書をインポートする前に、利用するすべてのコンピュータに CA 局が発行する CA（ルート / 中間）証明書をインストールしておくことをお勧めします。

CA 署名証明書の入手

CA 署名証明書入手に必要な CSR（証明書発行要求）の作成方法を説明します。


CSR は作成するごとにペアとなる秘密鍵情報が生成されます。本製品は、生成した CSR と秘密鍵情報を 1 組のみ保存します。新たに CSR を作成操作をすると、前回作成した CSR と秘密鍵を破棄して上書保存します。

1 **EpsonNet Config（Web）で［設定］メニューの［セキュリティ］ー［サーバ証明書］から［証明書発行要求（CSR）の作成］画面を表示します。**

2 **「コモンネーム」を入力します（必須）。**

必要に応じて、「組織名」、「部署名」、「都道府県名」、「市区町村名」、「国別記号」を入力します。

参考
- 国別記号は、ISO3166 で規定される 2 文字の国コードを使用してください。
- ［コモンネーム］、［組織名］、［部署名］、［都道府県名］、［市区町村名］の入力は、カンマ文字でそれぞれのディスティングイッシュネームを複数に分割できます。
- CSR 作成において利用可能文字や文字数制限などの入力規約については、CA 局の方針に従ってください。

3 **［作成］をクリックして CSR を作成します。**

作成した CSR は、［名前を付けて保存］をクリックすると DER（バイナリ）フォーマットで保存されます。

Bae64 形式で保存するときは、「-----BEGIN CERTIFICATE REQUEST-----」から「-----END CERTIFICATE REQUEST-----」までをコピー & ペーストしてテキストエディタなどを使用して保存してください。

4 **CSR を CA 局に送付して、CA 署名証明書を入手します。**

送付方法や送付形態は、CA 局の方針に従ってください。

入手した CA 署名証明書は、EpsonNet Config（Web）にアクセスするコンピュータに保存してください。


CA 局より CA 署名証明書が交付されるまでは、CSR を作成しないでください。交付された CA 署名証明書がインポートできなくなります。

CA 署名証明書のインポート

交付された CA 署名証明書を本製品にインポートします。

1 **EpsonNet Config（Web）で［設定］メニューの［セキュリティ］-［サーバ証明書］から［CA 署名証明書のインポート］画面を表示して、CA 署名証明書をインポートします。**

コンピュータに保存した証明書ファイルを選択して、［インポート］をクリックします。


本製品の日時が正しく設定されていないと、CA 署名証明書のインポートに失敗することがあります。

2 **インポートした CA 署名証明書と秘密鍵のバックアップ保存をします。**


本製品の故障や誤操作による電子証明書の喪失に備えて、CA 署名証明書をインストールした後は、証明書と秘密鍵をペアで必ずバックアップしておいてください。

本書 73 ページ「秘密鍵付き証明書（PKCS#12）の保存と復元」

3 **本製品を再起動します。**

以上で終了です。

利用するサーバ証明書の選択

1 **EpsonNet Config（Web）で［設定］メニューの［セキュリティ］－［サーバ証明書］画面を開きます。**

2 **リストから［自己署名証明書］か［CA 署名証明書］のいずれかを選択します。**

参考　CA 署名証明書が未導入の状態だと、リストに［CA 署名証明書］は表示されません。

3 **［更新］をクリックします。**

以上で終了です。

暗号強度を設定

この設定は省略可能です。

1 **EpsonNet Config（Web）で［設定］メニューの［セキュリティ］－［SSL/TLS 通信設定］画面を開きます。**

2 **暗号強度の設定値を選択します。**
暗号強度の工場出荷時の設定は［Medium］です。

3 **本製品を再起動します。**

！重要　暗号強度を［High］に設定すると、OS やブラウザの種類やバージョン、サービスパックなどにより、EpsonNet Config（Web）が開けなかったり、IPPS 印刷ができなかったりすることがあります。
OS やブラウザはできるだけ最新のバージョン、サービスパックを導入することをお勧めします。
OS やブラウザのバージョンアップが不可能なときは、暗号強度を［Medium］もしくは「Low」に設定すると解決することがあります。

以上で終了です。

SSL リダイレクト機能の設定

この設定は省略可能です。

SSL リダイレクト機能を ON にすると、ユーザーが EpsonNet Config（Web）を利用する時に、アクセス方法を意識することなく常に SSL 通信でアクセスします。

OFF にすると、ユーザーがブラウザの URL アドレスに入力したアクセス方法で EpsonNet Config（Web）にアクセスします。

SSL リダイレクト設定	http：// ****** と入力した場合	https：// ****** と入力した場合
ON（チェックを付ける）	自動的に https アクセスに変更	https でアクセス
OFF（チェックを外す）	http でアクセス	

1 **EpsonNet Config（Web）で［設定］メニューの［セキュリティ］－［SSL/TLS 通信設定］画面を開きます。**

2 **［Web］アクセスの［自動的に HTTPS 接続にリダイレクトする］にチェックを付けます。**

3 **［送信］をクリックして、［今すぐリセット］をクリックします。**

参考　この機能は EpsonNet Config（Web）のアクセス方法にのみ適用され、IPPS の印刷には適用されません。

以上で終了です。

ポートコントロールの設定

IPP 暗号（Port443）を有効にします。

参考　この設定は IPPS 印刷にのみ有効で、EpsonNet Config（Web）の SSL 通信には影響しません。
IPPS 印刷を使用するときは、不要な印刷ポートを無効にすることをお勧めします。

1 **EpsonNet Config（Web）で［設定］メニューの［セキュリティ］－［ポートコントロール］画面を開きます。**

2 **IPP 暗号（Port443）を［有効］に設定します。**

3 **［送信］をクリックして、［今すぐリセット］をクリックします。**

以上で終了です。

秘密鍵付き証明書(PKCS#12)の保存と復元

本製品の故障や誤操作などによる電子証明書の喪失に備えて、CA 署名証明書と秘密鍵をペアで保存(エクスポート)、保存した CA 署名証明書と秘密鍵を製品に復元(インポート)できます。なお自己署名証明書は保存(エクスポート)できません。

保存(エクスポート)

1 **EpsonNet Config(Web)で[設定]メニューの[セキュリティ]-[サーバ証明書]-[秘密鍵付き証明書のインポート / エクスポート]画面を開きます。**

2 **ファイルを暗号化するために[秘密鍵パスワード]を入力します。**

> **!重要** 入力した[秘密鍵パスワード]のパスワードを忘れると、インポートできなくなります。[秘密鍵パスワード]の管理は、気を付けてください。

> **参考** [秘密鍵パスワード]の入力は省略できますが、ファイルが暗号化されず危険にさらされるため[秘密鍵パスワード]を設定してエクスポートすることを推奨します。

3 **ファイルを保存する場所とファイル名を指定します。**

> **参考** エクスポート時のファイル名の初期値は「cert_******.p12」です。****** は、本製品の MAC アドレス下 6 桁です。必要に応じてファイル名は変更してください。

以上で終了です。

復元(インポート)

1 **EpsonNet Config(Web)で[設定]メニューの[セキュリティ]-[サーバ証明書]-[秘密鍵付き証明書のインポート / エクスポート]画面を開きます。**

2 **インポートしたいファイルを指定します。**

3 **エクスポート時に指定した[秘密鍵パスワード]を入力します。**

> **参考** すでに有効期限が満了した証明書は本製品にインポートできません。証明書のインポートに失敗したときは、本製品の日時が正しく設定されているか確認してください。

4 **[インポート]をクリックします。**

以上で終了です。

印刷データの暗号化（セキュア IPP 印刷）

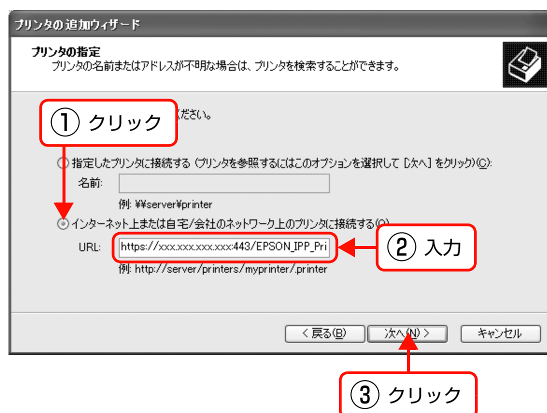
印刷データを暗号化して印刷する方法は、インターネット印刷（IPP）を利用して実現できます。手順は基本的に IPP 印刷と同じです。

印刷前の準備

インターネット印刷（IPP）のウィザード画面で URL の書式を以下のように記述します。
書式） https:// ［コモンネーム］:443/EPSON_IPP_Printer

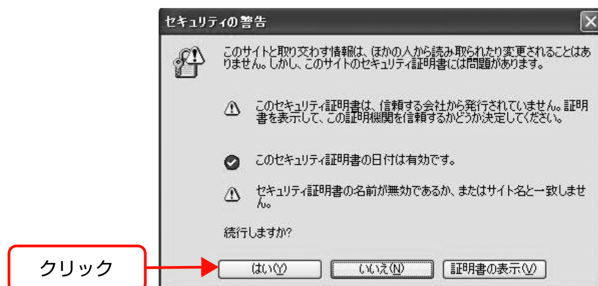
［コモンネーム］はサーバ証明書のインポートで指定した情報を入力してください。
☞ 本書 69 ページ「サーバ証明書のインポート」

以下のページの手順に従って、印刷するプリンタドライバのポートをインターネット印刷（IPP）に変更してください。
☞ 本書 30 ページ「インターネット（IPP）で印刷する」



印刷時

印刷先のポートを https の IPP ポートに変更するだけで、通常の印刷が暗号化されます。
印刷を実行すると以下の画面が表示されます。［はい］をクリックして印刷を続行します。



以上で終了です。

SSL 機能の設定や使用時のトラブル

証明書がインストール / インポートできない



入手した CA 署名証明書と作成した CSR の情報が一致していますか？

CA 署名証明書を入手するために作成した CSR は、同一の情報を有していないとインストールできません。以下の点を確認してください。

- 複数の製品で CSR を同時に作成した際に、一致しない機器にインストールしようとしていませんか？情報を確認して一致する機器にインストールしてください。
- 認証局に CSR を送付した後、再度 CSR 作成を実行した。CA 署名証明書を再取得してください。



入手した CA 署名証明書のファイル容量が 5 KB 以上ありませんか？

5 KB を超える CA 署名証明書は、インストールできません。



エクスポートした証明書をインストールする際のパスワードは正しいですか？

パスワードを忘れた場合、エクスポートした証明書をインストールできません。

EpsonNet Config(Web) にアクセスできない



EpsonNet Config (Web) で [セキュリティ] – [SSL/TLS 通信設定] の設定を [High (3DES-168,AES-256)] に設定しませんでしたか？

使用しているブラウザが SSL 256 ビットに対応していない古いバージョンだとアクセスできません。

- SSL 256 ビット対応のブラウザをご利用ください。
- 暗号強度を［Medium］や［Low］に変更してご利用ください。

EpsonNet Config(Web) にアクセスすると警告が表示される

エラーメッセージ	原因	対処
この証明書は、信頼する会社から発行されていません。・・・・(以下省略)	自己署名証明書を使用しています。	そのままでも問題ありませんが、警告表示を消すためには、認証局から証明書を取得してください。
	使用する CA 署名証明書を検証する CA 証明書がコンピュータにインストールされていません。	使用する CA 署名証明書を検証する CA 証明書をコンピュータにインストールしてください。
	使用する CA 証明書が中間 CA であり、ルート CA までのチェインをたどることができません。	ルート認証局の CA 証明書をコンピュータにインストールしてください。
有効期限が切れている	本製品もしくはお使いのコンピュータの日付け、時刻、時差の設定が正しくありません。	本製品およびお使いのコンピュータの「日付時刻設定」を正しく設定してください。
	有効期限が切れています。	証明書を取得し直してください。
セキュリティ証明書の名前が一致しません・・・(以下省略)	自己署名証明書もしくは CSR 作成時に入力した［コモンネーム］情報とブラウザに入力した URL が一致しません。	証明書の「コモンネーム」情報と同一内容をブラウザの URL に入力してください。

証明書を操作すると警告が表示される

エラーメッセージ	原因	対処
CA 証明書のインポートに失敗しました	最大インポート可能数（6通）を超えて CA 証明書をインポートしようとしました。	不要な CA 証明書を削除してください。
	インポートしようとしたファイルが X509 形式の証明書ファイルと異なります。	X509 形式の証明書ファイルであるか確認してください。
	インポートしようとした証明書ファイルが 5KB を超えています。	インポート可能な証明書ファイルサイズは、5 KB までです。
	インポートしようとした証明書の有効期限がすでに過ぎています。	有効期限内の証明書ファイルを入手してインポートするか、本製品の日時、時差が正しく設定されているか確認してください。
	ファイル未選択のままで［インポート］ボタンをクリックしました。	ファイルを選択してから［インポート］ボタンをクリックしてください。
CA 証明書の削除に失敗しました	インポートされていない証明書の［削除］ボタンをクリックしました。	インポート済みの項目の［削除］ボタンをクリックしてください。
自己署名証明書の作成に失敗しました	コモンネームを未入力状態で自己署名証明書を作成しました。	コモンネームは、必ず入力してください。
	コモンネームの入力に入力可能文字以外（例．日本語）を入力しました。	入力可能な文字は半角英数 64 文字以内です。
	、（カンマ）を使用しています。	カンマと空白の使用には、注意が必要です。詳しくは、EpsonNet Config のヘルプを参照してください。
	空白を使用しています。	
証明書発行要求（CSR）の作成に失敗しました	コモンネームを未入力状態で CSR を作成しました。	コモンネームは、必ず入力してください。
	コモンネーム、組織名、部署名、市町村名、都道府県名いずれかの入力に入力可能文字以外（例. 日本語）を入力しました。	入力可能な文字は半角英数 64 文字以内です。
	、（カンマ）を使用しています。	カンマと空白の使用には、注意が必要です。詳しくは、EpsonNet Config のヘルプを参照してください。
	空白を使用しています。	
CA 署名証明書のインポートに失敗しました	インポートしようとしたファイルが X509 形式の証明書ファイルと異なります。	X509 形式の証明書ファイルであるか確認してください。
	インポートしようとした証明書ファイルが 5KB を超えています。	インポート可能な証明書ファイルサイズは、5 KB までです。
	インポートしようとした証明書の有効期限がすでに過ぎています。	有効期限内の証明書ファイルを入手してインポートするか、本製品の日時、時差が正しく設定されているか確認してください。
	インポートする CA 署名証明書が生成した秘密鍵と不整合です。	本製品から作成した CSR による CA 署名証明書か確認してインポートしてください。 一旦 CSR を作成したら、CA 局から送付される証明書をインポートするまで、CSR の作成操作をしないでください。CA 局から入手した証明書がインポートできなくなります。

エラーメッセージ	原因	対処
秘密鍵付き証明書（PKCS#12 形式）のインポートに失敗しました	• インポートしようとしたファイルがX509形式の証明書ファイルと異なります。 • インポートをしようとしたファイルがPKCS#12 形式と異なります。	各証明書ファイルの形式を確認してください。
	インポートしようとした証明書ファイルが 10KB を超えています。	インポート可能な証明書ファイルサイズは、10KB までです。
	インポートしようとした証明書の有効期限がすでに経過しています。	有効期限内の証明書ファイルを入手してインポートするか、本製品の日時、時差が正しく設定されているか確認してください。
	入力した秘密鍵パスワードが正しくありません。	正しいパスワードを入力してください。

証明書を削除してしまった



CA 署名証明書を削除した場合、バックアップファイルがありますか？

CA 署名証明書はエクスポートできます。バックアップファイルとしてエクスポートした CA 署名証明書をインポートしてください。

バックアップファイルがないときは、証明書を取得した認証局にお問い合わせください。



CA 証明書を削除した場合、証明書を入手した認証局にお問い合わせください。

CA 証明書はエクスポートできません。証明書を取得した認証局にお問い合わせください。

8 付録

EpsonNet ソフトウェアの削除方法....................79
ネットワーク共有に必要な環境と基礎知識....................81
プリンタを共有するには....................84
PING コマンドによる通信確認方法....................96
用語集....................99

EpsonNet ソフトウェアの削除方法

各 OS ごとの削除方法を説明します。

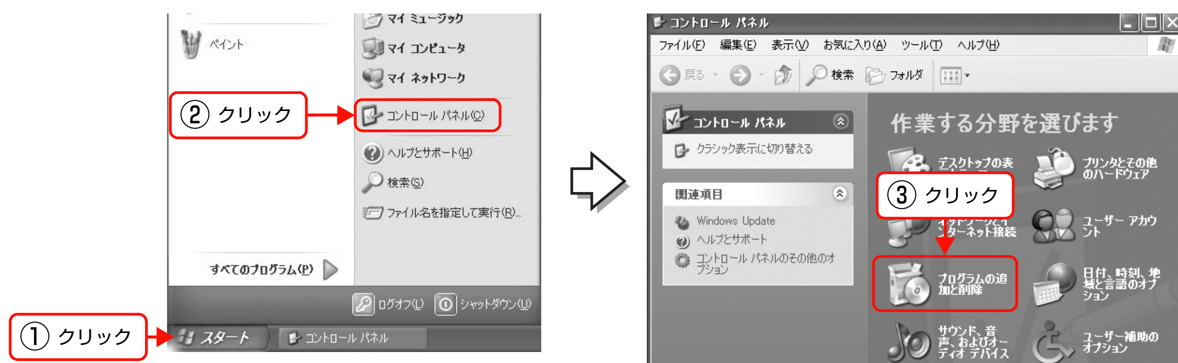
☞ 本書 79 ページ「Windows 用ソフトウェアを削除する」
☞ 本書 80 ページ「Mac OS X 用ソフトウェアを削除する」

Windows 用ソフトウェアを削除する

削除するには、管理者の権限を持つユーザーでログオンしてください。

1 **［スタート］－［コントロールパネル］の順にクリックして、［プログラムの追加と削除］をクリックします。**

Windows 2000：［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］－［アプリケーションの追加と削除］をダブルクリック
Windows Vista：［ ］－［コントロールパネル］－［プログラムのアンインストール］の順にクリック



2 **削除するソフトウェアを選択して、［変更と削除］をクリックします。**

Windows Vista：［アンインストール］（または［アンインストールと変更］）をクリックして、［ユーザーアカウント制御］画面で［続行］をクリック



3 **この後は、画面の指示に従ってください。**

以上で終了です。

Mac OS X 用ソフトウェアを削除する

削除するには管理者権限を持つユーザーでログオンしてください。EpsonNet Config（Mac OS）の削除方法を説明します。

1 コンピュータに本製品の『ソフトウェア CD-ROM』をセットして、表示されたアイコンをダブルクリックします。

2 フォルダ内の［Mac OS X］をダブルクリックします。

3 モデル選択画面が表示されたときは、お使いの機種を選択します。

4 ［ネットワークソフトウェアのインストール］をクリックします。

5 ［EpsonNet Config（設定ツール)］の をクリックします。

6 ［認証］画面が表示されたら、パスワードを入力してください。

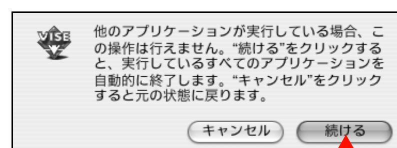
7 表示された画面で［続ける...］をクリックします。

8 ［ライセンス］画面の使用許諾内容を確認して、［同意］をクリックします。

9 画面上部のリストから［アンインストール］を選択して、［アンインストール］をクリックします。



10 ［続ける］をクリックします。



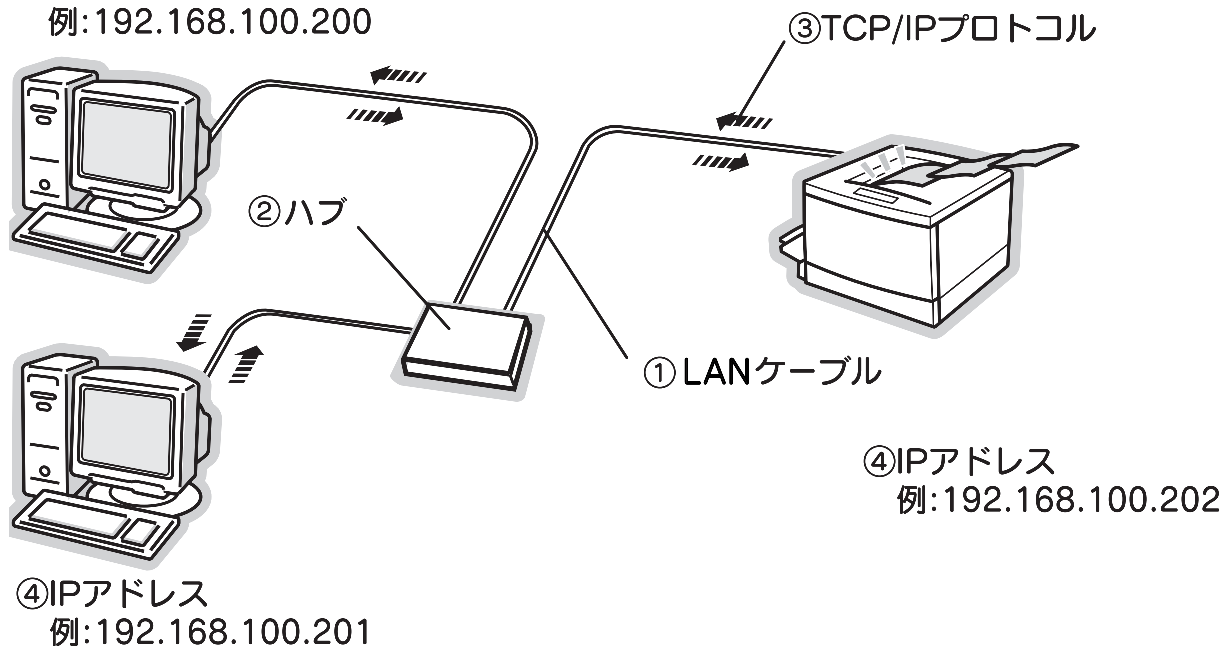
11 この後は、画面の指示に従ってアンインストールします。

12 ［終了］をクリックします。
インストール終了後に［再起動］をクリックします。

以上で終了です。

ネットワーク共有に必要な環境と基礎知識

プリンタのネットワーク共有に必要なネットワーク環境を説明します。



① LAN(ラン)ケーブル

市販の LAN ケーブル（ストレートケーブル）を使用してください。ケーブルの接続の規格には 10Base と 100Base があります。本製品のネットワークインターフェイスは、10Base-T（テンベースティー）、100Base-TX（ヒャクベースティーエックス）、1000Base-T（センベースティー）に対応しています。詳細は以下を参照してください。

☞ 本書 6 ページ「」

本製品のネットワークインターフェイスには、シールドツイストペアケーブル（カテゴリ 5 以上または 5e 以上）を使用してください。

②ハブ(HUB)

LAN ケーブルを接続するための集線装置です。ネットワーク上のコンピュータやプリンタはハブを介して接続します。

③ TCP/IP(ティーシーピーアイピー)

ネットワークの通信にはさまざまな規約があり（これをプロトコルといいます）、TCP/IP はその中の 1 つです。インターネット上の通信で使用される、世界的な標準プロトコルです。ネットワーク上のすべてのコンピュータに組み込む必要があります。

④ IP アドレス(アイピーアドレス)

電話機 1 台につき 1 つの電話番号が必要であるように、コンピュータをネットワーク上で使用するには、コンピュータ 1 台につき 1 つの識別子（アドレス）が必要です。この識別子のことを IP アドレスといい、電話番号と同様に数字の羅列（例：192.168.192.168）で表されます。ネットワーク上のすべてのコンピュータやプリンタに IP アドレスを割り振る必要があります。

☞ 本書 82 ページ「IP アドレスは何番に設定する？」

IP アドレスは何番に設定する？

複数のコンピュータで IP アドレスが重複すると、正常に通信できません。そのため、IP アドレスは世界的な機関で集中管理されています。外部接続（インターネットへの接続、電子メールの送受信など）をするときには、日本ネットワークインフォメーションセンター：JPNIC（http://www.nic.ad.jp/）に申請して、正式に IP アドレスを取得する必要があります（通常はインターネットサービスプロバイダ（通称 ISP）が代行します）。
ただし、外部のネットワークに接続しない閉じた環境では、外部との接続を将来的にも一切行わないという条件のもとに、以下の範囲のプライベートアドレスが使用できます。

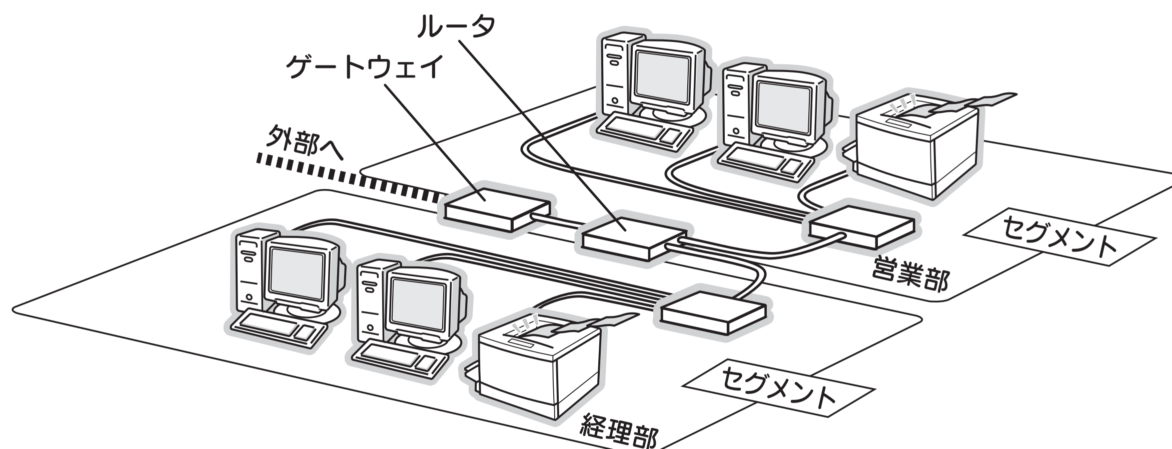
プライベートアドレス	10.0.0.1 ～ 10.255.255.254
	172.16.0.1 ～ 172.31.255.254
	192.168.0.1 ～ 192.168.255.254

！重要 **本製品のネットワークインターフェイスの工場出荷時の IP アドレスは［192.168.192.168］に設定されていますが、製品の仕様上、このままでは使用できません。この IP アドレスを使用するときは、一旦消してから同じ値を IP アドレスとして再入力してください。**

IP アドレスの割り振り方

IP アドレスをネットワーク上のコンピュータに割り振る前に、「サブネットマスク」というものを理解しなければなりません。
電話番号に市外局番があるように、IP アドレスにもエリアを示す仕組みがあります。このエリアは、概念的には会社や部門などで分け、物理的にはゲートウェイまたはルータ※といわれる中継器で分けます。

※　ゲートウェイ・ルータとは
同一プロトコルを使用した社内ネットワークで、部門間に設置する中継器をルータ、社内ネットワークと外部（インターネット）との間に設置する中継器をゲートウェイと考えてください。なお、ルータによって分けられるエリアをセグメントといいます。



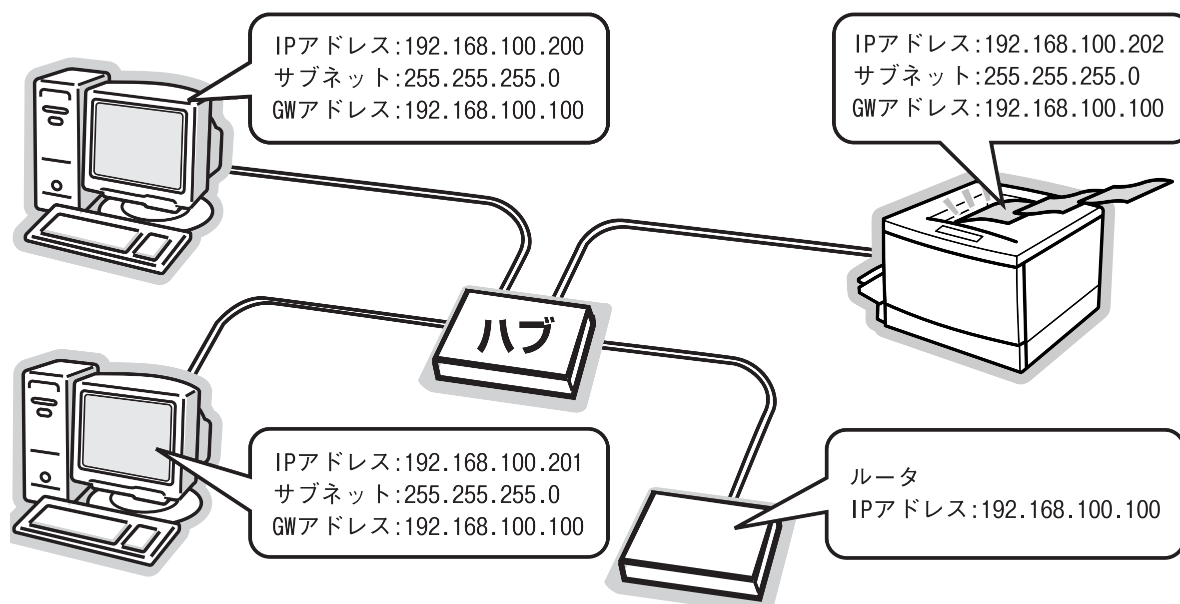
エリアを示す仕組みに利用されるのが、サブネットマスクです。サブネットマスクは、IP アドレスと同様、数字の羅列（例：255.255.255.0）で表されます。
サブネットマスクは、IP アドレスに被せるマスクと考えてください。下表の例では、サブネットマスクの「255」にかかる部分がエリアのアドレス（これをネットワークアドレスといいます）、「0」にかかる部分がエリア内の各機器のアドレスになります。サブネットマスクの詳細な説明は、インターネットなどを参照してください。
<例> IP アドレスが「192.168.100.200」の場合

	エリアを示すアドレス	各機器のアドレス
IP アドレス	192.168.100.	200
サブネットマスク	255.255.255.	0

プリンタを利用するコンピュータは、IP アドレス・サブネットマスク・ゲートウェイアドレスなどを設定する必要があります。次表を参考に設定してください。

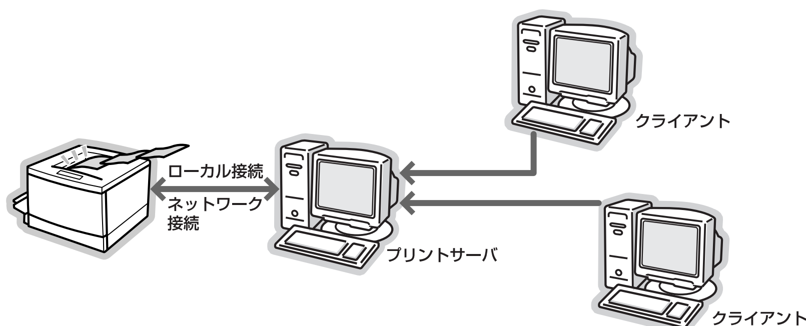
IP アドレス	あるコンピュータは 192.168.100.200、他のコンピュータには 192.168.100.201、本製品のネットワークインターフェイスには 192.168.100.202 のように、サブネットマスクの「0」にかかる部分の数値を 1 ～ 254 の間で設定してください。
サブネットマスク	通常は、255.255.255.0 であれば、問題ありません。プリンタを利用するすべてのコンピュータで同じ値にしてください。
ゲートウェイ（GW）	ゲートウェイになるサーバやルータのアドレスを設定します。ゲートウェイがない場合は、設定の必要はありません。

＜例＞



プリンタを共有するには

コンピュータにネットワークまたはローカルで直接接続したプリンタを、他のコンピュータから共有して使用する手順を説明します。
プリンタをネットワークまたはローカルで直接接続したコンピュータをプリントサーバといい、プリントサーバに印刷許可を受けるコンピュータをクライアントといいます。



共有設定を始める前に、プリントサーバからネットワークまたはローカルで直接接続したプリンタへ、印刷ができることを確認してください。

プリンタをネットワークで直接接続する場合
本書 7 ページ「印刷環境の確認」

プリンタをローカルで直接接続する場合
『取扱説明書 1 セットアップ編』（冊子）

各 OS の設定方法を確認して、プリントサーバおよびクライアントを設定してください。

Windows の場合
本書 85 ページ「プリントサーバの設定（Windows）」
本書 90 ページ「クライアントの設定（Windows）」



Windows XP Service Pack 2 以降をインストールしている環境において、本製品を Windows の共有プリンタ接続で使用するときは、EPSON ステータスモニタまたは EPSON プリンタウィンドウ !3 から利用できる機能に制限が発生することがあります。制限事項と回避方法の詳細に関しては、エプソンのホームページを参照してください。
＜ http://www.epson.jp ＞

Mac OS の場合
本書 94 ページ「プリントサーバの設定（Mac OS X）」
本書 95 ページ「クライアントの設定（Mac OS X）」

Windows 環境の追加ドライバ機能

追加ドライバ機能とは、プリントサーバに各 OS のプリンタドライバをインストールしておけば、クライアントは本製品の『ソフトウェア CD-ROM』を使用せずに、プリントサーバから自動コピーでプリンタドライバをインストールできるため、インストール手順を簡略化できます。

手順の詳細は、以下を参照してください。
本書 85 ページ「プリントサーバの設定（Windows）」

追加ドライバを削除するには、以下を参照してください。
本書 88 ページ「追加ドライバを削除するには」

プリントサーバの設定（Windows）

プリントサーバとして設定する手順と追加ドライバをプリントサーバにインストールする手順を併せて説明します。
追加ドライバの詳細は以下を参照してください。
☞ 本書 84 ページ「Windows 環境の追加ドライバ機能」

設定を始める前に、管理者の権限を持つユーザーでログオンしてください。

1　［スタート］－［プリンタ］/［プリンタと FAX］を開きます。

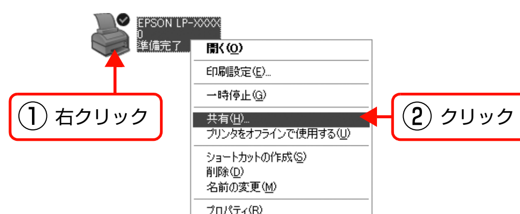
Windows XP：　① ［スタート］－［コントロールパネル］の順にクリック
［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、手順 2 に進む
② ［プリンタとその他のハードウェア］をクリック
③ ［プリンタと FAX］をクリック

Windows Vista：　［ ］－［コントロールパネル］－［プリンタ］の順にクリック

Windows Server 2003：［スタート］－［コントロールパネル］－［プリンタとFAX］にカーソルを合わせ、手順 2 に進む
［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、手順 2 に進む

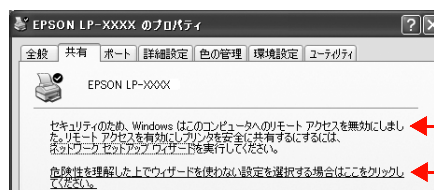
Windows 2000：　［スタート］－［設定］－［プリンタ］の順にクリック

2　本製品のアイコンを右クリックして、［共有］をクリックします。



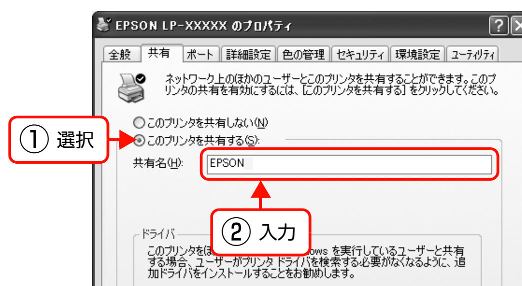


Windows XP で以下の画面が表示されたら、どちらかを選択し、画面の指示に従ってプリンタ共有の準備をします。



どちらかを選択してクリック

3 ［共有する］/［このプリンタを共有する］を選択して、［共有名］を入力します。



参考

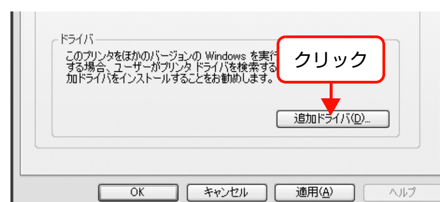
Windows Vista では、［共有オプションの変更］をクリックして、［ユーザーアカウント制御］画面で［続行］をクリックすると、［このプリンタを共有する］が選択できるようになります。

！重要

エラーの原因になるため共有名には□（スペース）や－（ハイフン）を使用しないでください。

4 ［追加ドライバ］をクリックします。

追加ドライバをインストールしない場合は［OK］をクリックして、プリントサーバの設定を終了してください。



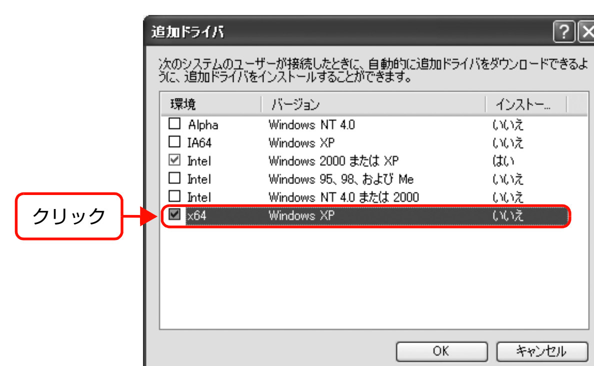
続いてクライアントを設定します。

☞ 本書 90 ページ「クライアントの設定（Windows）」

参考

- ［セキュリティ］タブが表示されているときは、設定した共有プリンタに対して使用するユーザーのアクセス権（印刷許可）を設定しないと、印刷できないことがあります。詳細は、Windows のヘルプを参照してください。
- クライアントから共有プリンタの状態を確認させるには、［OK］をクリックした後に EPSON ステータスモニタまたは EPSON プリンタウィンドウ!3 の［通知設定］画面で、［共有プリンタを監視させる］にチェックを付けてください。詳しくは『取扱説明書 3 ソフトウェア編』（電子マニュアル）を参照してください。

5 クライアントの Windows バージョンにチェックを付け（または選択して）、［OK］をクリックします。



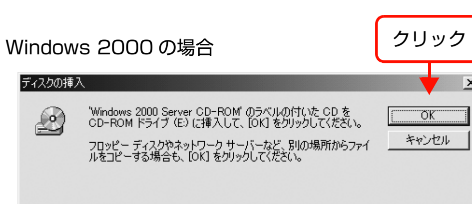
参考

「環境」（Windows Vista では「プロセッサ」）では CPU の種類を確認してください。

6 右のメッセージが表示されたら、本製品の『ソフトウェア CD-ROM』をコンピュータにセットして［OK］をクリックします。

メッセージが表示されない場合は、そのまま手順 7 に進みます。

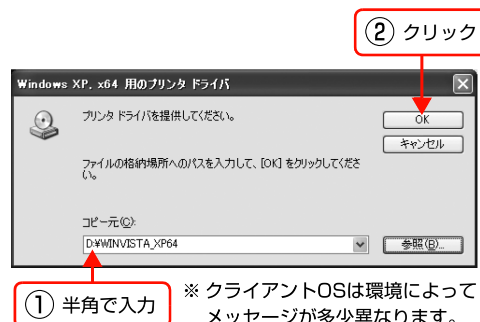
<例> Windows 2000 の場合



※ CD-ROM ドライブの記号は環境によって異なります。

7 **メッセージに表示されたクライアント用のプリンタドライバが収録されているドライブ名とフォルダ名を選択または半角文字で入力して、[OK] をクリックします。**

入力例)
D:¥WINVISTA_XP64(D ドライブにセットしたとき)



※ クライアントOSは環境によってメッセージが多少異なります。

> **参考**
> - [デジタル署名が見つかりませんでした]といったメッセージの画面が表示されることがあります。[はい] または [続行] をクリックして、そのままインストールを進めてください。同梱のプリンタドライバであれば問題なくお使いいただけます。
> - ソフトウェアCD-ROMによっては、各製品のフォルダ名を入力しなければならないことがあります。ソフトウェア CD-ROM のフォルダを確認して入力してください。

8 **[閉じる] をクリックしてプロパティを閉じます。**

> **参考**
> クライアントから共有プリンタの状態を確認させるには、[OK] をクリックした後に EPSON ステータスモニタ [通知設定] 画面で、[共有プリンタを監視させる] にチェックを付けてください。
> 詳しくは『取扱説明書 3 ソフトウェア編』(電子マニュアル)を参照してください。

これでプリンタを共有させるためのプリントサーバの設定は終了です。続いて各クライアントを設定します。
☞ 本書 90 ページ「クライアントの設定(Windows)」

追加ドライバを削除するには、以下を参照してください。
☞ 本書 88 ページ「追加ドライバを削除するには」

追加ドライバを削除するには

プリントサーバにクライアント用の追加ドライバをインストールしたときは、以下の手順で追加ドライバを削除（アンインストール）できます。

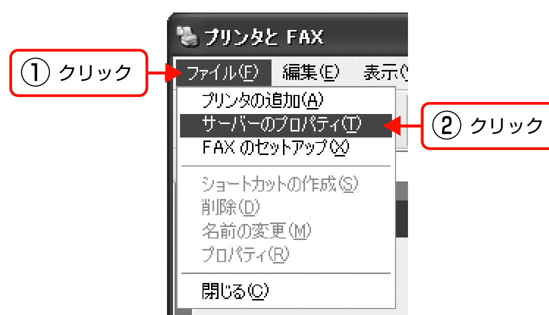
1 **起動中のアプリケーションソフトをすべて終了します。**

2 **［スタート］－［プリンタ］/［プリンタと FAX］を開きます。**

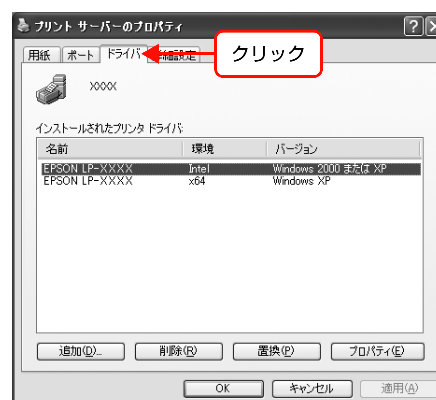
Windows XP：	①［スタート］－［コントロールパネル］の順にクリック ［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、手順 3 に進む ②［プリンタとその他のハードウェア］をクリック ③［プリンタと FAX］をクリック
Windows Vista：	[ ] －［コントロールパネル］－［プリンタ］の順にクリック
Windows Server 2003：	［スタート］－［コントロールパネル］－［プリンタと FAX］にカーソルを合わせてマウスを右クリックして、［開く］をクリック ［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして手順 3 に進む
Windows 2000：	［スタート］－［設定］－［プリンタ］の順にクリック

3 **［ファイル］－［サーバーのプロパティ］をクリックします。**

Windows Vista:
プリンタを何も選択しないでウィンドウ内で右クリック－［管理者として実行］－［サーバーのプロパティ］をクリック

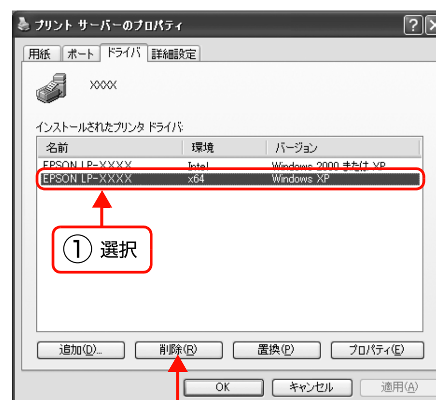


4 **［ドライバ］タブをクリックして、［インストールされたプリンタドライバ］リストを開きます。**

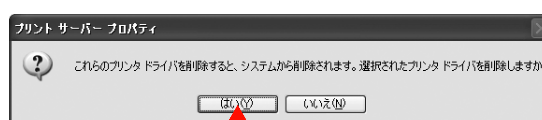


5 **削除する追加ドライバを選択して、[削除] をクリックします。**

Windows Vista：
［ドライバとパッケージの削除］画面が表示されたら、どちらかを選択して［OK］をクリック



6 **削除を確認するメッセージが表示されたら、[はい] をクリックします。**



7 **［閉じる］をクリックしてプロパティを閉じます。**



以上で終了です。

クライアントの設定(Windows)

ここでは、[プリンタ]/[プリンタと FAX]フォルダから、プリントサーバの共有プリンタに接続してプリンタドライバをインストール(コピー)する手順を説明します。
Windows デスクトップ上の[ネットワークコンピュータ]や[マイネットワーク]から、共有プリンタへ接続してプリンタドライバをインストールすることもできます。最初の接続方法が異なるだけで、基本的な設定方法はここでの説明と同じです。


Windows 2000 Server、Windows Server 2003 はサーバ OS のため、クライアントとしての設定はしないでください。

プリントサーバの設定が終了している場合は、以下の各クライアント OS の設定に進みます。
本書 91 ページ「Windows 2000/Windows XP/Windows Vista」

プリントサーバの設定が終了していない場合は、プリントサーバを設定してください。
本書 85 ページ「プリントサーバの設定(Windows)」

プリントサーバに追加ドライバ機能でプリンタドライバをインストールしたときは、クライアント設定時に本製品の『ソフトウェア CD-ROM』を使用せずに設定できます。
本書 84 ページ「Windows 環境の追加ドライバ機能」

EPSON ステータスモニタ

- 追加ドライバ機能を利用してプリンタドライバをクライアントにインストールしたときは、EPSON ステータスモニタはインストールされません。印刷に問題はありませんので、そのままお使いいただけます。
- 共有したプリンタの状況をクライアントから確認するには、『ソフトウェア CD-ROM』から EPSON ステータスモニタをインストールしてください。またプリントサーバの共有プリンタ側で、共有プリンタを監視できるように設定してください。詳細は『取扱説明書 3 ソフトウェア編』(電子マニュアル)を参照してください。

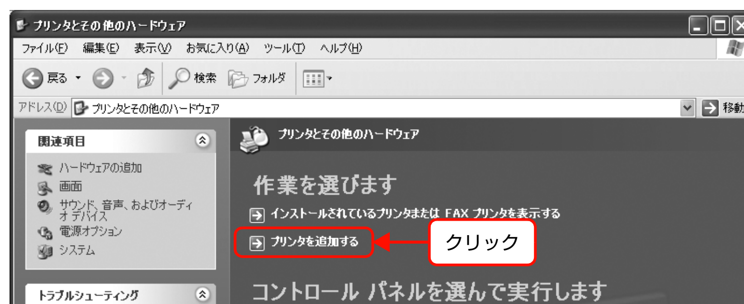
Windows 2000/Windows XP/Windows Vista

Windows が稼動するコンピュータをクライアントとして設定する手順を説明します。
設定を始める前に、管理者の権限を持つユーザーでログオンしてください。

1 **[スタート] ー [プリンタ] / [プリンタと FAX] を開きます。**

Windows XP： ① [スタート] ー [コントロールパネル] の順にクリック
[スタート] メニューに [プリンタと FAX] が表示されている場合は、[プリンタと FAX] をクリックして、手順 2 に進む
② [プリンタとその他のハードウェア] をクリック
③ [プリンタと FAX] をクリック

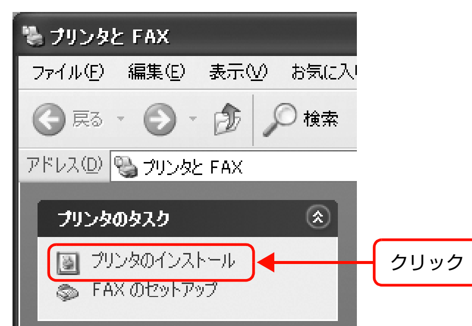
参考 Windows XP では [プリンタとその他のハードウェア] 画面で [プリンタを追加する] をクリックしてプリンタの追加ウィザードを起動することもできます。起動後最初に表示された [プリンタの追加ウィザードの開始] 画面で [次へ] をクリックして、手順 3 に進んでください。



Windows Vista： [ ] ー [コントロールパネル] ー [プリンタ] の順にクリック
Windows 2000：[スタート] ー [設定] ー [プリンタ] の順にクリック

2 **プリンタの追加ウィザードを起動します。**

Windows XP：
① [プリンタのタスク] の [プリンタのインストール] をクリック



② [プリンタの追加ウィザードの開始] 画面で [次へ] をクリック
Windows Vista：
[プリンタのインストール] をクリック
Windows 2000：
① [プリンタの追加] をダブルクリック

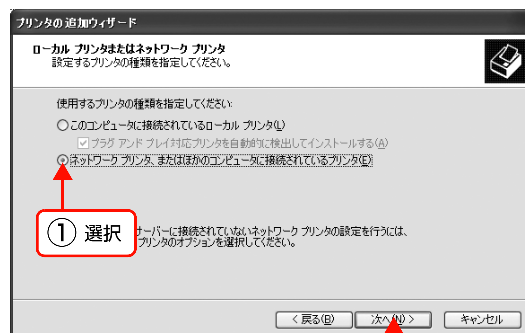


② [プリンタの追加ウィザードの開始] 画面で [次へ] をクリック

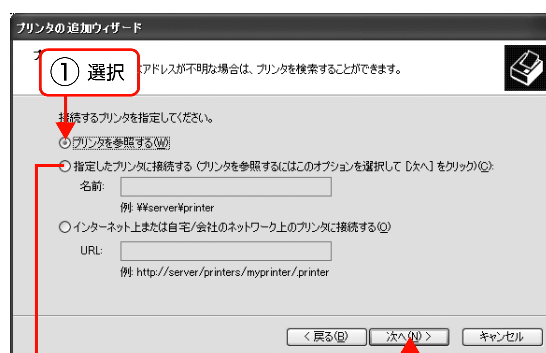
3 使用する共有プリンタを探します。

Windows XP：

① [ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ] を選択して、[次へ] をクリック



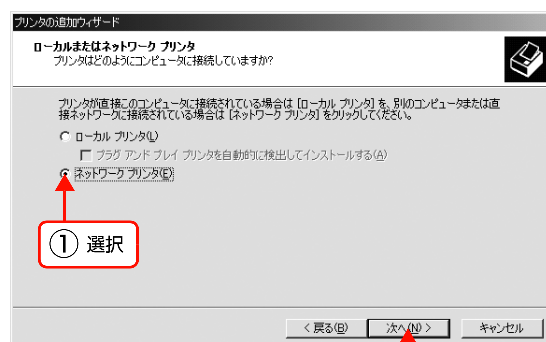
② [プリンタを参照する] を選択して、[次へ] をクリック



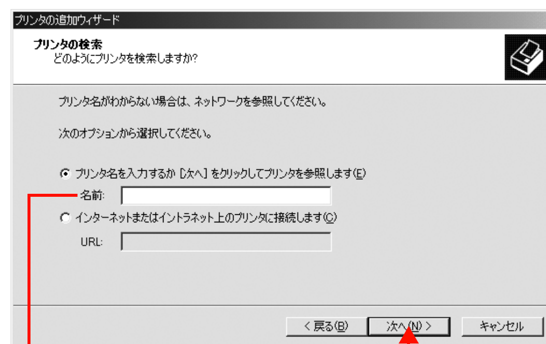
Windows Vista：
① [ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンタを追加します] を選択して、[次へ] をクリック
② 自動的にプリンタが検索された場合は、手順 4 に進む
プリンタが検索されない場合は、[停止] をクリックして [探しているプリンタはこの一覧にはありません] をクリック
③ [共有プリンタを名前で選択する] を選択して [次へ] をクリック
ネットワーク上のプリンタ接続先がわかっているときは、入力欄に以下の書式で直接入力（半角文字）することもできます。
￥￥プリントサーバ名￥共有プリンタ名

Windows 2000：

① [ネットワークプリンタ] を選択して [次へ] をクリック



② ［プリンタ名を入力するか［次へ］をクリックしてプリンタを参照します］が選択されていることを確認して、［次へ］をクリック



② クリック

ネットワーク上のプリンタ接続先がわかっている場合は、この入力欄に以下の書式で直接入力（半角文字）することもできます。
¥¥プリントサーバ名¥共有プリンタ名

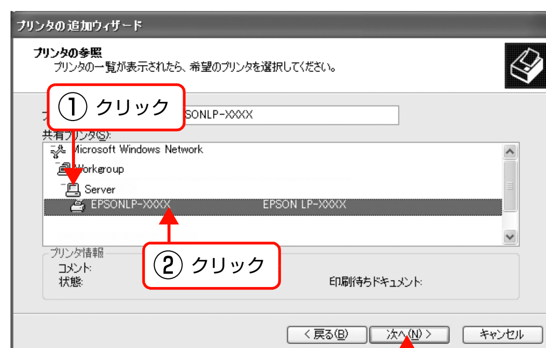
4 共有プリンタを設定したプリントサーバをクリックし、共有プリンタの名前をクリックして［次へ］をクリックします。

Windows Vista：

① ユーザー名、パスワードを入力する画面が表示されたら、プリントサーバマシンの情報入力

② 共有プリンタの名前をクリックして［選択］をクリック

③ ［プリンタの追加］画面が表示されたら［次へ］をクリック



③ クリック

参考

- プリントサーバで共有プリンタを設定したときに、プリンタの名称を変更していることがあります。ご利用のネットワークの管理者に確認してください。
- すでに該当製品のプリンタドライバがインストールされているときは、既存のプリンタドライバを使用するか、新しいプリンタドライバを使用するか選択してください。選択を促すダイアログが表示されたら、メッセージに従って選択してください。
- Windows Vista の標準ユーザーで設定していたときは、［ユーザーアカウント制御］画面が表示されます。管理者アカウントのパスワードを入力してください。

5 画面の指示に従って設定を終了します。

以上で終了です。

プリントサーバの設定(Mac OS X)

Mac OS X が稼動するコンピュータをプリントサーバとして設定する手順を説明します。

参考 Mac OS X v10.3 以降のプリンタ共有機能は、各クライアントのコンピュータが Mac OS X v10.3 以降で起動しているときのみ使用できます。

1 本製品の電源を入れます。

2 [Dock] または [アプリケーション] フォルダから [システム環境設定] を開き [共有] をクリックします。



3 [プリンタ共有] にチェックを付けます。

参考 プリンタの共有を停止するときは、[停止] をクリックします。



4 [システム環境設定] − [システム環境設定を終了] をクリックします。

以上で終了です。

クライアントの設定（Mac OS X）

ネットワーク上の共有プリンタは、各ユーザーの［プリンタ設定ユーティリティ］に自動的に追加されます。通常の方法でアプリケーションソフトの［ページ設定］画面や［プリント］画面を設定して印刷してください。

参考

- Mac OS X v10.3 以降のプリンタ共有機能は、各クライアントのコンピュータが Mac OS X v10.3 以降で起動中のときのみ使用できます。
- 共有プリンタの電源が切れていても、各ユーザーの［プリンタ設定ユーティリティ］に共有プリンタが表示されたままになることがあります。
- 共有プリンタを直接接続しているコンピュータがシステム終了すると、共有プリンタは各ユーザーの［プリンタ設定ユーティリティ］から自動的に消えます。
- 各ユーザーの［プリンタ設定ユーティリティ］に複数のプリンタが追加されているときは、共有プリンタをデフォルトプリンタとして選択するか、印刷のたびに共有プリンタを選択してください。
- クライアントとサーバの OS が異なるときは、印刷できないことがあります。

PING コマンドによる通信確認方法

TCP/IP ネットワーク環境で、コンピュータに設定された IP アドレスと本製品に設定した IP アドレスを確認してから、コンピュータと本製品の通信ができているか確認します。

本書 96 ページ「Windows 2000/Windows XP/Windows Vista で確認する」
本書 97 ページ「Mac OS X で確認する」

Windows 2000/Windows XP/Windows Vista で確認する

1 **[スタート]（または [ ]）－ [すべてのプログラム]（または [プログラム]）－ [アクセサリ] － [コマンドプロンプト] の順にクリックします。**

2 **キーボードから [ipconfig] と入力して、[Enter] キーで実行します。**

```
コマンド プロンプト
Microsoft Windows XP [Version 5.1.2600]
(C) Copyright 1985-2001 Microsoft Corp.

C:¥Documents and Settings¥EPSON>ipconfig
```

入力して Enter キーを押す

3 **IP アドレスを確認します。**

「Ethernet adapter ローカル エリア接続」の「IP Address」を確認します。

```
コマンド プロンプト
Microsoft Windows XP [Version 5.1.2600]
(C) Copyright 1985-2001 Microsoft Corp.

C:¥Documents and Settings¥EPSON>ipconfig

Windows IP Configuration


Ethernet adapter ローカル エリア接続:

        Connection-specific DNS Suffix  . :
        IP Address. . . . . . . . . . . . : 192.168.xxx.xxx
        Subnet Mask . . . . . . . . . . . : 255.255.255.0
        Default Gateway . . . . . . . . . : 192.168.xxx.xxx
```

確認

4 **本製品の IP アドレスを確認します。**

IP アドレスはネットワークステータスシートで確認できます。

『取扱説明書 2 使い方編』（冊子）

5 **キーボードから [ping] スペース [本製品の IP アドレス] を入力して、[Enter] キーで実行します。**

```
コマンド プロンプト
Microsoft Windows XP [Version 5.1.2600]
(C) Copyright 1985-2001 Microsoft Corp.

C:¥Documents and Settings¥EPSON>ping 192.168.xxx.xxx
```

入力して Enter キーを押す

6 **通信しているときは、図 1 のように [Reply from 本製品の IP アドレス] が表示されます。通信していないときは画面に [Destination host unreachable] や、図 2 のように [Request timed out] が表示されます。通信していないときは、各機器のネットワーク設定を確認してください。**

図 1

```
コマンド プロンプト
Microsoft Windows XP [Version 5.1.2600]
(C) Copyright 1985-2001 Microsoft Corp.

C:¥Documents and Settings¥EPSON>ping 192.168.xxx.xxx

Pinging 192.168.100.200 with 32 bytes of data:

Reply from 192.168.xxx.xxx: bytes=32 time=2ms TTL=30
Reply from 192.168.xxx.xxx: bytes=32 time=2ms TTL=30
Reply from 192.168.xxx.xxx: bytes=32 time=2ms TTL=30
Reply from 192.168.xxx.xxx: bytes=32 time=2ms TTL=30
```

図 2

```
コマンド プロンプト
Microsoft Windows XP [Version 5.1.2600]
(C) Copyright 1985-2001 Microsoft Corp.

C:¥Documents and Settings¥EPSON>ping 192.168. xxx.xxx

Pinging 192.168.xxx.xxx with 32 bytes of data:

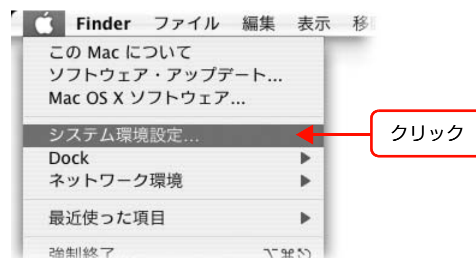
Request timed out.
Request timed out.
Request timed out.
Request timed out.
```

確認

以上で終了です。

Mac OS X で確認する

1 ［アップル］メニュー -［システム環境設定］の順にクリックします。



2 ［ネットワーク］をクリックして、［ネットワーク環境:］で［自動］が選択されていることを確認します。



3 ［表示］リストから［内蔵 Ethernet］を選択します。



4 ［TCP/IP］タブをクリックします。



5 ［IPｖ4 の設定］リストから、ネットワーク環境に合わせて項目を選択します。

DHCP サーバを使用している場合は［DHCP サーバを参照］を選択、IP アドレスを固定で使用している場合は［手入力］を選択します。

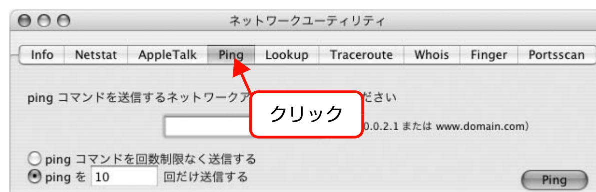


6 ［IP アドレス］を確認します。



7 ［Macintosh HD］－［アプリケーション］－［ユーティリティ］－［ネットワークユーティリティ］の順にダブルクリックします。

8 ［Ping］タブをクリックします。



9 ネットワークアドレス入力欄に本製品の IP アドレスを入力します。

本製品の IP アドレスはネットワークステータスシートで確認できます。

☞『取扱説明書 2 使い方編』（冊子）



10 ［Ping］をクリックします。



11 通信しているときは、送信した信号がすべて返信されるため、図 1 のように［0% packet loss］が表示されます。通信していないときは、送信した信号がすべて返信されないため、図 2 のように［100% packet loss］が表示されます。通信していないときは、各機器のネットワーク設定を確認してください。

図 1

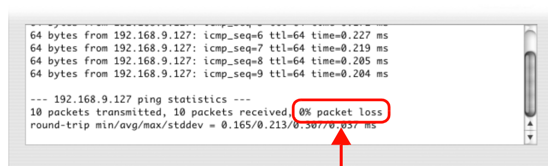
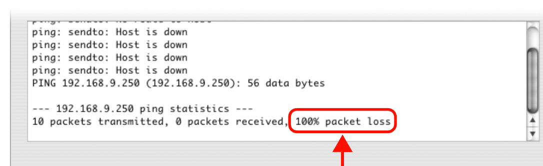


図 2



以上で終了です。

用語集

16 進数
0 ～ 9 の数字と、a ～ f までのアルファベット 6 文字を数字として用いて表現する。

A

APIPA（エーピーアイピーエー）
Automatic Private IP Addressing。ネットワーク機器に対して IP アドレスを自動的に割り当て、利用するための機能。DHCP サーバが存在しない小規模なネットワークなどで、IP アドレスの割り当てと管理を行う。APIPA を利用することによって、ユーザーはネットワークの IP アドレスを意識することなく、ネットワーク上のほかのクライアント等と通信できる。

AppleTalk（アップルトーク）
すべての Mac OS に標準搭載の LAN システム規格、もしくはネットワークソフトウェアの名称。Mac OS の標準的なネットワークプロトコルになっている。

ARP（アープ）
Address Resolution Protocol。TCP/IP プロトコル群に属するアドレス解決プロトコル。ホストの IP アドレスから MAC アドレスを検索するときに用いる。相手のホストが保持している IP アドレスと MAC アドレスの対応法を変更する場合にも使う。

B

Bonjour（ボンジュール）
Mac OS X v10.2 から採用された LAN 内の通信プロトコル。Mac OS X v10.3 までは Rendezvous（ランデブ）といわれていた。IETF（Internet Engineering Task Force）で議論されている「Zeroconf」という技術がベースになっている。TCP/IP ネットワーク上で動作し、IP アドレスの自動割り当て、IP アドレスに対するサービス名の割り当て、LAN 内の Bonjour/Redezvous 対応機器の認識という 3 つの作業を自動で行う。

C

CA（シーエー）
Certification Authority の略。電子証明書の発行 / 失効を行う機関。

CA（シーエー）署名証明書
認証機関（CA）で発行された証明書。

CA（シーエー）証明書
CA 署名証明書を発行した認証機関の証明書。

CSR（シーエスアール）署名証明書
Certificate Signing Request の略。電子署名を取得するための、認証局への要求。SSL 通信に使用するキーペア（公開鍵と秘密鍵）を作成し、このキーペアによって名前やタイトルなど証明書発行に必要な情報を暗号化し、送信する。

D

DHCP(ディーエイチシーピー)
Dynamic Host Configuration Protocol。コンピュータの IP アドレスやデフォルト・ゲートウェイなどの TCP/IP 関連情報をサーバに問い合わせて自動的に設定するプロトコル。クライアントの起動時に、サーバが空いている IP アドレスを自動的に割り当てる。

DNS(ディーエヌエス)
Domain Name System。ネットワーク上のコンピュータ名と、その IP アドレスとの対応付けを行う仕組み。IP アドレスは 4 桁の 8 ビット単位での数値のため、人間にとっては覚えにくい。そこで、人間が覚えやすいような名前（ドメイン名）との対応を保存しておき、必要に応じてドメイン名から IP アドレスへの変換を行う。変換を行うサーバを DNS サーバという。

E

EtherTalk(イーサートーク)
Mac OS 用の LAN を実現するためのシステムの 1 つ。LAN を使って運用する AppleTalk ネットワークのこと。LAN を接続し、コントロールパネルで EtherTalk を選択すればよい。

F

FQDN(エフキューディーエヌ)
Fully Qualified Domain Name。インターネットやイントラネット等の TCP/IP ネットワーク上でホスト名に続けてドメイン名まで省略せずにすべて指定した記述形式のこと。

例えば「LP-XXXX-XXXXX.epson.co.jp」のようにホスト名（LP-XXXX-XXXXX）とドメイン名（epson.co.jp）のすべてを指定した形式のこと。

I

IPP(アイピーピー)
Internet Printing Protocol。IPP を使うことで、インターネットを経由した印刷が可能となる。

IP アドレス
IP による通信でネットワーク内の各コンピュータに割り振られる番号（アドレス）のこと。国内では日本ネットワークインフォメーションセンター（JPNIC）が IP アドレスの登録手続きを代行しており、ここから世界的にユニークな IP アドレスを取得できる。

L

LPR(エルピーアール)
Line Printer Daemon Protocol。BSD UNIX で使われてきたリモート印刷プロトコル。TCP/IP 上で動作する。

M

MAC アドレス
Media Access Control アドレス。ネットワーク機器に組み込まれている機器固有の物理アドレス。

MIB（ミブ）
Management Information Base。ネットワーク管理のための SNMP（Simple Network Management Protocol）マネージャと SNMP エージェントとでやり取りされるネットワーク管理のための一種のデータベースで、100 以上のオブジェクト（管理対象）を含むテーブルになっている。管理対象となる機器ごとに MIB を持つ。

P

PING（ピング）
TCP/IP が実装されたコンピュータ間で送受信テストをして、接続の確認に使用するコマンド。LAN 環境もしくはコンピュータ自体の設定に障害が発生している場合、障害箇所を特定する際に、まずローカル・ホストに対して PING コマンドを実行して、正常に TCP/IP が実装されているか確認する。

R

Rendezvous（ランデブ）
Mac OS X v10.2 から採用された LAN 内の通信プロトコル。IETF（Internet Engineering Task Force）で議論されている「Zeroconf」という技術がベースになっている。TCP/IP ネットワーク上で動作し、IP アドレスの自動割り当て、IP アドレスに対するサービス名の割り当て、LAN 内の Rendezvous 対応機器の認識という３つの作業を自動で行う。Mac OS X v10.4 以降では Bonjour（ボンジュール）に名称変更された。

S

SNMP（エスエヌエムピー）
Simple Network Management Protocol。TCP/IP ネットワーク管理の標準プロトコルで、ネットワークの構成や、ハブ、ルータなどのネットワーク機器に関しての管理情報のやり取りに使用される。ネットワーク管理システムは「マネージャ」、ネットワーク機器は「エージェント」などといわれる。

SSL（エスエスエル）
Secure Sockets Layer の略。

Netscape Communications 社が開発したセキュリティ機能付きの HTTP プロトコル。データを暗号化することで、データの改ざんや他者への成りすましを防ぐ。SSL を使用しているウェブページ（https://）では、ブラウザにカギのマークが表示され、暗号化していることを表示する。

T

TCP/IP（ティーシーピーアイピー）
Transmission Control Protocol/Internet Protocol。インターネット標準の通信プロトコル。RFC（Request for Comments）の形で公開されているため、広く普及している。

U

UPnP（ユーピーエヌピー）
Universal Plug and Play。Microsoft の新技術で、Windows Me で機能が提供されている。Web ベースのプロトコルを使って各種のデバイスが互いに存在を確認しあい、やり取りできるようにするもの。例えばプリンタをネットワークに接続するだけで、ネットワーク上でプリンタを認識できる。

い

インターネット印刷

Windows 2000 以降の OS に実装されている機能。Web ブラウザから、ファイアウォールを越えた先にあるプリンタに印刷できる。

え

エンティティタイプ

オブジェクトのタイプ。これによって、オブジェクトが正当なものであるか否かを識別できる。

け

ゲートウェイ

クライアントのアクセスを代行する代理サーバ。企業では一般に社内 LAN とインターネットの間にゲートウェイ・サーバを設置し、社内 LAN からはゲートウェイ・サーバ経由でインターネットへアクセスする。異なるプロトコルのシステムやネットワークを相互に接続する。中継機能専用のコンピュータはルータといい、ゲートウェイとは区別する。

さ

サブネットマスク

TCP/IP ネットワークでは、同じネットワーク部を持ったコンピュータ同士が通信できる。したがってネットワーク部とホスト部とを区別する必要があり、その際に使用されるのがサブネットマスク。サブネットマスクは IP アドレス同様に 32 ビットからなり、クラス C では 24 ビット（255.255.255.0）が標準で使用される。

し

シールドツイストペアケーブル

電線を 2 本ずつより合わせて対にしたケーブル。LAN ケーブルや電話のモジュラーケーブル、USB ケーブルなどに使われている。電気干渉に強い構造となっているものを、シールド型という。

そ

ゾーン名

AppleTalk で設定される、サーバやプリンタなどのネットワーク資源を論理的に扱うためのグループ。

た

ダイナミック DNS

IP アドレスとホスト名の組み合わせを動的に更新する DNS。これにより、ホストの IP アドレスが DHCP によって変わっても、ホスト名は維持される。LAN 内にダイナミック DNS 対応の DHCP サーバが必要。

ね

ネットワーククラス

IP アドレスは、ネットワーク ID とホスト ID の区切り位置によって、A、B、C の 3 つのクラスに分けられる。例えば、クラス A は、IP アドレスの上位 8 ビットがマスクされている。どのクラスに属するかは、企業などが IP アドレスを取得する際に決定する。

は

ハブ
ネットワークを構築する際に必要な集線装置。複数本のシールドツイストペアケーブルを RJ-45 モジュラージャックで接続し、スター型 LAN を構築する。

索引

数字

100Base-TX ... 6
10Base-T ... 6

B

Bonjour ... 8, 33
Bonjour 名 ... 24
Bonjour を使用する ... 24

C

CA 署名証明書 ... 68, 70

D

DHCP ... 100
DNS ... 49, 100, 102

E

EPSON AppleTalk ... 8, 33
EPSON TCP/IP ... 8, 33
EpsonNet Config ... 43
EpsonNet Config（Web）... 55
EpsonNet Config（Web）版 ... 43
EpsonNet Config（Windows/Mac）... 17, 18
EpsonNet EasyInstall ... 17, 43
EpsonNet Print ... 43, 45
EpsonNet Print（LPR）印刷 ... 12
EpsonNet Print Port ... 48
EpsonNet Print（LPR）印刷 ... 8

I

IPP 暗号（Port443）... 72
IPPS プロトコル ... 67
IPP 印刷 ... 12
IP アドレス ... 13, 23, 36, 81, 82, 100

L

LPR 印刷 ... 12, 54

O

Offirio SynergyWare PrintDirector ... 44

P

PING ... 96
PING による設定 ... 23

R

Rendezvous ... 8, 33
RJ-45 コネクタ ... 6

S

SSL 通信 ... 67
SSL リダイレクト ... 72

あ

暗号強度 ... 71

い

インターネット（IPP）印刷 ... 12
インターネット（IPP）印刷 ... 8
インデックスメニュー ... 58

き

キュー名 ... 54
共有 ... 81, 84

く

クライアント ... 90, 95

こ

工場出荷時設定 ... 25
高速印刷（RAW）... 54

さ

サーバ ... 85, 94
サーバ経由 ... 7
サーバ証明書 ... 71, 68
サブネットマスク ... 23, 51

し

シールドツイストペアケーブル ... 6
自己署名証明書 ... 68, 69
自動 ... 23
手動 ... 23
情報メニュー ... 59

す

ステータスシート ... 35
ステータスランプ ... 6

せ

設定メニュー ... 60

そ

ソフトウェアの削除 ... 79

ち

直接接続 ... 7

つ

通信エラーとする時間 ... 51

て

データランプ ... 6
デフォルトゲートウェイ ... 23
電子証明書 ... 68

と

動作環境 ... 6
特定のアドレスへの探索を有効にする ... 51

ね

ネットワーク アドレス ... 51

ひ

標準 TCP/IP 印刷 ... 8, 27
標準 TCP/IP（LPR）印刷 ... 8
標準 TCP/IP（LPR）印刷 ... 12

ふ

ファイルサイズをカウントする ... 54
プライベート IP 自動指定 （APIPA）による設定 ... 23
プリンタ名 ... 24

ほ

ポートコントロール ... 72
ポートタイプ選択 ... 49

ゆ

ユニバーサルプラグアンドプレイ ... 62

ら

ランプ ... 6